

# Type0023 vendor unique capabilities

Version 1.3 Rev. 1.1

2021 年 10 月 29 日

株式会社ニコン

## 1. 概要

本書では Type0023 モジュールで使用されている vendor unique capabilities について説明する。

これらの値は Maid3d1.h で定義されている。Capability に関する詳細は MAID3.1 規約を参照のこと。

注) これら独自の Capability は、他のモジュールでは異なった機能を持つ可能性がある。

## 2. サポートするカメラ

本モジュールでサポートするカメラは、Z 7、Z 7\_FU1(Z 7 ファームアップ 1)、Z 7\_FU2(Z 7 ファームアップ 2)、Z 7\_FU3(Z 7 ファームアップ 3)である。

## 3. Vendor Unique Capabilities

以下に、Type0023 モジュール固有の Capability について述べる。

下線は Default 値を表す。

※文中の「撮影モード」とは、kNkMAIDCapability\_ExposureMode で設定されている撮影モード、または kNkMAIDCapability\_ExposureMode が「15: U1(User Mode1)」「16: U2(User Mode2)」「18: U3(User Mode3)」の場合、kNkMAIDCapability\_UserMode1,2,3 で設定されている撮影モードを指す。

撮影モードはそれぞれ下記の通り略称で記載する場合がある。

Program mode : P

Aperture priority : A

Speed priority : S

Manual : M

### 3.1. ImageSize

カメラで設定されている「Jpeg/Tiff の画像サイズ」を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ImageSize
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

##### 【基本画像サイズ (JPEG/TIFF)】

Capability_CCDDDataMode	FX	DX	5:4	1:1	16:9
L サイズ	L(8256*5504)	L(5408*3600)	L(6880*5504)	L(5504*5504)	L(8256*4640)
M サイズ	M(6192*4128)	M(4048*2696)	M(5152*4120)	M(4128*4128)	M(6192*3480)
S サイズ	S(4128*2752)	S(2704*1800)	S(3440*2752)	S(2752*2752)	S(4128*2320)

##### 【動画ライブビュー実行中の場合 (JPEG/TIFF)】

動画ライブビュー中の静止画撮影では、本Capabilityの値は以下の通り変更となる。

Capability_MovieScreenSize	4K	フル HD
サイズ	3840*2160	1920*1080

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画ライブビュー中 (Module 独自仕様)

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.2. RawImageSize

静止画撮影メニューの「画像サイズ–RAW」を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_RawImageSize
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

以下に有効な RAW 画像サイズを示す。

CCDDataMode	FX	DX	5:4	1:1	16:9
サイズ L	L(8256*5504)	L(5408*3600)	L(6880*5504)	L(5504*5504)	L(8256*4640)
サイズ M	M(6192*4128)	M(4048*2696)	M(5152*4120)	M(4128*4128)	M(6192*3480)
サイズ S	S(4128*2752)	S(2704*1800)	S(3440*2752)	S(2752*2752)	S(4128*2320)

#### 【動画ライブビュー実行中の場合】

動画ライブビュー中の静止画撮影では、本Capabilityの値は以下の通り変更となる。

Capability_MovieScreenSize	4K	フル HD
サイズ	3840*2160	1920*1080

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画ライブビュー中 (Module 独自仕様)
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.3. CompressionLevel

撮影する画像の圧縮率を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CompressionLevel
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	JPEG Basic, JPEG Basic*, <u>JPEG Normal</u> , JPEG Normal*, JPEG Fine, JPEG Fine*, TIFF-RGB, RAW, RAW + JPEG Basic, RAW + JPEG Basic*, RAW + JPEG Normal, RAW + JPEG Normal*, RAW + JPEG Fine RAW + JPEG Fine*

本 Capability の値はメニューの設定値ではなく、制御値をあらわす。「プラス RAW 機能」有効の際は、RAW を含めた状態を現在値として返す。

下記の場合、RAW を含む選択肢は列挙されない。

- Capability\_HDRMode がするに設定されている場合

下記条件に合致する場合の、本 Capability の値を下記に表す。

条件	設定値
動画ライブビュー中	JPEG Fine*

※ただし、動画ライブビューに切り替わった際、カメラメニューの画質モードは静止画ライブビュー時の設定を維持する。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画ライブビュー中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。

UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。
CameraNotFound	カメラとの接続が切れた場合。

### 3.4. WBMode

ホワイトバランスの設定を行う。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	<u>Auto</u> , Incandescent, Fluorescent, Sunny, Flash, Shade, Cloudy, Preset1, Preset2, Preset3, Preset4, Preset5, Preset6, Color Temperature, Natural

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.5. Sensitivity

感度の設定を行う。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Sensitivity
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	Capability_EVInterval の設定により、選択可能な値が異なる。

Capability_EVInterval	
1/3 step	1/2 step
Auto,	
LO-1, LO-0.7, LO-0.3,	Auto,
64, 80,	LO-1, LO-0.5,
<u>100</u> , 125, 160,	64, 72,
200, 250, 320,	<u>100</u> , 140,
400, 500, 640,	200, 280, 400,
800, 1000, 1250,	560, 800, 1100,
1600, 2000, 2500,	1600, 2200, 3200,
3200, 4000, 5000,	4500, 6400,
6400, 8000,	9000, 12800,
10000, 12800,	18000, 25600,
16000, 20000,	Hi-0.5,
25600,	Hi-1.0,
Hi-0.3, Hi-0.7,	Hi-2.0
Hi-1.0, Hi-2.0	

動画ライブビュー実行時における ISO 感度は本 Capability ではなく Capability\_MovieSensitivity を利用する。

下記のいずれかの場合、Auto は選択できない。

- 撮影モードが P, S, A, M
- 動画記録中

下記のいずれかの場合、本 Capability の上限値に制限がかかる。選択可能な値が変更された場合は、モジュールは kNkMAIDEvent\_CapChange を発行する。

- Capability\_ElectronicFrontCurtainShutter が「1: 電子先幕シャッター有効」(Z 7 の場合のみ)
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が「1: する」

下記いずれかの場合、本 Capability は read only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
------------------	----------------

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.6. ResetMenuBank

撮影メニューをリセットする。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_ResetMenuBank

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

下記のいずれかの場合は、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- 動画記録中

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.7. CompressRAWEx

静止画撮影メニューの「RAW 記録 – 圧縮方式」を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CompressRAWEx
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDCompressRAWEx 0 : 非圧縮 1 : 圧縮 <u>2 : ロスレス圧縮</u>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 静止画ライブビュー中かつ Capability\_RawImageSize が「L サイズ」以外
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.8. WB Tune Auto

ホワイトバランス設定が Auto の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

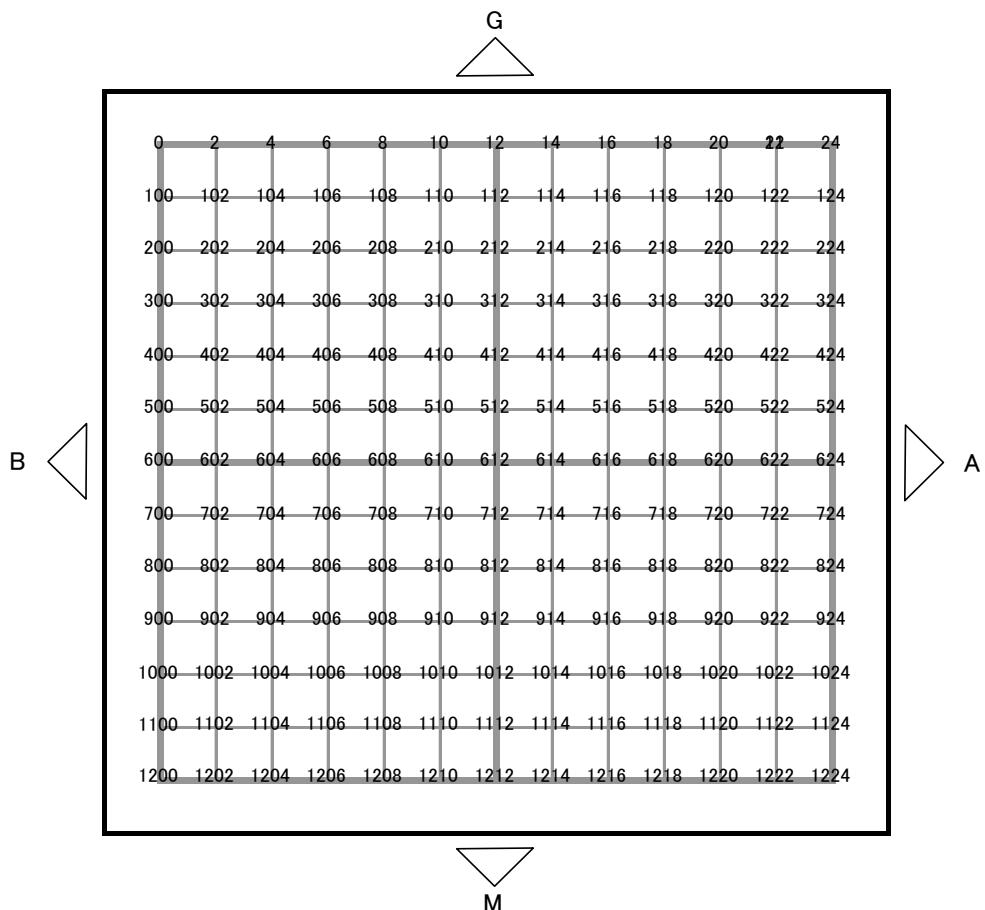
**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTuneAuto  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Range  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標との関係は下記の図の通り。

A-B 方向 : 0.5 ステップ刻み、G-M 方向 : 0.25 ステップ刻みとなる。



#### Result Codes

ValueOutOfRange	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.9. WBAutoType

ホワイトバランス設定が Auto の場合の種別を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBAutoType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkWBAutoType 1 : 電球色を残す 2 : 白を優先する 3 : 霧囲気を残す

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.10. WBTuneIncandescent

ホワイトバランス設定が Incandescent の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTuneIncandescent

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.11. WBFluorescentType

ホワイトバランス設定が Fluorescent の場合の蛍光灯種別を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBFluorescentType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkWBFluorescentType 0: ナトリウム灯混合光 1: 電球色蛍光灯 2: 溫白色蛍光灯 <u>3: 白色蛍光灯</u> 4: 昼白色蛍光灯 5: 昼光色蛍光灯 6: 高色温度の水銀灯

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.12. WB Tune Fluorescent

ホワイトバランス設定が Fluorescent の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTuneFluorescent

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.13. WB Tune Sunny

ホワイトバランス設定が Sunny の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBTuneSunny
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.14. WB Tune Flash

ホワイトバランス設定が Flash の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBTuneFlash
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.15. WB Tune Shade

ホワイトバランス設定が Shade の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_WBTuneShade
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Range
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.16. WB Tune Cloudy

ホワイトバランス設定が Cloudy の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBTuneCloudy
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WB Tune Auto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.17. WB Tune Color Temp Ex

ホワイトバランス設定が Color Temperature の場合の色温度を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBTuneColorTempEx
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	2500 to 10000 step=10 (Default: 5000)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.18. WB Tune Color Adjust

ホワイトバランス設定が Color Temperature の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTuneColorAdjust

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 48 step=1 (Default: 24)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.19. WB Tune Natural

ホワイトバランス設定が Natural の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTuneNatural

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.20. WB Tune Preset1

ホワイトバランス設定が Preset1 の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBTunePreset1
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_WBTunePresetProtect1 が「1 : する」に設定されている場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_WBMode が Preset1 以外に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.21. WB Tune Preset2

ホワイトバランス設定が Preset2 の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBTunePreset2
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_WBTunePresetProtect2 が「1 : する」に設定されている場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_WBMode が Preset2 以外に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.22. WB Tune Preset3

ホワイトバランス設定が Preset3 の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTunePreset3

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WB Tune Auto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_WBTunePresetProtect3 が「1 : する」に設定されている場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_WBMode が Preset3 以外に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.23. WB Tune Preset4

ホワイトバランス設定が Preset4 の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTunePreset4

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WBTuneAuto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_WBTunePresetProtect4 が「1 : する」に設定されている場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_WBMode が Preset4 以外に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.24. WB Tune Preset5

ホワイトバランス設定が Preset5 の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTunePreset5

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WB Tune Auto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_WBTunePresetProtect5 が「1 : する」に設定されている場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_WBMode が Preset5 以外に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.25. WB Tune Preset6

ホワイトバランス設定が Preset6 の場合の補正量を設定する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBTunePreset6

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は WB Tune Auto の場合と同じ。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_WBTunePresetProtect6 が「1 : する」に設定されている場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_WBMode が Preset6 以外に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.26. WBProtect1

Preset1 のプロテクト状態を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBProtect1
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBProtect1 <u>0: しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.27. WBProtect2

Preset2 のプロテクト状態を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBProtect2
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBProtect2 <u>0: しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。

UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。
-----------------	----------------------------

### 3.28. WBProtect3

Preset1 のプロテクト状態を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBProtect3
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBProtect3  0: <u>しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.29. WBProtect5

Preset5 のプロテクト状態を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBProtect5
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBProtect5  0: <u>しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
------------------	----------------

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.30. WBProtect4

Preset1 のプロテクト状態を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBProtect4
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBProtect4 <u>0: しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.31. WBProtect6

Preset6 のプロテクト状態を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBProtect6
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBProtect6 <u>0: しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.32. WBPresetNumber

Capability\_WBGainRed、Capability\_WBGainBlue、Capability\_PreCapture で使用されるプリセットチャンネルを変更する。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBPresetNumber

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Enum

kNkMAIDArrayType\_PackedString

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray,  
kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** Preset 1, Preset 2, Preset 3, Preset 4, Preset 5, Preset 6

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1(ON)に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.33. WBPresetName

ホワイトバランスプリセットデータの名称をカメラにセットする。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBPresetName

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_String

kNkMAIDCapType\_Array

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set,  
kNkMAIDCapOperation\_GetArray

**Data** NkMAIDArray

kNkMAIDCapOperation\_GetArray 実行時、Module は NkMAIDArray.pData に NkMAIDString の配列で、Preset1~6 の順にホワイトバランスプリセットデータの名称を設定する。

各ホワイトバランスプリセットデータの名称に 36 バイトを超える文字列がセットされた場合、37 バイト目以降は無視される。

有効な文字は 90 文字の ASCII コードのみ([ASCII コードを参照](#))である。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	セットされた文字列に無効な文字が含まれていた場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。</li><li>Capability_WBTunePresetProtect1~6 が「1 : する」に設定されているプリセットデータに対して Set を行った場合</li></ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.34. WBPresetData

ホワイトバランスプリセットデータをカメラへ設定する。(静止画撮影メニュー)

```

Capability      kNkMAIDCapability_WBPresetData
Object types    Source
ulType         kNkMAIDCapType_Generic
ulOperations   kNkMAIDCapOperation_Set
Data           pointer to NkMAIDWBPresetData structure
                  typedef struct tagNkMAIDWBPresetData
                  {
                      ULONG  ulPresetNumber;-----プリセット番号(1~6)
                      ULONG  ulPresetGain;-----ゲイン値
                      ULONG  ulThumbnailSize;----"pThumbnailData"に設定したサムネイルの
                                         サイズ
                      ULONG  ulThumbnailRotate;---使用しない
                      void*  pThumbnailData;----サムネイルデータへのポインタ
                  } NkMAIDWBPresetData, FAR* LPNkMAIDWBPresetData;
  
```

Set の場合、Client は ulThumbnailRotate を除く NkMAIDWBPresetData 構造体メンバの全てを設定する。Get の場合、Client は ulPresetNumber を設定し、Module は ulPresetNumber で指定されたプリセット番号のプリセットゲイン値を ulPresetGain に設定する。

NkMAIDWBPresetData 構造体メンバの内、ulThumbnailSize、pThumbnailData は、Set の場合にのみ、有効なパラメータとする。

ulPresetGain には、上位 2 バイトに R チャネルのゲイン値、下位 2 バイトに B チャネルのゲイン値を設定し、下位 2bit は無効とする。どちらも下表の固定小数点フォーマット（例：1.5 => 0x0C00）で、設定可能な範囲は  $0 \leqq \text{各ゲイン値} < 8$  ( $0x0000 \sim 0x3FFC$ ) とする。

ulPresetGain																
Bit	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
RGain	整数部								小数部							
Bit	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
BGain	整数部								小数部							

pThumbnailData に設定するサムネイルデータは、 $160 \times 120$  ピクセルの JPEG イメージで、圧縮品質は Fine(1/4 圧縮)とし、サイズは 13440Byte 以下でなければならない。また、JPEG イメージのフォーマットは以下の通りで、余分なタグ等を付加してはならない。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

SOI	Start Of Image
DQT	量子化テーブル
DHT	ハフマンテーブル

SOF	フレームヘッダ
SOS	スキャンヘッダ
	Entropy Coded Data (JPEG 圧縮データ本体)
EOI	End Of Image

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"> <li>Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li> <li>ulPresetNumberで指定したプリセットがプロテクトされている場合。</li> </ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.35. WBGainRed

WBPresetNumber で選択されているプリセットホワイトバランスゲイン(赤)の読み出しを行う。  
(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBGainRed  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Range  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get  
**Data** Min: 0 Max: 7.99804 (16380/2048)  
Step: 0.00195 (4/2048) (Default: 1)

値の範囲について、[WBPresetData](#)のulPresetGainフォーマットに従い下位2bitは無効となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.36. WBGainBlue

WBPresetNumber で選択されているプリセットホワイトバランスゲイン(青)の読み出しを行う。  
(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_WBGainBlue  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Range  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get  
**Data** Min: 0 Max: 7.99804 (16380/2048)  
Step: 0.00195 (4/2048) (Default: 1)

値の範囲について、[WBPresetData](#)のulPresetGainフォーマットに従い下位2bitは無効となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.37. CCDDDataMode

CCD からのデータ読み出しモードを設定する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CCDDDataMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDCCDDDataMode <u>3: FXフォーマット</u> 4: DXフォーマット 5: 5:4 8: 1:1 9: 16:9

下記いずれかの場合、本 Capability は ReadOnly となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- カメラ本体に DX レンズが装着されている

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.38. ImageColorSpace

撮影される画像の色空間を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ImageColorSpace
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDIImageColorSpace <u>0 : sRGB,</u> 1 : AdobeRGB

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.39. IsoControl

ISO 感度の自動制御を行うかの設定。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_IsoControl
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	<u>True</u> : する    False: しない

下記いずれかの場合、本 Capability は read only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.40. NoiseReduction

長秒時のノイズ除去を行うかの設定。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_NoiseReduction
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Boolean
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
Data	True: する <u>False: しない</u>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が 1 (する)

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.41. NoiseReductionHighISO

高感度時にノイズ除去を行うかどうかの設定。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_NoiseReductionHighISO
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDNoiseReductionHighISO 0: OFF <u>1: ON (標準)</u> 2: ON (強) 3: ON (弱)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.42. CompressRAWBitMode

RAW 記録時の記録ビットモード設定を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CompressRAWBitMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDCompressRAWBitMode 0: 12ビット記録 <u>1: 14ビット記録</u>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 静止画ライブビュー中かつ Capability\_RawImageSize が「L サイズ」以外
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.43. PictureControl

現在設定が有効となっている、ピクチャコントロール項目を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_PictureControl
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDPictureControl 1: スタンダード 2: ニュートラル 3: ビビッド 4: モノクローム 5: ポートレート 6: 風景 7: フラット <u>8: オート</u> 101: ドリーム 102: モーニング 103: ポップ 104: サンデー <sup>1</sup> 105: ソンバー <sup>1</sup> 106: ドラマ <sup>1</sup> 107: サイレンス <sup>1</sup> 108: ブリーチ <sup>1</sup> 109: メランコリック <sup>1</sup> 110: ピュア <sup>1</sup> 111: デニム <sup>1</sup> 112: トイ <sup>1</sup> 113: セピア <sup>1</sup> 114: ブルー <sup>1</sup> 115: レッド <sup>1</sup> 116: ピンク <sup>1</sup> 117: チャコール <sup>1</sup> 118: グラファイト <sup>1</sup> 119: バイナリー <sup>1</sup> 120: カーボン <sup>1</sup> 201~209: カスタムピクチャコントロール領域1~9

現在設定が有効となっているピクチャコントロール項目を表す。

カスタムピクチャコントロール領域は、現在登録されていないものも全て列挙される。ピクチャコントロール領域にデータが登録されているかどうかは、ピクチャコントロールデータの「カスタ

ムフラグ」で判断する。

現在の設定として使用するピクチャコントロール項目が変更された場合、本 Capability についての CapChangeValueOnly イベントが上がる。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ 動画記録中
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。</li><li>・ 未登録のピクチャコントロール領域を指定して Set を実行した場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.44. PictureControlDataEx2

指定された静止画ピクチャコントロールのデータを取得・設定する。(静止画撮影メニュー)

`ulPicCtrlItem` に指定するピクチャーコントロール項目は、`Capability_PictureControl` で列挙される値範囲とする。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ## ・ 動画記録中

### [Set時の場合]

`ulPicCtrlItem` に操作対象となるピクチャコントロール項目、`ulSize` にピクチャコントロールデータのサイズ、`bModifiedFlag` にピクチャコントロールデータ変更フラグ、`pData` にピクチャコントロールデータを指定する。

`bModifiedFlag` に `false` を指定して実行した場合、現在値とデフォルト値を `pData` に設定されたデータで更新する。`bModifiedFlag` に `true` を指定した場合、現在値のみを更新する。

### [Get 時の場合]

`ulPicCtrlItem` に操作対象となるピクチャコントロール項目、`ulSize` に最大ピクチャコントロールデータサイズの 614(byte)、`pData` にクライアントで確保した 614 byte 分の領域へのポインタを設定する。取得に成功した場合、モジュールは、実際に `pData` に設定されたピクチャコントロールデータのサイズを `ulSize` に設定する。未登録のピクチャコントロールデータであっても取得可能とする。登録の有無はピクチャコントロールデータ内の `CustomFlag` を参照し判断する。

ピクチャコントロールデータのフォーマットおよび Set 時の使用可能な値は、[PictureControlDataSet](#) を参照のこと。

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	・Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ulPicCtrlItem がカスタムピクチャーコントロールで、bModifiedFlagが true のときに ulPicCtrlItem とピクチャコントロールデータの BasePictureControl が一致していない場合。</li> <li>ピクチャコントロールデータに使用不可な値が設定されていた場合。</li> <li>無効なピクチャコントロールデータが指定された場合。</li> </ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.44.1. PictureControl DataSet

PictureControl DataSet は、 Capability\_PictureControlDataEx2 または Capability\_MoviePictureControlDataEx2 で送信される。

PictureControl DataSet は、ピクチャーコントロールについての情報を示す。

Field	Size	参照項
BasePictureControl	2	BasePictureControl
RegistrationName	20	RegistrationName
ApplyLevel	1	ApplyLevel
QuickSharpFlag	1	QuickSharpFlag
QuickSharp	1	QuickSharp
Sharpening	1	Sharpening
MiddleRangeSharpening	1	MiddleRangeSharpening
Clarity	1	Clarity
Contrast	1	Contrast
Brightness	1	Brightness
Saturation	1	Saturation
Hue	1	Hue
FilterEffects	1	FilterEffects
Toning	1	Toning
ToningDensity	1	ToningDensity
CustomCurveFlag	1	CustomCurveFlag
CustomCurveData	0 or 578	CustomCurveData

Sharpening、MiddleRangeSharpening、Clarity、Contrast、Brightness、Saturation、Hue、ToningDensity で使用する値を以下に示す。

Value	Description
-128	Auto
-N	-N x 0.25
	...
-1	-0.25
0	0
1	0.25
	...
N	N x 0.25

### BasePictureControl

カスタムピクチャーコントロールのベースとなるピクチャーコントロールの種類を示す。

プリインストールされているピクチャーコントロールの場合は、そのピクチャーコントロールを示す。

未使用のカスタムピクチャーコントロールを取得した場合は、0 となる。

Value	Description
1	スタンダード
2	ニュートラル
3	ビビッド

4	モノクローム
5	ポートレート
6	風景
7	フラット
8	オート
101	ドリーム
102	モーニング
103	ポップ
104	サンデー
105	ソンバー
106	ドラマ
107	サイレンス
108	ブリーチ
109	メランコリック
110	ピュア
111	デニム
112	トイ
113	セピア
114	ブルー
115	レッド
116	ピンク
117	チャコール
118	グラファイト
119	バイナリー
120	カーボン

### RegistrationName

ピクチャーコントロールの登録名を示す。

サイズは 20Byte 固定(ASCII : 19Byte+NULL)である。

### ApplyLevel

ピクチャーコントロールの適用度を示す。

Value	Description
0	0
10	10
20	20
30	30
40	40
50	50
60	60
70	70
80	80
90	90
100	100

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ピピッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン	0
							10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

## QuickSharpFlag

ピクチャーコントロールのクイックシャープの有効無効を示す。

ピクチャーコントロール設定時に、QuickSharpFlag が有効の場合、Sharpening、MiddleRangeSharpening、Clarity の値は無視する。

Value	Description
0	無効
1	有効

## QuickSharp

ピクチャーコントロールのクイックシャープを示す。

Value	Description
-128	Auto
-2	-2
-1	-1
0	0
1	1
2	2

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

ピクチャーコントロール設定時に、QuickSharpFlag が無効の場合、Auto は設定できない。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ゾンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
-2~2	-128 -2~2			-2~2		

## Sharpening

ピクチャーコントロールの輪郭強調を示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ゾンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
-8 -4 0 4 8				-128 (QuickSharp が Auto の場合) -12~36		

## MiddleRangeSharpening

ピクチャーコントロールのミドルレンジシャープを示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード	モノクローム	ドリーム	ゾンバー	セピア	チャコール
-----	--------	--------	------	------	-----	-------

	ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット		モーニング ポップ サンデー	ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	ブルー レッド ピンク	グラファイト バイナリー カーボン
-8 -4 0 4 8	-128 (QuickSharp が Auto の場合) -20~20					

## Clarity

ピクチャーコントロールの明瞭度を示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
-8 -4 0 4 8	-128 (QuickSharp が Auto の場合) -20~20					

## Contrast

ピクチャーコントロールのコントラストを示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
-8 -4 0 4 8	-128 -12~12		-12~12			

## Brightness

ピクチャーコントロールの明るさを示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
0	-6~6		0			

## Saturation

ピクチャーコントロールの色の濃さを示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ビュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
-8 -4 0 4 8	-128 -12~12	0		-12~12	0	

## Hue

ピクチャーコントロールの色合いを示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ビュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
0	-12~12	0	-12~12	0	0	

## FilterEffects

ピクチャーコントロールのフィルター効果を示す。

Value	Description
0	OFF
1	Yellow
2	Orange
3	Red
4	Green

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ソンバー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ビュア デニム トイ	セピア ブルー レッド ピンク	チャコール グラファイト バイナリー カーボン
0		0~4	0		0~4	

## Toning

ピクチャーコントロールの調色を示す。

ピクチャーコントロール設定時に、Toning が選択可能で Toning が B&W の場合、ToningDensity の値は無視する。

Value	Description

0	B&W
1	Sepia
2	Cyanotype
3	Red
4	Yellow
5	Green
6	Blue Green
7	Blue
8	Purple Blue
9	Red Purple

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ゾンパー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー <sup>レッド</sup> ピンク	チャコール グラファイト バイナリー <sup>カーボン</sup>
	0					

### ToningDensity

ピクチャーコントロールの調色(濃さ)を示す。

各ピクチャーコントロールで使用可能な値を以下に示す。

オート	スタンダード ビビッド ポートレート 風景 ニュートラル フラット	モノクローム	ドリーム モーニング ポップ サンデー	ゾンパー ドラマ サイレンス ブリーチ メランコリック ピュア デニム トイ	セピア ブルー <sup>レッド</sup> ピンク	チャコール グラファイト バイナリー <sup>カーボン</sup>
	0					

### CustomCurveFlag

ピクチャーコントロールのカスタムカーブの有効無効を示す。

カスタムピクチャーコントロールの場合のみ、有効が使用可能となる。

Value	Description
0	無効
1	有効

### CustomCurveData

ピクチャーコントロールのカスタムカーブデータを示す。

カスタムカーブデータは LUT データ(LUT Format 参照)を使用する。

CustomCurveFlag が無効の場合、このデータは不要です。

### LUT Format

LUT データは、2Byte×257 点の 514Byte の実データにホストで利用する為のヘッダ(64Byte)を付加した形を取る。ヘッダのフォーマットは、ホストの独自仕様とし(送付する LUT のラインポイント等の格納場所、読み出し時に LUT を再現する為のデータ)、カメラ側はその内容を閲知しない。但し、ヘッダの 2Byte は、カメラ側でヘッダのデータが存在するか否かの判断に使用されるので、ヘッダにデータをセット

する必要がある。

LUT フォーマットは以下の通り

Byte	内容
0 ~ 63	Lut Header
64,65	Data0
66,67	Data1
	...
576,577	Data256

Lut Header の例として、Nikon 製アプリケーションによりセットされるヘッダの内容を以下に示す。

Byte	内容	Range
1	ID(Byte1)	0x49
2	ID(Byte2)	0x30
3	Input Minimum(Black Point)	0-255
4	Input Maximum	0-255
5	Output Minimum	0-255
6	Output Maximum	0-255
7	Gamma(integer portion)	0-20
8	Gamma(fractional portion)	0-100
9	Number of Spline Points	2-20
10、11	Spline Point1(x, y)	0-255, 0-255
12、13	Spline Point2(x, y)	0-255, 0-255
	...	
48、49	Spline Point20(x, y)	0-255, 0-255
50 ~ 64	Reserved	0

### 3.45. **GetPicCtrlInfo**

サポートせず。

### 3.46. DeleteCustomPictureControl

指定されたカスタムピクチャコントロール項目を削除する。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_DeleteCustomPictureControl
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	カスタムピクチャコントロール項目

Capability\_PictureControl で列挙された、カスタムピクチャコントロール領域 1~9 のいずれかを指定し、Set を実行することで指定したカスタムピクチャコントロールを削除する。

下記いずれかの場合、本 Capability は設定不可となる。

- ・動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.47. Active\_D\_Lighting

アクティブ-D-ライティング設定を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Active_D_Lighting
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDActive_D_Lighting <ul style="list-style-type: none"><li>0 : 強め</li><li>1 : 標準</li><li>2 : 弱め</li><li><u>3 : しない</u></li><li>5 : より強め</li><li>6 : 自動</li></ul>

下記いずれかの場合、本 Capability は ReadOnly とする。

- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ 動画記録中
- ・ 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。

DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.48. ISOAutoShutterTime

感度変更を行うシャッター秒時の閾値を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_ISOAutoShutterTime
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDISOAutoShutterTime

閾値	eNkMAIDISOAutoShutterTime	閾値	eNkMAIDISOAutoShutterTime
1/4000	20	1/8	4
1/3200	21	1/6	37
1/2500	22	1/5	38
1/2000	23	1/4	5
1/1600	24	1/3	39
1/1250	25	1/2.5	40
1/1000	26	1/2	6
1/800	27	1/1.6	41
1/640	28	1/1.3	42
1/500	29	1	7
1/400	30	1.3	43
1/320	31	1.6	44
1/250	13	2	8
1/200	14	2.5	45
1/160	15	3	46
1/125	0	4	9
1/100	16	5	47
1/80	17	6	48
1/60	1	8	10
1/50	19	10	49
1/40	18	13	50
1/30	2	15	11
1/25	33	20	51
1/20	34	25	52
1/15	3	30	12
1/13	35	オート	32
1/10	36		

下記いずれかの場合、本 Capability は ReadOnly とする。

- Capability\_IsoControl が OFF
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
------------------	----------------

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.49. ISOAutoShutterTimeAutoValue

kNkMAIDCapability\_ISOAutoShutterTime が「自動」に設定されている場合の補正值を表す。

(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ISOAutoShutterTimeAutoValue
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-2～+2EV (Default value: 0)

Capability\_IsoControl が ON で、且つ Capability\_ISOAutoShutterTime が「32：自動」に設定されている場合にのみ有効となる。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.50. ISOAutoHiLimit

ISO 感度自動制御 ON 時の、制御上限感度の設定値を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ISOAutoHiLimit
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDISOAutoHiLimit4

eNkMAIDISOAutoHiLimit4	制御上限感度	EVInterval	
		1/3	1/2
2	100	○	○
3	125	○	×
4	140	×	○
5	160	○	×
6	200	○	○
7	250	○	×
8	280	×	○
9	320	○	×
10	400	○	○
11	500	○	×
12	560	×	○
13	640	○	×
14	800	○	○
15	1000	○	×
16	1100	×	○
17	1250	○	×
18	1600	○	○
19	2000	○	×
20	2200	×	○
21	2500	○	×
22	3200	○	○
23	4000	○	×
24	4500	×	○
25	5000	○	×
26	6400	○	○
27	8000	○	×
28	9000	×	○
29	10000	○	×
30	12800	○	○
36	16000	○	×
37	18000	×	○
38	20000	○	×
<u>39</u>	<u>25600</u>	○	○
31	Hi-0.3	○	×
32	Hi-0.5	×	○
33	Hi-0.7	○	×
34	Hi-1.0	○	○
35	Hi-2.0	○	○

Capability\_EVInterval の設定により設定可能な値が変化する。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_IsoControl が OFF に設定されている

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li> <li>• EVIntervalの設定により設定不可能な値を設定した場合。</li> </ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.51. VignetteControl

撮影メニューの「周辺光量補整」を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_VignetteControl
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDVignetteControl 0: 強め <u>1: 標準</u> 2: 弱め 3: しない

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.52. MovieScreenSize

撮影メニューの「動画の設定 – 画像サイズ/フレームレート」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieScreenSize																												
<b>Object types</b>	Source																												
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned																												
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set																												
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieScreenSize8																												
	<table border="1"><thead><tr><th>eNkMAIDMovieScreenSize8</th><th>内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>0</td><td>3840×2160 30p</td></tr><tr><td>1</td><td>3840×2160 25p</td></tr><tr><td>2</td><td>3840×2160 24p</td></tr><tr><td>18</td><td>1920×1080 120p</td></tr><tr><td>19</td><td>1920×1080 100p</td></tr><tr><td>3</td><td>1920×1080 60p</td></tr><tr><td>4</td><td>1920×1080 50p</td></tr><tr><td>5</td><td>1920×1080 30p</td></tr><tr><td>6</td><td>1920×1080 25p</td></tr><tr><td>7</td><td>1920×1080 24p</td></tr><tr><td>15</td><td>1920×1080 30p 4倍スロー</td></tr><tr><td>16</td><td>1920×1080 25p 4倍スロー</td></tr><tr><td>17</td><td>1920×1080 24p 5倍スロー</td></tr></tbody></table>	eNkMAIDMovieScreenSize8	内容	0	3840×2160 30p	1	3840×2160 25p	2	3840×2160 24p	18	1920×1080 120p	19	1920×1080 100p	3	1920×1080 60p	4	1920×1080 50p	5	1920×1080 30p	6	1920×1080 25p	7	1920×1080 24p	15	1920×1080 30p 4倍スロー	16	1920×1080 25p 4倍スロー	17	1920×1080 24p 5倍スロー
eNkMAIDMovieScreenSize8	内容																												
0	3840×2160 30p																												
1	3840×2160 25p																												
2	3840×2160 24p																												
18	1920×1080 120p																												
19	1920×1080 100p																												
3	1920×1080 60p																												
4	1920×1080 50p																												
5	1920×1080 30p																												
6	1920×1080 25p																												
7	1920×1080 24p																												
15	1920×1080 30p 4倍スロー																												
16	1920×1080 25p 4倍スロー																												
17	1920×1080 24p 5倍スロー																												

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。 動画フレーム保存中の場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.53. MovieImageQuality

撮影メニューの「動画の設定 – 動画の画質」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieImageQuality
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieImageQuality 0: 標準 <u>1: 高画質</u>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_MovieScreenSize が 「0: 3840×2160 30p」「1: 3840×2160 25p」「2: 3840×2160 24p」「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」「18: 1920x1080 120p」「19: 1920x1080 100p」の場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.54. MovieRecMicrophone

撮影メニューの「動画の設定 – 録音設定」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieRecMicrophone
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovRecMicrophone 0: <u>マイク感度 オート (A)</u> 4: 録音しない 5: マニュアル

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中で、且つ、本 Capability の設定が「4: 録音しない」の場合
- Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」の場合

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"> <li>Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li> <li>動画記録中で且つ、「0:マイク感度オート」、「5:マニュアル」に設定されている場合に、「4: 録音しない」をSetした場合。</li> </ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.55. MovieRecMicrophoneValue

Capability\_MovieRecMicrophone が「マニュアル」に設定されている場合のマイク感度 を表す。

(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieRecMicrophoneValue
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Range
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	1 to 20 step=1 (Default: 15)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_MovieRecMicrophone が「5: マニュアル」以外に設定されている場合、
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」の場合

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.56. AutoDistortion

撮影メニューの「自動ゆがみ補正」を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AutoDistortion
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDAutoDistortion 0: しない <u>1: する</u>
	<ul style="list-style-type: none"><li>下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。Capability_LensType が「0 x00000080 : 常時ゆがみ補正 ON レンズ」を示す場合</li><li>動画記録中</li><li>Capability_SpotWBMode が 1 (ON)</li></ul>

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.57. UserMode1

カメラで設定されている「U1(ユーザー mode 1)」を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_UserMode1
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDUserMode <u>19 : P (プログラムオート)</u> 20 : S (シャッタースピード優先) 21 : A (絞り優先) 22 : M (マニュアル) 23 : Auto

kNkMAIDCapability\_ExposureMode が「15 : U1」に設定されている場合に使用する撮影モード。

「15 : U1」に設定されていない場合に取得する値は保障しない。また、U1 の登録・リセットはカメラ本体からしか行えない。

### 3.58. UserMode2

カメラで設定されている「U2(ユーザー mode 2)」を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_UserMode2
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault,
<b>Data</b>	one of eNkMAIDUserMode ※設定値はUserMode1と同じ。

kNkMAIDCapability\_ExposureMode が「16 : U2」に設定されている場合に使用する撮影モード。

「16 : U2」に設定されていない場合に取得する値は保障しない。また、U2 の登録・リセットはカメラ本体からしか行えない。

### 3.59. UserMode3

カメラで設定されている「U3(ユーザー モード 3)」を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_UserMode3
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault,
<b>Data</b>	one of eNkMAIDUserMode ※設定値はUserMode1と同じ。

kNkMAIDCapability\_ExposureMode が「18 : U3」に設定されている場合に使用する撮影モード。

「18 : U3」に設定されていない場合に取得する値は保障しない。また、U3 の登録・リセットはカメラ本体からしか行えない。

### 3.60. HDRMode

撮影メニューの「HDR(ハイダイナミックレンジ) – HDR モード」を表す。 (静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_HDRMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDHDRMode 0: しない 1: する (1回) 2: する (連続)

Capability\_ShootingMode が連続撮影設定であっても、連続撮影動作で HDR 化される画像は 1 枚目のみであり、且つ撮影可能となるのは 1 枚のみである。

以下の場合の何れかに該当する場合、本CapabilityはRead Onlyとなる。

- Capability\_EnableBracketing が ON に設定されている場合
- Capability\_CompressionLevel が RAW または RAW+JPEG
- 動画ライブビュー中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.61. HDRExposure

撮影メニューの「HDR(ハイダイナミックレンジ) – 露出差」を表す。（静止画撮影メニュー）

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_HDRExposure
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDHDRExposure <ul style="list-style-type: none"><li><u>0: オート</u></li><li>1: 1EV</li><li>2: 2EV</li><li>3: 3EV</li></ul>

下記いずれかの場合、本CapabilityはRead Onlyとなる。

- Capability\_EnableBracketing が ON に設定されている場合
- Capability\_CompressionLevel が RAW または RAW+JPEG
- 動画ライブビュー中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.62. HDRSmoothing

撮影メニューの「HDR(ハイダイナミックレンジ) – スムージング」を表す。（静止画撮影メニュー）

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_HDRSmoothing
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDHDRSmoothing 0: 強め <u>1: 標準</u> 2: 弱め

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_EnableBracketing が ON に設定されている場合
- Capability\_CompressionLevel が RAW または RAW+JPEG
- 動画ライブビュー中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.63. HDRSaveIndividualImages

静止画撮影メニューの「HDR(ハイダイナミックレンジ) - 合成前の画像を保存(RAW)」を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_HDRSaveIndividualImages
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDHDRSaveIndividualImages <u>0: しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_EnableBracketing が ON に設定されている場合
- Capability\_CompressionLevel が RAW または RAW+JPEG
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画ライブビュー中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.64. FlashISOAutoHighLimit

静止画撮影メニューの「ISO 感度設定 - 感度自動制御 - フラッシュ使用時の制御上限感度」を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_FlashISOAutoHighLimit
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
Data	one of eNkMAIDFlashISOAutoHighLimit

Capability\_EVInterval の設定により設定可能な値が変化する。

eNkMAIDFlashISOAutoHighLimit	制御上限感度	EVInterval	
		1/3	1/2
48	100	○	○
49	125	○	×
50	140	×	○
51	160	○	×
0	200	○	○
1	250	○	×
2	280	×	○
3	320	○	×
4	400	○	○
5	500	○	×
6	560	×	○
7	640	○	×
8	800	○	○
9	1000	○	×
10	1100	×	○
11	1250	○	×
12	1600	○	○
13	2000	○	×
14	2200	×	○
15	2500	○	×
16	3200	○	○
17	4000	○	×
18	4500	×	○
19	5000	○	×
20	6400	○	○
21	8000	○	×
22	9000	×	○
23	10000	○	×
24	12800	○	○
25	16000	○	×
26	18000	×	○
27	20000	○	×
28	25600	○	○
37	Hi-0.3	○	×
38	Hi-0.5	×	○
39	Hi-0.7	○	×
40	Hi-1.0	○	○
41	Hi-2.0	○	○

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_IsoControl が OFF
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。</li> <li>• EVInterval の設定により設定不可能な値を設定した場合。</li> </ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.65. ResetCustomSetting

カスタムセッティングをリセットする。(カスタムメニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_ResetCustomSetting
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Process
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Start
Data	なし

下記いずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

NotSupported	Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.66. AFcPriority

AF-C でフォーカス優先 AF を行うかどうかを設定する。(カスタム a1)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AFcPriority
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	

フォーカス	“AF-C Focus”
レリーズ	“AF-C Shutter”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.67. AFsPriority

AF-S でフォーカス優先 AF を行うかどうかを設定する。(カスタム a2)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AFsPriority
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	

フォーカス	“AF-S Focus”
レリーズ	“AF-S Shutter”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
------------------	----------------

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.68. AFLockOnAcross

カスタムメニューの「オートフォーカス - AF ロックオン - 横切りへの反応」を表す。(カスタム a3)

Capability	kNkMAIDCapability_AFLockOnAcross
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
Data	one of eNkMAIDAFLockOnAcross 1(Quick[敏感])~5(Slow[鈍感]) Default:3

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.69. FaceDetection

[Z 7]カスタムメニューの「オートフォーカス・オートエリア AF 時の顔認識」を表す。

[Z 7\_FU1、Z 7\_FU2、Z 7\_FU3]カスタムメニューの「オートフォーカス・オートエリア AF 時の顔と瞳認識」を表す。

(カスタム a4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FaceDetection
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDFaceDetection
	[Z 7]
	0 : しない
	<u>1 : する</u>
	[Z 7_FU1, Z 7_FU2]
	0 : しない
	1 : 顔認識する
	<u>2 : 顔認識と瞳認識する</u>
	[Z 7_FU3]
	0 : しない
	1 : 顔認識する
	<u>2 : 顔認識と瞳認識する</u>
	3 : 動物認識する

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・動画記録中
- ・Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.70. AFAreaSelector

AF エリア移動の循環を行うかどうかの設定。(カスタム a9)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AFAreaSelector
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

循環しない	<u>“Normal”</u>
循環する	“Cyclic”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.71. AFAreaPoint

カスタムメニューの「オートフォーカス -AF 点数」を表す。(カスタム a5)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AFAreaPoint
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDAFAreaPoint 5: 全点 6: スキップ

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.72. EVInterval

シャッタースピード、絞り値、プログラムシフト、AE ブラケティングのステップ幅を設定する。

(カスタム b1)

Capability	kNkMAIDCapability_EVInterval
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

1/3段	“1/3 Step”
1/2段	“1/2 Step”

本 Capability の値が変更された場合、Capability\_BracketingVary が AE ブラケティングの場合は、Capability\_AEBracketingStep は「3: 1EV」に変更され、Capability\_BracketingType は「8:0 枚」となる。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.73. CWMeteringDiameter

中央重点測光時の測光範囲を設定する。(カスタム b3)

Capability	kNkMAIDCapability_CWMeteringDiameter
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

画面全体の平均	“Average”
<u>ϕ 12mm</u>	“12 mm”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.74. ExpBaseMatrix

測光モードがマルチパターン測光の時の基準露出レベルを表す。(カスタム b4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExpBaseMatrix
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-1~+1EV (1/6EV刻み) (Default : 0)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.75. ExpBaseCenter

測光モードが中央部重点測光の時の基準露出レベルを表す。(カスタム b4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExpBaseCenter
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-1~+1 EV (1/6EV刻み) (Default : 0)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.76. ExpBaseSpot

測光モードがスポット測光の時の基準露出レベルを表す。(カスタム b4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExpBaseSpot
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-1~+1 EV (1/6EV刻み) (Default : 0)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.77. ExpBaseHighlight

測光モードがハイライト重点測光の時の基準露出レベルを表す。(カスタム b4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExpBaseHighlight
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-1~+1 EV (1/6EV刻み) (Default : 0)

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.78. ShootingSpeed

低速連続撮影モード (CL) 時の連写速度 (コマ／秒) を設定する。(カスタム d1)

**Capability** kNkMAIDCapability\_ShootingSpeed

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Enum

kNkMAIDArrayType\_PackedString

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray,  
kNkMAIDCapOperation\_Set

#### Data

5コマ/秒	“5 frames / second”
4コマ/秒	“4 frames / second”
3コマ/秒	“3 frames / second”
2コマ/秒	“2 frames / second”
1コマ/秒	“1 frame / second”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.79. ShootingLimit

連写の最大連続撮影枚数を設定する。(カスタム d2)

**Capability** kNkMAIDCapability\_ShootingLimit

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 1 – 200 (Default: 200)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.80. ExposureDelayEx

露出ディレイモードを設定する。(カスタム d4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExposureDelayEx
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDExposureDelayEx 0: 3秒 1: 2秒 2: 1秒 <u>3: しない</u> 4: 0.5秒 5: 0.2秒

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.81. NumberingMode

連番モードを選択する。(カスタム d7)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_NumberingMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

連番OFF	“Normal filename assignment”
連番ON	“Sequential filename assignment”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_HDRMode が「しない」以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.82. ResetFileName

撮影した画像を CF/XQD カードに保存する際に付けられるファイル名（番号）をリセットする。

(カスタム d7)

**Capability** kNkMAIDCapability\_ResetFileName

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

下記いずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_HDRMode が「しない」以外

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.83. FlashSyncTime

スピードライト撮影時の同調速度を設定する。(カスタム e1)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FlashSyncTime
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

1/200 秒 (オート FP)	“1/200 sec (FP Auto)”
<u>1/200 秒</u>	“1/200 sec”
1/160 秒	“1/160 sec”
1/125 秒	“1/125 sec”
1/100 秒	“1/100 sec”
1/80 秒	“1/80 sec”
1/60 秒	“1/60 sec”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.84. FlashSlowLimit

スピードライト撮影時のシャッタースピード低速リミッタを設定する。(カスタム e2)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FlashSlowLimit
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

<u>1/60 秒</u>	“1/60 sec”
1/30 秒	“1/30 sec”
1/15 秒	“1/15 sec”
1/8 秒	“1/8 sec”
1/4 秒	“1/4 sec”
1/2 秒	“1/2 sec”
1 秒	“1 sec”
2 秒	“2 sec”
4 秒	“4 sec”
8 秒	“8 sec”
15 秒	“15 sec”
30 秒	“30 sec”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.85. ExposureCompFlashUsed

カスタムメニューの「フラッシュ・BKT 撮影 - フラッシュ使用時の露出補正」を表す。

(カスタム e3)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExposureCompFlashUsed
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDExposureCompFlashUsed

0 : 全体を補正
1 : 背景のみ補正

下記いずれかの場合、本 Capability は ReadOnly とする。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.86. BracketingVary

静止画撮影メニューの「オートブラケティング・オートブラケティングのセット」を設定する。

(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_BracketingVary

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Enum

kNkMAIDArrayType\_PackedString

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray,  
kNkMAIDCapOperation\_Set

#### Data

AE ブラケティング	“AE Only”
フラッシュブラケティング	“Flash Only”
<u>AE・フラッシュブラケティング</u>	“AE & Flash”
WB ブラケティング	“White Balance”
ADL ブラケティング	“ADL bracketing”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.87. BracketingFactor

M モードにおけるブラケティングの変化要素を設定する。(カスタム e6)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_BracketingFactor
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

シャッタースピードとフラッシュ	“Exposure time + TTL control”
シャッタースピードと絞り値とフラッシュ	“Exposure time + Aperture + TTL control”
絞り値とフラッシュ	“Aperture + TTL control”
フラッシュのみ	“TTL control”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.88. BracketingOrder

ブラケティング撮影時の補正順を設定する。(カスタム e7)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_BracketingOrder
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

<u>[0] -&gt; [-] -&gt; [+]</u>	“Same as Auto Bracketing”
<u>[-] -&gt; [0] -&gt; [+]</u>	“Negative to Positive”

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.89. ShutterSpeedLockSetting

「シャッタースピードと絞りのロック機能」が割り当てられたボタンを押下した場合の、シャッタースピードロック機能の設定を表す。(カスタム f4)

Capability	kNkMAIDCapability_ShutterSpeedLockSetting
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
Data	one of eNkMAIDShutterSpeedLockSetting <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 撮影モードが S または M 以外
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ファームアップに失敗したレンズを装着中
- シャッタースピードまたは絞り値表示部でエラー／警告表示中  
(シャッタースピードか絞り値どちらかが消灯するのものが対象)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>カード未フォーマットエラーの場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.90. ApertureLockSetting

「シャッタースピードと絞りのロック機能」が割り当てられたボタンを押下した場合の、絞りロック機能の設定を表す。(カスタム f4)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ApertureLockSetting
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDApertureLockSetting <u>0 : しない</u> 1 : する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 撮影モードがS, A, M 以外の場合
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBModeが1 (ON)
- フームアップ失敗レンズ装着中
- シャッタースピードまたは絞り値表示部でエラー／警告表示中  
(シャッタースピードか絞り値どちらかが消灯するのものが対象)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>• Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>• カードアクセスエラーの場合。</li><li>• カード未フォーマットエラーの場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.91. MovieReleaseButton

動画記録中のシャッターボタンの機能を設定する。(カスタム g2)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieReleaseButton
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieReleaseButton 0: <u>静止画撮影</u> 1: 動画撮影

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.92. SBWirelessMode

外付けフラッシュのワイヤレス設定を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_SBWirelessMode
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDSBWWirelessMode 0 : <u>一灯</u> 1 : 電波増灯 2 : 光増灯 3 : 光+電波増灯

サポートする Property Value がひとつも無い場合の値は不定となる。

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画ライブビュー中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 装着している外部フラッシュによっては設定不可になる場合

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.93. SBWirelessMultipleFlashMode

外付けフラッシュの増灯発光モードを表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_SBWirelessMultipleFlashMode
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDSBWWirelessMultipleFlashMode
	<u>0 : グループ増灯</u>
	1 : クイックワイヤレスライティング
	2 : リピーティング

Capability\_SBWirelessMode が「3 : 光+電波増灯」である場合はに本プロパティは「0 : グループ増灯」固定となる。

カメラに装着中のフラッシュの種類または、無線通信アクセサリの装着有無により、サポートする値が一つもない場合、本 Capability の現在値には Default 値が設定される。また、不定状態を示すため、Visibility は Invalid で Set 不可となる。

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・動画ライブビュー中
- ・Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・Capability\_SBWirelessMode が「0 : 一灯」の場合
- ・装着している外部フラッシュによっては設定不可になる場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.94. SBUsableGroup

外付けフラッシュの使用可能なグループを表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_SBUsableGroup
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDSBUUsableGroup <u>0 : 使用不可</u> または、 <a href="#">eNkMAIDSGroupID</a> の論理和

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.95. WirelessCLSEntryMode

セットアップメニューの「リモコン(WR)設定 – リンクモード」の設定を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WirelessCLSEntryMode
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWirelessCLSEntryMode
	<u>0 : ペアリングモード</u>
	1 : PIN コードモード

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・動画記録中
- ・Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ワイヤレスリモートコントローラーを装着していない場合
- ・「電波制御 AWL」に対応していないワイヤレスリモートコントローラーを装着している場合
- ・装着している外部フラッシュによっては設定不可になる場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.96. SBPINCode

セットアップメニューの「リモコン(WR)設定 – リンクモード」の PIN コードを表す。(SETUP)

Capability	kNkMAIDCapability_SBPINCode
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDault, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	0 ~ 9999の値 (Defalut:0)

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・動画記録中
- ・Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ワイヤレスリモートコントローラーを装着していない場合
- ・「電波制御 AWL」に対応していないワイヤレスリモートコントローラーを装着している場合
- ・装着している外部フラッシュによっては設定不可になる場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.97. RadioMultipleFlashChannel

ワイヤレスリモートコントローラーの通信チャンネルを表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_RadioMultipleFlashChannel
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDault,
<b>Data</b>	one of eNkMAIDRadioMultipleFlashChannel
	<u>0 : Unknown</u>
	5 : 5CH
	10 : 10CH
	15 : 15CH

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.98. OpticalMultipleFlashChannel

外付けフラッシュの光通信の通信チャンネルを表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_OpticalMultipleFlashChannel
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDOpticalMultipleFlashChannel <u>1 : 1CH</u> 2 : 2CH 3 : 3CH 4 : 4CH

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_SBWirelessMode が「0 : 一灯」または、「1 : 電波増灯」の場合
- 装着している外部フラッシュによっては設定不可になる場合

下記の場合、本 Capability は Visibility が Invalid となり、Operation は Read Only となる。

- 光通信の通信チャンネルが不定値の場合
- 動画ライブビュー中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>• Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>• SBコントロール可能なフラッシュが装着されていない場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.99. FlashRangeDisplay

外付けフラッシュの調光設定の距離表記を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FlashRangeDisplay
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray,
<b>Data</b>	one of eNkMAIDFlashRangeDisplay
	<u>0 : メートル(m)</u>
	1 : フィート(ft)

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.100. **AllTestFiringDisable**

外付けフラッシュの一括テスト発光の禁止状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AllTestFiringDisable
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDault,
<b>Data</b>	one of eNkMAIDAllTestFiringDisable
	<u>0 : 発光許可</u>
	1 : 発光禁止

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.101. **SBSettingMemberLock**

外付けフラッシュの設定部材のロック状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_SBSettingMemberLock
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray,
	kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDSBSSettingMemberLock
	<u>0 : ロックしない</u>
	1 : ロックする

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_ExternalFlashStatus が「2:未装着の場合」
- 装着している外部フラッシュによっては設定不可になる場合
- 動画ライブビュー中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.102. ShootNoCard

セットアップメニューの「カードなし時レリーズ」を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ShootNoCard
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	<u>True</u> : 撮影可能 <u>False</u> : 撮影不可

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.103. UserComment

撮影したイメージファイルに書き込まれる文字列をカメラにセットする。(SETUP)

**Capability** kNkMAIDCapability\_UserComment

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_String

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 36バイト以内の文字列（終端¥0を含まない。）

36バイトを超える文字列がセットされた場合、37バイト目以降は無視される。有効な文字は95文字のASCIIコードのみ（[ASCIIコード](#)を参照）である。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	セットされた文字列に無効な文字が含まれていた場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.104. **EnableComment**

画像ファイルにコメント付加情報を設定する。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_EnableComment
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	True: 付加する <u>False: 付加しない</u>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.105. **ClockDateTime**

カメラ内蔵時計の時刻を設定する。(SETUP)

**Capability** kNkMAIDCapability\_ClockDateTime  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_DateTime  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data** kNkMAIDDataType\_DateTimePtr

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.106. ManualSetLensNo

レンズ情報手動設定(Capability\_FmmManual、Capability\_F0Manual)のレンズ No.を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ManualSetLensNo
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	0 ~ 19 (Default : 0)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

現在値が変化した際、本 Capability の kNkMAIDEvent\_CapChange および kNkMAIDEvent\_CapChangeValueOnly は発行されない。代わりに kNkMAIDEvent\_ManualSettingLensDataChanged が発行される。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.107. FmmManual

Capability\_ManualSetLensNo で指定されたレンズの焦点距離[mm]をマニュアル設定する。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FmmManual
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	<u>0 (設定せず)</u> , 6, 8, 13, 15, 16, 18, 20, 24, 25, 28, 35, 43, 45, 50, 55, 58, 70, 80, 85, 86, 100, 105, 135, 180, 200, 300, 360, 400, 500, 600, 800, 1000, 1200, 1400, 1600, 2000, 2400, 2800, 3200, 4000 (Default: 0)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

現在値が変化した際、本 Capability の kNkMAIDEvent\_CapChange および kNkMAIDEvent\_CapChangeValueOnly は発行されない。代わりに kNkMAIDEvent\_ManualSettingLensDataChanged が発行される。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.108. F0Manual

Capability\_ManualSetLensNo で指定されたレンズの開放 F 値をマニュアル設定する。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_F0Manual
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	<u>0 (設定せず)</u> , 12, 14, 18, 20, 25, 28, 33, 35, 40, 45, 50, 56, 63, 71, 80, 95, 110, 130 150, 160 190, 220 (Default: 0) Moduleは (F値×10) の値を、値として設定する (例 : F1.2 → 12, F19 → 190)。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

現在値が変化した際、本 Capability の kNkMAIDEvent\_CapChange および kNkMAIDEvent\_CapChangeValueOnly は発行されない。代わりに kNkMAIDEvent\_ManualSettingLensDataChanged が発行される。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.109. **EnableCopyright**

著作権情報の添付の有無を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_EnableCopyright
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	True: 添付する <u>False: 添付しない</u>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.110. ArtistName

カメラで設定されている、「撮影者名」のコメントを表す。(SETUP)

**Capability** kNkMAIDCapability\_ArtistName

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_String

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 36バイト以内の文字列（終端¥0を含まない。）

36バイトを超える文字列がセットされた場合、37バイト目以降は無視される。

また、文字列の NULL 終端子以前のスペース（0x20）は無視される。

例) ABCD△EFG△△△△△△△△△△'¥0' → NULL 終端子以前の 8 個のスペースが無効となる。

有効な文字は 95 文字の ASCII コードのみ([ASCII コード](#)を参照)である。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	セットされた文字列に無効な文字が含まれていた場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.111. CopyrightInfo

カメラで設定されている、「著作権情報」のコメントを表す。(SETUP)

**Capability** kNkMAIDCapability\_CopyrightInfo

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_String

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 54バイト以内の文字列（終端¥0を含まない。）

54バイトを超える文字列がセットされた場合、55バイト目以降は無視される。

また、文字列の NULL 終端子以前のスペース（0x20）は無視される。

例) ABCD△EFG△△△△△△△△△△'¥0' → NULL 終端子以前の 8 個のスペースが無効となる。

有効な文字は 95 文字の ASCII コードのみ([ASCII コード](#)を参照)である。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	セットされた文字列に無効な文字が含まれていた場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.112. ShutterSpeed

シャッタースピードを設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ShutterSpeed
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	シャッター秒時を示す文字列 (例) “30”, … “1”, “1/1.3”, “1/1.6”, … “1/4000” X秒時の場合(例) “x 1/200”, “x 1/160”, “x 1/125”, … “x 1/60” (Default: 設定範囲の最小値)

動画ライブビュー実行中のライブビュー画像、撮影された動画ファイルにおけるシャッタースピードは本 Capability ではなく Capability\_MovieShutterSpeed を利用する。

ライブビュー実行中の静止画撮影時は、本 Capability が使用される。

Capability\_ExternalFlashStatus が Not Exist 以外の場合、シャッタースピードの上限値は Capability\_FlashSyncTime で設定される同調速度に制限され、設定可能な値範囲も更新される。また、下記の撮影モードおよびフラッシュモードのいずれも満たす場合、下限値は Capability\_FlashSlowLimit で設定されている低速リミッタ速度に自動的に制限される。

フラッシュモード	撮影モード
赤目軽減発光	P
通常発光	A

下記の何れかの場合、バルブ、タイムの設定はできない。

- 撮影モードが Manual 以外
- Capability\_HDRMode が「しない」以外

現在値がバルブの場合、上記の条件に合致し、バルブが列挙から外れた時、最も遅いシャッタースピードに現在値を変更する。

また、その後、上記の条件が解除されバルブが列挙に含まれる場合も現在値は変更された値を保持する。

下記の何れかの場合、最小値が 1/2000 に制限される。

- [Z 7] Capability\_ElectronicFrontCurtainShutter が「1: 電子先幕シャッター有効」
- [Z 7\_FU1] Capability\_ElectronicFrontCurtainShutter が「1: 電子先幕シャッター」
- [Z 7\_FU2, Z 7\_FU3] Capability\_ElectronicFrontCurtainShutterEx が「1: 電子先幕シャッター」

下記の何れかの場合、本 Capability は Read only となる。

- 撮影モードが S, M 以外
- Capability\_ShutterSpeedLockSetting が「1: する」に設定されている
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが Manual、且つ Capability\_EnableBracketing が ON、且つ Capability\_Br

acketingVary が AE ブラケティング、AE・フラッシュブラケティング、且つ Capability\_BracketingFactor の変化要素にシャッタースピードが含まれている場合(Module 独自仕様)

※ただし、このうち Capability\_EnableBracketing が OFF のときも Read Only になることがある。詳細は、[EnableBracketing](#) を参照。(Module 独自仕様)

- Capability\_RetractableLensWarningStatus が「True：沈胴警告中」の場合
- 撮影モードが Manual 以外で且つ、CPU レンズ未装着の場合
- 動画ライブビュー中

下記の場合、本 Capability は Read Only、Visibility は Invalid となる。

- シーケンスエラー発生時
- 最小絞り警告中

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.113. FlexibleProgram

プログラムシフト量を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FlexibleProgram
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-5~+5EV (Default value: 0)

Module は、Capability\_EVInterval の設定値を参照し、その値と同一の刻み幅に設定する。

Capability\_EVInterval、撮影モードを変更すると、FlexibleProgram は 0 に戻り、Module は CapChange または CapChangeValueOnly のイベントを Client に対して発行する。

下記の何れかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Read Only となる。

- 撮影モードが Program モード以外
- シーケンスエラー発生時
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.114. Aperture

絞り値を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Aperture
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	F値を示す文字列（例）"1.4", "1.6", "1.8", "2"… (Default: 設定範囲の最小値)

動画ライブビュー実行中のライブビュー画像、撮影された動画ファイルにおける絞り値は本 Capability ではなく Capability\_MovieAperture を利用する。

ライブビュー実行中の静止画撮影時は、本 Capability が使用される。

絞り値が整数であるとき、文字列に小数点は含まれない。

レンズが最小絞りに設定されていない (FEE 状態) 場合、文字列 "EE" を返す。

CPU レンズ未装着の場合、Capability\_F0Manual において設定した値を返し、「設定なし」の場合は、“--”を返す。

下記の何れかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- レンズが最小絞りに設定されていない (FEE 状態, 絞り値エラー状態)
- CPU レンズ未装着の場合
- 撮影モードが A, M 以外
- Capability\_ApertureLockSetting が「1: する」に設定されている場合
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが Manual 、且つ Capability\_EnableBracketing が ON 、且つ Capability\_BracketingVary が AE ブラケティング、AE・フラッシュブラケティング、且つ Capability\_BracketingFactor の変化要素に絞りが含まれている場合 (Module 独自仕様)  
※ただし、このうち Capability\_EnableBracketing が OFF のときも Read Only になることがある。詳細は、[EnableBracketing](#) を参照。 (Module 独自仕様)

下記の場合、本 Capability は Read Only、Visibility は Invalid となる。

- シーケンスエラー発生時

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.115. **MeteringMode**

測光モードの設定を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MeteringMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMeteringMode <u>0: Matrix (マルチパターン測光)</u> 1: Center weighted (中央部重点測光) 2: Spot (スポット測光) 4:ハイライト重点測光

下記の何れかの場合、本 Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_LockExposure が True: Lock

下記の場合、本 Capability は、Read Only となる。

- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.116. ExposureMode

露出モードを設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExposureMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDExposureMode  <u>0: Program mode</u> 1: Aperture priority 2: Speed priority 3: Manual 5: Auto(オートモード) 15: U1(UserMode1) 16: U2(UserMode2) 18: U3(UserMode3)

撮影モードが「15: U1(User Mode1)」、「16: U2(User Mode2)」、「18: U3(User Mode3)」に設定されている場合、Capability\_UserMode1、Capability\_UserMode2、Capability\_UserMode3 で設定されている撮影モードが使用される。

下記のいずれかの場合、選択肢は P, S, A, M のみとなる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read-only となる。

- 動画記録中
- Capability\_LockCamera が「False : ロック解除する(PC カメラモード)」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.117. ExposureComp

露出補正量を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExposureComp
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-5~+5EV (Default value: 0)

Module は、Capability\_EVInterval の設定値を参照し、その値と同一の刻み幅に設定する。

動画ライブビュー実行時における露出補正量は、Capability\_MovieExposureComp を利用する。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1(ON)
- 撮影モードが「オートモード」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.118. ShootingMode

撮影モードを設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ShootingMode					
<b>Object types</b>	Source					
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum					
	kNkMAIDArrayType_Unsigned					
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set					
<b>Data</b>	one of eNkMAIDShootingMode					
	<table border="1"><tr><td>0: 1コマ撮影</td></tr><tr><td>1: 低速連続撮影</td></tr><tr><td>2: 高速連続撮影</td></tr><tr><td>3: セルフタイマー撮影</td></tr><tr><td>11: 高速連続撮影(拡張)</td></tr></table>	0: 1コマ撮影	1: 低速連続撮影	2: 高速連続撮影	3: セルフタイマー撮影	11: 高速連続撮影(拡張)
0: 1コマ撮影						
1: 低速連続撮影						
2: 高速連続撮影						
3: セルフタイマー撮影						
11: 高速連続撮影(拡張)						

下記の場合、列挙されるのは「0: 1コマ撮影」「2: 高速連続撮影」のみである。

- 動画ライブビュー中

本 Capability の値が「1: 低速連続撮影」または「2: 高速連続撮影」または「11: 高速連続撮影(拡張)」、且つ Capability\_HDRMode がしない以外の場合、連続撮影動作で HDR 化される画像は 1 枚目のみであり、且つ撮影可能となるのは 1 枚のみである。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画ライブビュー中かつ Capability\_MovieReleaseButton が「1: 動画撮影」
- 動画記録中の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	• Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.119.      **ContinuousShootingNum**

ホスト側から連写を行う場合のコマ数を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ContinuousShootingNum
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	1 – 65535    (Default 65535)

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1(ON)に設定されている場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.120. FocusAreaMode

静止画撮影メニューの「AF エリアモード」を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_FocusAreaMode
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

Menu	文字列	Capability_AFModeAtLiveView
ダイナミック AF	“Dynamic”	AF-C
<u>シングルポイント AF</u>	“Single”	MF, AF-S, AF-C
オートエリア AF	“Auto”	AF-S, AF-C
ピンポイント AF	“Pinpoint”	AF-S
ワイドエリア AF(S)	“Wide(S)”	AF-S, AF-C
ワイドエリア AF(L)	“Wide(L)”	AF-S, AF-C

Capability\_AFModeAtLiveView の値によって設定/使用できない AF エリアモードとなる場合は、この Capability は Single モードとなる。

本 Capability の値はメニューの設定値ではなく、制御値をあらわす。

※列挙値について: 列挙値に含まれる値はメニューへの設定は可能だが、カメラの状態によっては設定した値を制御値として使用することができない。その場合、直後に CapChange が通知され、Get すると制御値が取得される。(本 Capability の値とメニューの値が一致しないことがある。)

以下のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ユーザ操作で Capability\_AFModeAtLiveView を MF に設定したとき
  - Module を使用して Capability\_AFModeAtLiveView を変更。
  - カメラの静止画メニューから「フォーカスモード」を変更。
  - 静止画ライブビュー中、カメラの i メニューから「フォーカスモード」を変更。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>CPUレンズ未装着の場合</li></ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.121. EnableBracketing

ブラケティング撮影の ON/OFF を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_EnableBracketing
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	True: ON <u>False: OFF</u>

下記いずれかの場合、本 Capability の値は「False: OFF」に変更される。

- Capability\_BracketingVary が”WB ブラケティング”、”ADL ブラケティング”以外で、  
Capability\_EVInterval の値が変更された場合

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_HDRMode が「しない」以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が 1 (する) かつ Capability\_BracketingVary  
が”フラッシュブラケティング”
- 動画記録中

下記いずれかの場合、本 Capability は、Invalid で Read Only となる。

- Capability\_BracketingVary が”WB ブラケティング”で、かつ  
Capability\_CompressionLevel が”RAW”, “RAW+JPEG”, のいずれかに設定されている場合

本 Capability には下記の通り制限がある。(Module 独自仕様)

- Capability\_LiveViewSelector が「1: 動画モード」のとき、カメラ側のブラケティング  
撮影は ON を示すが実際カメラはブラケティング撮影を行えない。このため、Module は  
本 Capability の値を「Fasle : OFF」にし、Read Only にする。(Module とカメラの値  
および設定禁止状態に差異が生じる。)
- またこの時、他の Capability が設定禁止等の条件に Capability\_EnableBracketing を含  
む場合、Capability\_EnableBracketing の現在値ではなく、カメラ側のブラケティング  
撮影の ON/OFF の状態を参照し、条件の判断を行う。(他の Capability の設定禁止等の  
状態は Module とカメラに差異は生じない。)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.122. AEBracketingStep

AE、フラッシュ、AE・フラッシュブラケティングのステップ幅を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AEBracketingStep
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDAEBracketingStep 0: 1/3EV 1: 1/2EV 2: 2/3EV <u>3: 1EV</u> 7: 2EV 8: 3EV

実際に設定できるブラケティングステップ幅は Capability\_EVInterval の設定に影響される。

EVInterval	AEBracketingStep
1/3EV	1/3EV、2/3EV、1EV、2EV、3EV
1/2 EV	1/2EV、1EV、2EV、3EV

Capability\_EVInterval の値が変更された場合、本 Capability の値は「3: 1EV」に変更される。

以下のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_BracketingVary が WB ブラケティング、ADL ブラケティング
- Capability\_SpotWBMode が 1(ON)
- Capability\_HDRMode が「しない」以外
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- 動画記録中
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が 1(する)でかつ Capability\_BracketingVary がフラッシュブラケティング

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.123. WBBracketingStep

WB ブラケティングのステップ幅を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_WBBracketingStep
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDWBBracketingStep <u>0: 1Step</u> 1: 2Step 2: 3Step

以下のいずれかの場合、Capability は Visibility が Invalid で Read Only となる。

- Capability\_BracketingVary が”WB ブラケティング”以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_HDRMode が「しない」以外
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.124. BracketingType

AE、フラッシュ、AE・フラッシュ、WB ブラケティングの枚数と方向の組み合わせを選択する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_BracketingType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDBracketingType 0: Minus_2 1: Plus_2 2: Minus_3 3: Plus_3 <u>4: Both_3</u> 5: Both_5 6: Both_7 7: Both_9 8: None_0

Capability\_BracketingVary が、AE ブラケティング、AE・フラッシュブラケティング、フラッシュ ブラケティングのいずれかに設定され、且つ Capability\_AEBracketingStep が 2EV または 3EV に設定されている場合、「6: Both\_7」、「7: Both\_9」は列挙されない。

Capability\_EVInterval が変更された時、本 Capability の値は 8(None\_0)となる。

以下のいずれかの場合、Capability は Visibility が Invalid で Read Only となる。

- Capability\_BracketingVary が”ADL ブラケティング”
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_HDRMode が「しない」以外
- 動画記録中
- Capability\_BracketingVary が”フラッシュブラケティング”かつ、  
Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が「1: する」

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.125. ADLBracketingType

ADL ブラケティングの撮影枚数のパターンを選択する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ADLBracketingType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDADLBracketingType
	<u>0 : 2 枚 (しない – ユーザ設定)</u>
	1 : 3 枚 (しない – 弱め – 標準)
	2 : 4 枚 (しない – 弱め – 標準 – 強め)
	3 : 5 枚 (しない – 弱め – 標準 – 強め – より強め)
	5 : 0 枚

※ユーザ設定は、Capability\_ADLBracketingStep の設定値を使用する。

下記のいずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_BracketingVary が ADL ブラケティング以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_HDRMode が「しない」以外
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.126. ADLBracketingStep

ADL ブラケティング 2 枚、3 枚撮影時の ADL 強度を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ADLBracketingStep
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDADLBracketingStep <u>0: Auto</u> 1: 弱め 2: 標準 3: 強め 4: より強め

下記のいずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_BracketingVary が ADL ブラケティング以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_HDRMode が「しない」以外
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.127. LiveViewStatus

カメラのリモートライブビューを開始または停止する。ライブビュー状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLiveViewStatus <u>0: OFF</u> 3: ON(リモートライブビュー) 4: ON(カメラライブビュー) ※Getのみ有効

リモートライブビューを開始する場合、本 Capability の値を 3(ON(リモートライブビュー))に設定し、停止する場合は、0(OFF)に設定し Set で実行する。リモートライブビューの停止を行うと、カメラはカメラライブビューへ移行する。Get の場合、現在のライブビューの状態を返す。

本 Capability の値が 3(ON(リモートライブビュー)) の時、Capability\_GetLiveViewImage でライブビューデータを取得できる。

クライアントは、SourceObject を Close する前に本 Capability の値をチェックし、3 (ON(リモートライブビュー)) であれば、0(OFF) に設定しておくこと。

ライブビューが開始されると、カメラは内部的にカメラロック状態に切り替わるが Capability\_LockCamera の値は、現在の設定のまます。

クライアントは、ライブビューを開始する前に Capability\_LiveViewProhibit の値を Get し、0 以外の値が返る場合、ライブビューを開始することが出来ない。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.128. LiveViewProhibit

カメラのライブビュー突入禁止状態を表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_LiveViewProhibit

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** one of eNkMAIDLiveViewProhibit

下記定義値のOR値でライブビュー禁止状態を表す。

値	禁止条件
0x00020000	温度上昇時ライブビュー突入不可
0x00000100	バッテリ不足中
0x00000004	シーケンスエラー中

本 Capability の値が 0 以外の場合、ライブビュー突入禁止状態であることを表す。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.129. CameraInclination

カメラの姿勢（傾き方向）を取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CameraInclination
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDCameraInclination <u>0: 横位置 or 未確定</u> 1: 縦位置(グリップ側が上) 2: 縦位置(グリップ側が下) 3: 横位置 (上下逆)

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.130. RemainContinuousShooting

コマンドによる連続撮影で、SDRAM またはカードに記録可能なコマ数を取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_RemainContinuousShooting
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	0 – 360 (Default: 360)

下記Capabilityの設定により値が変化する。

- Capability\_CompressionLevel
- Capability\_ImageSize
- Capability\_CompressRAWEx
- Capability\_CompressRAWBitMode
- Capability\_NoiseReduction
- Capability\_NoiseReductionHighISO
- Capability\_ShootingLimit
- Capability\_CCDDataMode
- Capability\_HDRMode
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode
- Capability\_LiveViewSelector

本Capabilityの値が変更された場合、ModuleはCapChangeValueOnlyのイベントをClientに対して発行する。

また、連写モードの場合に連続撮影可能な枚数は、本Capabilityで取得できる枚数とする。

連写モード且つCapability\_HDRModeがしない以外の場合、連続撮影動作でHDR化される画像は1枚目のみであり、且つ撮影可能となるのは1枚のみである。

## Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.131. **RemainCountInMedia**

カード内に記録可能なコマ数を取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_RemainCountInMedia
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	0 — 4294967295 (Default:0)

カードが挿入されていない場合、0が返る。

本 Capability の値は、カメラの設定によって変化する。

合計枚数が 4294967295 枚を超えたとしても、上限値は 4294967295 となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.132. **LockExposure**

AE ロックの状態を取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LockExposure
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	True: Lock <u>False: Unlock</u>

本CapabilityでSetを実行し kNkMAIDResult\_NoError が返った場合、AEロックの切り替え要求を受け付けたことを示しており、AEロックの切り替え完了は保証していない。

切り替えの完了は、本CapabilityからのCapChangeEventOnlyイベントの発行で確認することができる。

本CapabilityをGetすると、その時点のAEロックの状態を取得することができる。

その為、Setした値(要求内容)は本Capabilityでは保持しない。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.133. **LockFocus**

フォーカスロックの状態を取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LockFocus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	True: Lock      False: Unlock

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.134. **LockFV**

FV ロックの状態を取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LockFV
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	True: Lock      False: Unlock

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.135. ExposureStatus

露出インジケータの表示量を得る。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExposureStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Float
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	-10EV～+10EVの1/6段刻み (Default : 0.0EV)

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.136. InfoDisplayErrStatus

情報画面 (Info 画面) のエラー表示状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_InfoDisplayErrStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	True : ON (エラー表示中) False: OFF

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.137. **FocalLength**

現在のレンズの焦点距離を得る。

**Capability** kNkMAIDCapability\_FocalLength

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Float

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** 実数値(単位: mm)

CPU レンズが装着されていない場合 (F--状態)、この Capability は値が 0 となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.138. **FocusMode**

カメラで設定されているフォーカスモードを得る。

**Capability** kNkMAIDCapability\_FocusMode

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** one of eNkMAIDFocusMode

0: MF (マニュアルフォーカス)

1: AF-S (シングルAF)

2: AF-C (コンティニュアスAF)

4: AF-F (フルタイムAF)

レンズ未装着時、この Capability は常に MF となる。

「4: AF-F(フルタイム AF)」は動画でのみ取得される。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.139. BracketingCount

AE ブラケティングまたは ADL ブラケット撮影中、次のレリーズが何枚目であるかを取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_BracketingCount
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	[AE ブラケティング] 1 – 9 [ADL ブラケティング] 1 – 5

Capability\_EnableBracketing が ON で、かつ Capability\_BracketingVary が、AE ブラケティング、フラッシュブラケティング、AE・フラッシュブラケティング、ADL ブラケティングのいずれかに設定されている場合にのみ有効とする。無効な場合、0 を返す。

Capability\_LiveViewSelector が「1: 動画モード」の時は、Capability\_EnableBracketing が OFF になるため、本 Capability の値も 0(無効)となる。ただし、カメラ側のブラケティング撮影は ON の状態になっていることがある。詳細は [EnableBracketing](#) を参照。(Module 独自仕様)

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.140. ExternalFlashStatus

外部スピードライトの状況を得る。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExternalFlashStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	one of eNkMAIDExternalFlashStatus 0: 充電 1: 未充電 2: スピードライト無し

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.141. ExternalFlashComp

外部スピードライトの調光補正量を取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_ExternalFlashComp

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** -3～+3EV (1/6EV刻み) (Default : 0.0EV)

本 Capability は、通信可能な新スピードライトの発光モード (Capability\_ExternalNewTypeFlashMode) が”補正あり 1(TTL)、2(補正なし TTL)、3(AA[絞り連動自動調光])、5(距離優先マニュアル発光)のいずれかになっている場合にのみ有効である。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.142. ExternalFlashSort

外部スピードライトの種別を取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_ExternalFlashSort

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** one of eNkMAIDExternalFlashSort

0: 非通信
2: 新通信（操作設定表示部材あり）
4: 新通信（操作設定表示部材なし）
3: 外部スピードライトなし

※ 「1:旧通信」装着を検知する事が出来ないため、常に「0:非通信」が返る。

外部スピードライト種別と、Nikon 製スピードライト機種の対応は下記の表の通り。

新通信 (操作設定部材あり)	新通信 (操作設定部材なし)	旧通信	非通信	装着を検出しない
SB-500 SB-910 SB-900、 SB-800、 SB-700、 SB-600、SU-800	SB-500 SB-400、 SB-300	SB-80DX、 SB-50DX、 SB-28DX、 SB-28D、 SB-28、 SB-27、 SB-26、 SB-25、 SB-24、	SB-30、 SB-29、 SB-29S、 SB-23、 SB-22、 SB-22S、 SB-21A、 SB-21B、 SB-20、 SB-19、 SB-18、 SB-17、 SB-16A、 SB-16B、 SB-15、 SB-14、 SB-12、 SB-11、 SB-10、 SB-E	SB-9、 SB-8、 SB-7、 SB-6、 SB-5、 SB-4、 SB-3、 SB-2、 SB-1

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.143. ExternalNewTypeFlashMode

Capability\_ExternalFlashSort が「2: 新通信 (操作設定表示部材あり)」、または「4: 新通信 (操作設定表示部材なし)」の場合の、外部スピードライト発光モードを取得する。

Capability	kNkMAIDCapability_ExternalNewTypeFlashMode
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray,
Data	one of eNkMAIDExternalNewTypeFlashMode  <u>0: OFF</u> 1: 補正あり TTL 2: 補正なし TTL 3: AA(絞り連動外部自動調光) 4: A(外部自動調光) 5: GN(距離優先マニュアル発光) 6: M(マニュアル発光) 7: マルチフラッシュ 8: 新通信外部スピードライトなし

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.144. LensInfo

レンズの焦点距離、開放 F 値、レンズタイプを読み出す。

Capability	kNkMAIDCapability_LensInfo
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_String
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get
Data	(例) "35-70/F3.3-4.5D"

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.145. AFCapture

AF 駆動開始後に撮影を行い、画像データを指定された場所に保存する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_AFCapture

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

AF 駆動後に、撮影動作に入る。但し、Capability\_FocusMode が MF の場合、またはレンズ未装着の場合は即座に撮影動作に入る。

AF 駆動後に合焦に失敗した場合、そのまま撮影動作に入るか、OutOfFocus エラーで終了するかは、Capability\_FocusMode 、 Capability\_AFsPriority 、 Capability\_AFcPriority, Capability\_LiveViewSelector の設定により異なる。

Capability\_LiveViewSelector が「1: 動画モード」の場合は、レリーズ優先固定となるため AF 駆動後の状態によらず、必ず撮影動作に移行する。

低速連写、高速連写の場合、連続撮影可能な枚数は Capability\_RemainContinuousShooting、ブラケティング撮影中の残りコマ数、の中で一番少ない枚数となる。但し、Capability\_HDRMode がしない以外の場合、Capability\_ShootingMode が連続撮影設定であっても撮影可能となるのは 1 枚のみであり、HDR 化される画像は 1 枚目のみとなる。

画像データの準備が出来ると、SourceObjct に対し、kNkMAIDEEvent\_AddChild が上がる。

撮影画像の保存先は、Capability\_SaveMedia で指定する。

下記のいずれかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_ShutterSpeed が Time
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

### Result Codes

OutOfFocus	Capability_LiveViewSelector が「0: 静止画モード」かつ AF動作モードがフォーカス優先で、AF動作が非合焦の場合。
NotSupported	• Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
HardwareError	カメラ本体でエラーが発生している場合。
MediaFull	カードに記録できる空き容量がない場合。
NoMedia	• カードの初期化中の場合。 • Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードが存在しない場合。 • バッテリーレベルが動作不可状態の場合。
InvalidMedia	Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カメラでカードアクセスエラーが発生している場合。
UnformattedMedia	Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードがフォーマットされていない場合。

MediaReadOnly	記録予定のカードがプロテクトされている場合。
ApertureFEE	レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない場合。
BatteryDontWork	バッテリの残り容量が少ない場合。
ShutterBulb	バルブ警告中の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.146. ContrastAF

ライブビュー実行時にコントラスト AF の駆動を制御する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ContrastAF
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set one of eNkMAIDContrastAF 0x00 : AF駆動の開始 (Set値としてのみ有効) 0x01 : AF駆動の停止 (Set値としてのみ有効) 0x10 : 合焦でAF動作終了 (Get値としてのみ有効) 0x11 : 非合焦でAF動作終了 (Get値としてのみ有効) 0x12 : 動作中 (Get値としてのみ有効)

0x00(AF 駆動の開始)を指定して Set を実行することにより、コントラスト AF の駆動が開始される。モジュールは AF 動作終了を待たず、AF 駆動が開始された時点でクライアントへ応答を返す。

コントラスト AF が正常に終了したかどうかは、本 Capability の Get で返る値(0x10,0x11,0x12)か、ライブビュー表示情報の「フォーカス駆動状態」を参照することにより確認する。

AF の駆動を途中で停止する場合は、0x01(AF 駆動の停止)を指定して Set を実行する。AF 駆動の停止が終了した段階でモジュールからの応答が返る。

下記の何れかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_FocusMode が MF
- CPU レンズ未装着
- Capability\_LiveViewStatus が OFF
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
OutOfFocus	AF動作モードがフォーカス優先で、AF動作が非合焦の場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.147. MFDriveStep

ライブビュー実行時にフォーカス位置を調整する場合のレンズの駆動量を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MFDriveStep
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	駆動量(パルス数) 1~32767

本 Capability は、設定された駆動量をモジュール内部で保持するのみで、カメラに対しフォーカス位置調整を要求しない。本 Capability の設定値をもとにカメラのフォーカス位置を実際に調整する場合は Capability\_MFDrive を使用する。

下記の何れかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Read Only となる。

- Capability\_FocusMode が MF
- CPU レンズ未装着
- Capability\_LiveViewStatus が OFF

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.148. MFDrive

ライブビュー実行時にフォーカス位置を調整する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_MFDrive

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** one of eNkMAIDMFDrive

0: 無限 -> 至近

1: 至近 -> 無限

(Default: 0: 無限 -> 至近)

本 Capability で設定したフォーカス駆動方向と、Capability\_MFDriveStep で設定したレンズの駆動量とで、カメラに対しフォーカス位置調整を要求する。モジュールは MF 動作終了を待たず、MF 駆動が開始された時点でクライアントへ応答を返す。

本 Capability が正常に受け付けられた場合に MF 駆動が終了したかどうかは、kNkMAIDCapability\_DeviceReady の実行により確認することができる。

Capability\_LiveViewStatus が 3(ON(リモートライブビュー))の時は、ライブビュー表示情報の「フォーカス駆動状態」でも確認することができる。

下記の何れかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Read Only となる。

- Capability\_FocusMode が MF、または AF-F
- CPU レンズ未装着
- Capability\_LiveViewStatus が OFF

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.149. ContrastAFArea

リモートライブビュー実行時にコントラスト AF 用のフォーカスポイントを変更する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_ContrastAFArea  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Point  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data** `typedef struct tagNkMAIDPoint`  
`{`  
    `SLONG x; X軸の座標`  
    `SLONG y; Y軸の座標`  
} NkMAIDPoint, FAR\* LPNkMAIDPoint;

NkMAIDPoint 構造体の X(X 軸の座標)、Y(Y 軸の座標)で指定された座標を中心に AF エリアを設定する。

X、Y の値範囲は Capability\_GetLiveViewImage で取得した、プレビューの表示情報に含まれる「全体サイズ」となる。但し、実際に設定可能な範囲は、「全体サイズ」の縦横サイズから「AF 枠サイズ」縦横サイズの半分をそれぞれ差し引いたエリアとなる。

X,Y に設定可能な範囲を超えた値が設定された場合、最大または最小の値が反映される。

本 Capability は、Capability\_FocusMode が MF、または CPU レンズ未装着の場合でも、常に Set 可能とする。

以下の何れかの場合、本 Capability の Visibility が Invalid で Read Only となる。

- Capability\_LiveViewStatus が 3(ON(リモートライブビュー))以外の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
NotLiveView	リモートライブビュー状態に突入していない場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.150. CaptureDustImage

ゴミ参照画像の撮影を行い、画像データを指定された場所に保存する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_CaptureDustImage

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

ゴミ参照画像のフォーマットタイプは kNkMAIDFileType\_NDF とする。

Capability\_DeleteDramImage で削除を実行する場合、Capability\_CurrentItemID で指定する ID は、ItemObject の kNkMAIDEvent\_AddChild イベントの data パラメータで通知される ItemID を使用する。

撮影画像の保存先は、Capability\_SaveMedia で指定する。

下記の何れかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- レンズ未装着の場合
- Capability\_ShutterSpeed が Time
- Capability\_LiveViewSelector が「1: 動画ライブビュー」
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

CaptureDustFailure	ゴミ参照画像レリーズ失敗の場合。
NotSupported	Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
HardwareError	カメラ本体でエラーが発生している場合。
MediaFull	カードに記録できる空き容量がない場合。
NoMedia	<ul style="list-style-type: none"><li>カードの初期化中の場合。</li><li>Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードが存在しない場合。</li><li>バッテリーレベルが動作不可状態の場合。</li></ul>
InvalidMedia	Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カメラでカードアクセスエラーが発生している場合。
UnformattedMedia	Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードがフォーマットされていない場合。
MediaReadOnly	記録予定のカードがプロテクトされている場合。
ApertureFEE	レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない場合。
BatteryDontWork	バッテリの残り容量が少ない場合。
ShutterBulb	バルブ警告中の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.151. DeleteDramImage

指定したプレビューIDとリンクする画像データを削除する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_DeleteDramImage

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

削除対象となる画像データの指定は、Capability\_CurrentItemID で行う。

削除実行タイミングは、以下の 2 つの場合に限定される。

ImageObject に対する kNkMAIDCapability\_Acquire を発行した後で、

kNkMAIDCommand\_Close を発行する前

ImageObject の Capability\_Acquire を発行し、kNkMAIDCommand\_Abort で非同期読み込みを中断させた後、Capability\_CurrentItemID の Set、本 Capability の実行で削除完了となる。

RAW+JPEG の画像データ削除の場合、先にイベント通知を受け取った JPEG について削除を実行すると RAW と JPEG の両方の画像が同時に削除される。

また、kNkMAIDEvent\_AddChild イベントを受信後に削除を実行した場合の ImageObject、ItemObject の各 Close 処理は、クライアント側で行う必要がある。モジュールは自ら Close 処理は行わない。

カード保存の撮影画像について、本 Capability はサポートされない。

下記の条件のいずれかに当てはまる場合、本 Capability による SDRAM 画像の削除は禁止となる。

- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.152. RawJpegImageStatus

RAW+JPEG 同時記録で撮影された画像かどうかを取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_RawJpegImageStatus
<b>Object types</b>	Image
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	one of eNkMAIDRawJpegImageStatus 0: 単独撮影 1: Raw+JPEG同時撮影

#### Result Codes

NoMedia	・カードの初期化中の場合。 ・カードが存在しない場合。 ・バッテリーレベルが動作不可状態の場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.153. CurrentItemID

現在操作対象とするカメラ SDRAM 内の画像データを指定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CurrentItemID
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set

SDRAM 内の画像データを指定する識別子として、ItemID を使用する。

ItemID は、kNkMAIDEvent\_AddChild イベントの data パラメータで通知される。

本 Capability で設定した ItemID は、Capability\_DeleteDramImage で参照する。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.154. GetLiveViewImage

ライブビューデータを取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_GetLiveViewImage

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Array

kNkMAIDArrayType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray

Get でライブビューデータのサイズ情報を取得し、GetArray で実際のライブビューデータを取得する。Module 独自仕様でライブビューデータのサイズ情報は常に最大サイズで固定なので、本 Capability においては、GetArray 実行の前に毎回 Get でサイズ情報を確認する必要はない。

本 Module で取得できるライブビュー画像の画質は Capability\_LiveViewImageCompression で設定されている画質となる。

GetArray でライブビューデータを取得する場合、クライアントは最大サイズ分のバッファをアロケートして kNkMAIDArray.pData にセットし、kNkMAIDArray.ulElements にアロケートサイズを設定する。読み込み終了後、kNkMAIDArray.pData にライブビューデータが設定されている。

下記のいずれかの場合、本 Capability の Operations は kNkMAIDCapOperation\_Get のみとなる。

- Capability\_LiveViewStatus が 3(ON(リモートライブビュー)以外
- Capability\_LiveViewImageStatus が「0: ライブビュー画像取得不可」

ライブビューデータは、表示情報とライブビュー画像 (JPEG) で形成される。ピクセルサイズはライブビューデータ毎に異なり、個々の詳細情報は表示情報領域に設定される。

ライブビューデータのフォーマットは、[ライブビューデータのフォーマット](#)を参照。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.154.1. ライブビューデータのフォーマット

	Field	Size	Description
表示情報	バージョン	2Byte	メジャー・バージョン(0x01)
		2Byte	マイナーバージョン(0x00)
	Reserved	4Byte	
	表示情報 領域のサイズ	4Byte	
	ライブビュー画像 領域のサイズ	4Byte	
	全体サイズ	水平サイズ	2Byte
		垂直サイズ	2Byte
	表示エリアサイズ	水平サイズ	2Byte
		垂直サイズ	2Byte
	表示中心座標	水平サイズ	2Byte
		垂直サイズ	2Byte
ライブビュー画像	水平サイズ	2Byte	LiveViewImageSize で設定されているサイズが画像 サイズとなる。
	垂直サイズ	2Byte	

	ライブビュー画像 画質	1Byte	LiveViewImageCompression で設定されている画質となる。 0:BASIC(サイズ優先) 1:BASIC(画質優先) 2:NORMAL(サイズ優先) 3:NORMAL(画質優先) 4:FINE(サイズ優先) 5:FINE(画質優先)
	Reserved	7Byte	
	AF 駆動可能状態	1Byte	0:AF 駆動否、1:AF 駆動可
	フォーカス駆動状態	1Byte	0:未駆動、1:駆動中
	合焦判定結果	1Byte	0:情報なし、1:非合焦、2:合焦
	AF モード状態	1Byte	0:その他 1: [Z 7] 顔認識 AF [Z 7_FU1, Z 7_FU2] 顔認識 AF/瞳 AF [Z 7_FU3] 顔認識 AF/瞳 AF/動物認識 AF 2:オートエリア AF
	AF エリア数	1Byte	0~42(顔認識の場合は人数)
	選択顔インデックス	1Byte	0~34
	追尾状態	1Byte	0:待機中 1:選択中 2:追尾中
	Reserved	1Byte	
0 ~ 4 1	AF 枠サイズ	水平サイズ	2Byte
		垂直サイズ	2Byte
	AF 枠中心 座標	水平位置	2Byte
		垂直位置	2Byte
	動画記録残り時間	4Byte	0~1200000[msec] ※動画記録状態の時に有効とする
	音声インジケータ (ピーク値)	L	1Byte
		R	1Byte
	音声インジケータ (現在値)	L	1Byte
		R	1Byte
	動画記録情報	1Byte	0:LV 実行中 1:動画記録中
	外部記録機器の同期記録状態	1Byte	Z 7 では Reserved (0 固定)
	Reserved	1Byte	
	タイムコード状態	1Byte	0:無効、1:有効
	タイムコードカウント	1Byte	時
		1Byte	分
		1Byte	秒
		1Byte	フレーム
	カウントダウン時間	2Byte	3600 (1 時間) から 1 秒毎にカウントダウン (温度上昇で 30 秒からカウントダウン)
	スポット WB 状態	1Byte	0:OFF 1:待機中(未取得) 2:取得動作中 3:待機中(取得成功) 4:待機中(取得失敗)
	回転方向	1Byte	0:無回転、1:反時計方向に回転、2:時計方向に回転 3:上下逆さま
	水準器角度状態	ローリング	4Byte
		ピッキング	4Byte
		ヨーイング	4Byte
	静止画 LV 用ホワイトバランスの使用	1Byte	Z 7 では Reserved(0 固定)
	Reserved	95Byte	
ライブビュー画像	画像データ		

LiveViewObject(バージョンあり)のデータ仕様を以下に示す。

No	内容
1	表示情報のサイズは、512Byte。

AF 枠サイズ、AF 枠中心座標の値について以下に示す。

No	内容
1	「AF エリア数」分のみ AF 枠サイズ、AF 枠中心座標が有効となる。

水準器角度状態で使用する値の詳細は、以下の Capability を参照する。

No	内容
1	AngleLevel
2	AngleLevelPitch
3	AngleLevelYaw

[Z 7]

AF モード状態が「1：顔認識 AF」の場合について以下に示す。

No	内容
1	AF エリア数(顔認識人数)が 0 人であっても AF モード状態に「1:顔認識 AF」が設定される。
2	カメラが合焦した時点から合焦判定結果に「0:情報なし」以外の値が 1 秒間設定される。

[Z 7\_FU1、Z 7\_FU2]

AF モード状態が「1：顔認識 AF/瞳 AF」の場合について以下に示す。

No	内容
1	AF エリア数(顔認識人数)が 0 人であっても AF モード状態に「1:顔認識 AF/瞳 AF」が設定される。
2	カメラが合焦した時点から合焦判定結果に「0:情報なし」以外の値が 1 秒間設定される。

[Z 7\_FU3]

AF モード状態が「1：顔認識 AF/瞳 AF/動物認識 AF」の場合について以下に示す。

No	内容
1	AF エリア数(顔認識人数)が 0 人であっても AF モード状態に「1:顔認識 AF/瞳 AF/動物認識 AF」が設定される。
2	カメラが合焦した時点から合焦判定結果に「0:情報なし」以外の値が 1 秒間設定される。

### 3.155. GetVideoImageEx

動画データを取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_GetVideoImageEx  
**Object types** Video  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray  
**Data** pointer to NkMAIDGetVideoImageEx structure  

```
typedef struct tagNkMAIDGetVideoImageEx
{
    NK_UINT_64 ullOffset;---- 転送前のファイルデータ Offset
    NK_UINT_64 ullReadSize;---- 取得したデータのサイズ
    NK_UINT_64 ullDataSize;---- “pData”に設定したバッファのサイズ
    LPVOID pData;-----バッファへのポインタ
} NkMAIDGetVideoImageEx, FAR* LPNkMAIDGetVideoImageEx;
```

Get で動画データのサイズ情報(未取得分)を取得し、GetArray で実際の動画データを取得する。

#### [Get の場合]

NkMAIDGetVideoImageEx.ullDataSize に未取得分のデータサイズが設定される。

#### [GetArray の場合]

クライアントは取得したいサイズ分のバッファをアロケートして NkMAIDGetVideoImageEx.pData にセットし、NkMAIDGetVideoImageEx.ullDataSize にアロケートサイズを設定する。読み込み終了後、NkMAIDGetVideoImageEx.pData に動画データが、NkMAIDGetVideoImageEx.ulReadSize に実際に読み込んだデータのサイズが、NkMAIDGetVideoImageEx.ullOffset にデータ転送する前のファイルデータ Offset が設定されている。(NkMAIDGetVideoImageEx.ullOffset 位置からの NkMAIDGetVideoImageEx.ulReadSize サイズ分の動画データが、NkMAIDGetVideoImageEx.pData に設定されている)

NkMAIDGetVideoImageEx.ullDataSize に未取得分のデータサイズ以上の値が設定された場合でも、Module は未取得分のデータしか読み込まない。

データの取得を途中でやめる場合には、NkMAIDGetVideoImageEx.ullDataSize に「0」を設定する。

動画ファイルのデータ分割取得を開始した場合、動画ファイルの全データの取得が完了しない状態で下記の操作を実行すると、カメラ内の動画ファイル分割取得情報がリセットされ、NkMAIDGetVideoImageEx.ullOffset に 0 が設定される。

- ・カードの挿抜
- ・kNkMAIDCapability\_MovRecInCardStatus に対する kNkMAIDCapOperation\_Set
- ・以下の Capability に対する kNkMAIDCapOperation\_Start
  - ・kNkMAIDCapability\_ResetMenuBank
  - ・kNkMAIDCapability\_ResetCustomSetting
  - ・kNkMAIDCapability\_ResetFileName
  - ・kNkMAIDCapability\_MovieResetMenuBank
- ・SaveMedia にカードを含む設定での撮影実行
- ・上記以外の Capability に対する kNkMAIDCapOperation\_Set
- ・kNkMAIDCapability\_GetVideoImageEx の発行間隔が 60 秒以上

リセットが発生した場合、データの取得を途中でやめるか、先頭からの再取得が必要となる。

### Result Codes

NoMedia	<ul style="list-style-type: none"><li>・カードの初期化中の場合。</li><li>・カードが存在しない場合。</li><li>・バッテリーレベルが動作不可状態の場合。</li></ul>
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>・動画記録中の場合。</li><li>・動画再生中の場合。</li><li>・Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li></ul>
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.156. LockCamera

カメラを直接操作することを抑制する。カメラがロックされると、ホストコンピュータを経由してのみ

操作が行える。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LockCamera
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	True: ロックする(リモートモード) <u>False: ロック解除する(PCカメラモード)</u>

下記の何れかの場合、本 Capability は ReadOnly とする。

- 動画記録中

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。 以下の動作によりモードの変更ができない場合。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ レリーズ動作</li><li>・ AF動作</li><li>・ イメージセンサークリーニング動作</li></ul>
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.157. CameraType

カメラタイプを取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CameraType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	one of eNkMAIDCameraType 0x48: Z 7 0x4D: Z 7_FU1(Z 7ファームアップ 1) 0x51: Z 7_FU2(Z 7ファームアップ 2) 0x54: Z 7_FU3(Z 7ファームアップ 3)

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.158. **LensType**

CPU 内蔵レンズのレンズタイプを取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LensType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLensType 0x00000001 : Dタイプレンズ 0x00000010 : Gタイプレンズ 0x00000100 : VRレンズ 0x00001000 : DXレンズ 0x00010000 : AF-Sレンズ 0x00100000 : 自動ゆがみ補正対応レンズ 0x01000000 : 沈胴式レンズ 0x00000020 : Eタイプレンズ 0x00000040 : STMレンズ 0x00000080 : 常時ゆがみ補正ONレンズ

上記定義値の OR 値でレンズタイプを返す。CPU 内蔵レンズ未装着の場合、0 が返る。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.159. **MovRecInCardStatus**

カードへの動画記録、外部記録機器による録画を開始または停止する。また、記録の状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovRecInCardStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovRecInCardStatus <u>0: OFF</u> 1: ON

カードへの動画記録、外部記録機器による録画を開始する場合、本 Capability の値を 1(ON)に設定し、停止する場合は、0(OFF)に設定し Set で実行する。ただし、現在値が 0(OFF)に切り替わるのは、カメラが動画記録を完了ときとなり、Module は CapChangeValueOnly を通知する。

動画の記録が正常に開始された際、Result には記録対象が返る。(Result Codes を参照。)

動画記録の停止は、記録対象となるカード、外部記録機器のいずれの記録も終了する。

Get の場合、現在のカードへの動画記録の状態を返す。

カメラから動画記録が開始された場合は kNkMAIDEvent\_StartMovieRecord が通知され、本 Capability の値は 1(ON)に切り替わる。

動画記録中は、Capability\_GetLiveViewImage で取得した LiveView データでも記録対象を確認することができる。

クライアントは、動画ライブビューを実行後、動画記録の開始前に Capability\_MovRecInCardProhibit の値を Get し、0以外の値が返る場合、動画記録を開始することが出来ない。

動画記録中に Capability\_LiveViewStatus を 0(OFF)にしてリモートライブビューを停止した場合もカメラライブビューに切り替わり動画記録は継続される。

動画記録中、静止画の撮影が可能である。

以下の何れかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_LiveViewStatus が OFF
- Capability\_LiveViewSelector が「0: 静止画ライブビュー」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

- 動画の記録開始が正常に行われた場合

RecInCard	カード録画
RecInExternalDevice	外部記録機器による録画
RecInCardAndExternalDevice	カード録画、外部記録機器両方による録画

- 動画の記録開始に失敗した場合

NotLiveView	ライブビュー状態に突入していない場合。
-------------	---------------------

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.160. MovRecInCardProhibit

動画記録禁止状態を表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovRecInCardProhibit

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** one of eNkMAIDMovRecInCardProhibit

下記定義値のOR値で動画記録禁止状態を表す。

0以外が返る場合、動画記録開始できない状況を表す。

値	禁止条件
0x00010000	Capability_LiveViewStatusが「3: ON(リモートライブビュー)」かつ外部記録機器による同期記録待機中かつカードなし
0x00008000	Capability_MovieLogOutputが「1: 出力中である」かつCapability_ExternalRecordingControlが「0: しない」 または、Capability_LiveViewStatusが「3: ON(リモートライブビュー)」
0x00002000	静止画ライブビュー中
0x00001000	ライブビュー拡大表示中
0x00000400	動画記録中
0x00000200	バッファ内に未記録データあり
0x00000008	カード空き容量無し
0x00000004	カード未フォーマット
0x00000002	カードアクセスエラー
0x00000001	カード無し(※外部記録機器による同期記録待機中の場合、カードが無くても0:無効となる)

本 Capability は、ライブビューの実行中にのみ有効となる。

ライブビューが開始されていない場合、この Capability は Visibility が Invalid となり、Get で得られる値は意味を持たない。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.161. AngleLevel

カメラの水準器角度情報を表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_AngleLevel

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_float

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** 正常時 :  $0.0^\circ \sim 359.9999847412109375^\circ$

角度が計測不能な場合 : -1

カメラが水平な状態で  $0.0^\circ$  となり、撮影者から見て反時計周りに回すと角度が増加する。

角度の範囲は  $0.0^\circ$  から  $359.9999847412109375^\circ$  で、 $359.9999847412109375^\circ$  の状態から反時計回りに回すと  $0.0^\circ$  以上となる。 $0.0^\circ$  の状態から時計回りに回すと  $359.9999847412109375^\circ$  以下となる。カメラの角度情報に変化があってもイベントは発行しない。

角度情報を取得できない場合、角度に信頼性が無い場合は -1 が返る。

水平／垂直の判定方法は、実数値に  $+0.5^\circ$  して、小数部を切捨てた数値が 0 又は 90 の倍数の場合とする。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.162. AngleLevelPitch

カメラの水準器角度情報のピッチングを表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_AngleLevelPitch

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_float

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** 正常時 :  $0.0^\circ$  、または  $180.0^\circ$  から  $\pm 60^\circ$

角度が計測不能な場合 : -1

カメラが水平な状態で  $0.0^\circ$  、または  $180.0^\circ$  となり、角度の範囲は  $0.0^\circ$  、または  $180.0^\circ$  から  $\pm 60^\circ$  となる。

カメラの位置	レンズの向き	角度の範囲	水平
横	上へ	$0.0 \sim 60.0$	0
	下へ	$0.0, 359.9999847412109375 \sim 300.0$	
横で逆さま	上へ	$180.0 \sim 120.0$	180
	下へ	$180.0 \sim 240.0$	

カメラの角度情報に変化があってもイベントは発行しない。

角度情報取得できない場合、角度に信頼性が無い場合は -1 が返る。

水平の判定方法は実数値に  $+0.5^\circ$  して、小数部を切捨てた数値が 0 又は 180 の場合とする。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.163. AngleLevelYaw

カメラの水準器角度情報のヨーイングを表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_AngleLevelYaw

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_float

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** 正常時 :  $0.0^\circ$  、または  $180.0^\circ$  から  $\pm 60^\circ$

角度が計測不能な場合 : -1

カメラが水平な状態で  $0.0^\circ$  、または  $180.0^\circ$  となり、角度の範囲は  $0.0^\circ$  、または  $180.0^\circ$  から  $\pm 60^\circ$  となる。

カメラの位置	レンズの向き	角度の範囲	水平
縦でグリップ は上	上へ	$0.0 \sim 60.0$	0
	下へ	$0.0, 359.9999847412109375 \sim 300.0$	
縦でグリップ は下	上へ	$180.0 \sim 120.0$	180
	下へ	$180.0 \sim 240.0$	

カメラの角度情報に変化があってもイベントは発行しない。

角度情報取得できない場合、角度に信頼性が無い場合は -1 が返る。

水平の判定方法は実数値に  $+0.5^\circ$  して、小数部を切捨てた数値が 0 又は 180 の場合とする。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.164. **SaveMedia**

カメラ本体からのボディレリーズによる撮影、または Capability\_Capture, Capability\_AFCapture, Capability\_CaptureDustImage, Capability\_CaptureAsync, Capability\_AFCaptureAsync 実行による撮影の画像の記録先を指定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_SaveMedia
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDSaveMedia <u>0 : カード</u> 1 : SDRAM 2 : カード&SDRAM

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ 動画記録中
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

Capability\_Capture, Capability\_AFCapture, Capability\_CaptureDustImage, Capability\_CaptureAsync, Capability\_AFCaptureAsync の実行開始から、SDRAM についての kNkMAIDEvent\_CaptureComplete を受信するまでの間、本 Capability の設定変更は禁止とする。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.165. TerminateCapture

ホストから実行された撮影動作を停止させる。

**Capability** kNkMAIDCapability\_TerminateCapture  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start  
**Data** pointer to NkMAIDTerminateCapture structure  
typedef struct tagNkMAIDTerminateCapture  
{  
    ULONG ulParameter1;-----0を指定する。  
    ULONG ulParameter2;-----0を指定する。  
} NkMAIDTerminateCapture, FAR\* LPNkMAIDTerminateCapture;

カメラは、ホストから実行された以下の撮影動作を停止する。

撮影動作	停止後動作
Bulb 撮影	停止時点までの画像をカード、または SDRAM へ記録する。
連写	連写撮影中に本コマンドを発行すると撮影動作を停止する。

下記の場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- 撮影モードが Manual かつ Capability\_ShutterSpeed がバルブ以外 (Module 独自仕様)
- Capability\_ShootingMode が「1: 低速連続撮影」「2: 高速連続撮影」「11: 高速連続撮影(拡張)」以外 (Module 独自仕様)
- 動画記録中

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.166. BlinkingStatus

シャッタースピードと絞り値のカメラの表示状態を表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_BlinkingStatus

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** one of eNkMAIDBlinkStatus

0: シャッタースピード/絞り値とともに通常表示

1: シャッタースピードのみ点滅表示

2: 絞り値のみ点滅表示

3: シャッタースピード/絞り値とともに点滅表示

バルブ、タイム警告中の場合、本 Capability の値は 1(シャッタースピードのみ点滅)となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.167. LiveViewSelector

ライブビューの静止画モード/動画モードの状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewSelector
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLIVEViewSelector 0: <u>静止画モード</u> 1: 動画モード

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_LockCamera が「False : ロック解除する(PC カメラモード)」の場合
- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.168. ResetWBMode

Capability\_WBMode、各ホワイトバランスの補正量をリセットする。

**Capability** kNkMAIDCapability\_ResetWBMode

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

下記いずれかの場合、本 Capability は実行不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.169. MovieShutterSpeed

動画ライブビューで使用するシャッタースピードを設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieShutterSpeed
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	シャッター秒時を示す文字列（例）”1/30”, “1/40”, “1/50” (Default: 設定範囲の最小値)

撮影される動画ファイルの各フレームの露光時間に使用される。動画ライブビュー実行時のライブビュー画像、撮影された動画ファイルの画像に使用される。ライブビュー中の静止画撮影実行時のシャッタースピードとしては、Capability\_ShutterSpeed が使用される。

Capability\_EVInterval、Capability\_ExternalFlashStatus、Capability\_ExternalFlashSort、Capability\_MovieScreenSize の値によって設定可能な値範囲が更新される。

また、低速で使用可能なシャッタースピードの限界は、動画のフレームレートの設定により以下の通り変化する。

動画フレームレート	シャッタースピード限界値
120fps	1/125
100fps	1/100
60fps	1/60
50fps	1/50
30fps	1/30
25fps	1/25
24fps	1/25

下記の何れかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_LiveViewStatus が OFF
- Capability\_LiveViewSelector が「0: 静止画ライブビュー」
- 撮影モードが M 以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が「True: 沈胴警告中」の場合

下記の場合、本 Capability は Read Only、Visibility は Invalid となる。

- シーケンスエラー発生時
- 最小絞り警告中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.170. MovieAperture

動画ライブビューで使用する絞り値を設定する。

Capability	kNkMAIDCapability_MovieAperture
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	F値を示す文字列（例）"1.4", "1.6", "1.8", "2"… (Default: 設定範囲の最小値)

撮影される動画ファイルの各フレームの露光時間に使用される。動画ライブビュー実行時のライブビュー画像、撮影された動画ファイルに使用される。ライブビュー中の静止画撮影実行時の絞り値としては、Capability\_Aperture が使用される。

絞り値が整数であるとき、文字列に小数点は含まれない。

CPU レンズ未装着の場合、Capability\_F0Manual において設定した値を返す。「設定なし」にした場合は、"--"を返す。

動画ライブビューを実行していない場合、この Capability は Visibility が Invalid となる。

下記の何れかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- レンズが最小絞りに設定されていない (FEE 状態、絞り値エラー状態)
- 撮影モードが A, M 以外
- レンズ未装着
- シーケンスエラー発生時
- Capability\_LiveViewStatus が OFF
- Capability\_LiveViewSelector が「0: 静止画ライブビュー」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が「True : 沈胴警告中」の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.171. MovieSensitivity

動画撮影メニューの「動画 ISO 感度設定・M モード時の ISO 感度」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieSensitivity
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	Capability_EVInterval の設定により、選択可能な値が異なる。

Capability_EVInterval	
1/3 step	1/2 step
64, 80, <u>100</u> , 125, 160, 200, 250, 320, 400, 500, 640, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3200, 4000, 5000, 6400, 8000, 10000, 12800, 16000, 20000, 25600, Hi-0.3, Hi-0.7, Hi-1.0, Hi-2.0	64, 72, <u>100</u> , 140, 200, 280, 400, 560, 800, 1100, 1600, 2200, 3200, 4500, 6400, 9000, 12800, 18000, 25600 Hi-0.5, Hi-1.0, Hi-2.0

下記いずれかの場合、本 Capability の下限値及び上限値に制限がかかる。

制限がかかった場合の選択可能な値は 800 から 25600 までとなる。

選択可能な値が変更された場合は、モジュールは kNkMAIDEvent\_CapChange を発行する。

- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」

下記の何れかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- 動画記録中かつ 撮影モード が M 以外の場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.172. MovieExposureComp

動画ライブビューで使用する露出補正量を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieExposureComp
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-3～+3EV (Default value: 0)

Module は、Capability\_EVInterval の設定値を参照し、その値と同一の刻み幅に設定する。

下記の何れかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_LiveViewStatus が OFF
- Capability\_LiveViewSelector が「0: 静止画ライブビュー」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが「オートモード」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.173. MovieRecFrameCount

動画記録中の静止画撮影で記録可能なコマ数を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieRecFrameCount
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	0 – 50 (Default: 50)

### 3.174. RetractableLensWarningStatus

レンズ沈胴警告の状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_RetractableLensWarningStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	True: 沈胴警告中 <u>False: 沈胴警告中ではない</u>

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.175. MovieWindNoiseReduction

動画撮影メニューの「動画の設定 — 風切り音低減」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWindNoiseReduction
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWindNoiseReduction <u>0: OFF</u> 1: ON

以下の何れかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- 動画記録中かつ Capability\_MovieRecMicrophone が「録音しない:4」の場合
- 外部マイクを接続している場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.176. MovieRecordingZone

動画撮影メニューの「動画の設定 — 録音帯域」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieRecordingZone
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieRecordingZone <u>0: 広帯域</u> 1: 音声帯域

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieRecMicrophone が「4: 録音しない」
- Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.177. MovieISOControl

動画撮影メニューの「動画 ISO 感度設定 - M モード時の感度自動制御」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieISOControl
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Boolean
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	<u>True</u> : する    False: しない

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ 撮影モード が M 以外の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.178. MovieISOAutoHiLimit

動画撮影メニューの「動画 ISO 感度設定 - M モード時の制御上限感度」を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieISOAutoHiLimit
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDMovieISOAutoHiLimit3

eNkMAIDMovieISOAutoHiLimit3	制御上限感度	EVInterval	
		1/3	1/2
0	200	○	○
1	250	○	×
2	280	×	○
3	320	○	×
4	400	○	○
5	500	○	×
6	560	×	○
7	640	○	×
8	800	○	○
9	1000	○	×
10	1100	×	○
11	1250	○	×
12	1600	○	○
13	2000	○	×
14	2200	×	○
15	2500	○	×
16	3200	○	○
17	4000	○	×
18	4500	×	○
19	5000	○	×
20	6400	○	○
21	8000	○	×
22	9000	×	○
23	10000	○	×
24	12800	○	○
30	16000	○	×
31	18000	×	○
32	20000	○	×
33	25600	○	○
25	Hi-0.3	○	×
26	Hi-0.5	×	○
27	Hi-0.7	○	×
28	Hi-1.0	○	○
29	Hi-2.0	○	○

Capability\_EVInterval の設定により設定可能な値が変化する。

下記のいずれかの場合、動画 ISO 感度の下限値及び上限値に制限がかかる。

制限がかかった場合の選択可能な値は 1600 から 25600 までとなる。

選択可能な値が変更された場合は、モジュールは kNkMAIDEvent\_CapChange を発行する。

- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」

下記のいずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>• Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>• EVIntervalの設定により設定不可能な値を設定した場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.179. MoviePictureControlDataEx2

指定された動画ピクチャコントロールデータを取得、設定する。(動画撮影メニュー)

`ulPicCtrlItem` に指定するピクチャコントロール項目は、`Capability_MoviePictureControl` で列挙される値範囲(「100: 静止画の設定と同じ」を除く)とする。

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- ## ・ 動画記録中

使用方法等及びピクチャコントロールデータのフォーマットについては  
[Capability PictureControlDataEx2](#)を参照。

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>ulPicCtrlItem がカスタムピクチャーコントロールで、bModifiedFlagが true のときに ulPicCtrlItem とピクチャコントロールデータの BasePictureControl が一致していない場合。</li><li>ピクチャコントロールデータに使用不可な値が設定されていた場合。</li><li>無効なピクチャコントロールデータが指定された場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.180. **GetMoviePicCtrlInfo**

サポートせず。

### 3.181. DeleteMovieCustomPictureControl

指定された動画撮影メニューのカスタムピクチャコントロール項目を削除する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_DeleteMovieCustomPictureControl

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** カスタムピクチャコントロール項目

Capability\_MoviePictureControl で列挙された、カスタムピクチャコントロール領域 1~9 のいずれかを指定し、Set を実行することで指定したカスタムピクチャコントロールを削除する。

動画記録中の場合、本 Capability は Set 不可となる。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.182. MovieResetMenuBank

動画撮影メニューをリセットする。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieResetMenuBank

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

下記のいずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は開始不可となる。

- 動画記録中

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。 動画フレーム保存中の場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.183. MovieCCDDataMode

動画撮影メニューの「撮像範囲・撮像範囲設定」を表す。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieCCDDataMode

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set,  
kNkMAIDCapOperation\_GetDefault

**Data** one of eNkMAIDMovieCCDDataMode  
0:FXフォーマット  
1:DXフォーマット

以下の何れかの場合、本CapabilityはSet不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」「18: 1920×1080 120p」「19: 1920×1080 100p」の場合
- カメラ本体に DX レンズが装着されている

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.184. MovieWBPresetData

ホワイトバランスプリセットデータをカメラへ設定する。(動画撮影メニュー)

```
Capability      kNkMAIDCapability_MovieWBPresetData
Object types    Source
ulType          kNkMAIDCapType_Generic
ulOperations    kNkMAIDCapOperation_Set
Data            pointer to NkMAIDWBPresetData structure
                typedef struct tagNkMAIDWBPresetData
                {
                    ULONG  ulPresetNumber;-----プリセット番号
                    ULONG  ulPresetGain;-----ゲイン値
                    ULONG  ulThumbnailSize;-----“pThumbnailData”に設定したサムネイルの
                                         サイズ
                    ULONG  ulThumbnailRotate;---使用しない
                    void*  pThumbnailData;-----サムネイルデータへのポインタ
                } NkMAIDWBPresetData, FAR* LPNkMAIDWBPresetData;
```

本 Capability の使用方法については [Capability\\_WBPresetData](#) と同様となる。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ 動画記録中の場合
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。</li><li>・ 指定インデックスのプリセットがプロテクトされている場合</li></ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.185. MovieWBMode

ホワイトバランスの設定を行う。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	Auto, Incandescent, Fluorescent, Sunny, Shade, Cloudy, Preset1, Preset2, Preset3, Preset4, Preset5, Preset6, Color Temperature, Natural, <u>Same as photo settings</u>

動画記録中の場合は、Same as photo settings を列挙に含めない。ただし現在値に設定されている場合は列挙に含める。

下記の条件の何れかに合致する場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- 動画記録中かつ現在値が Same as photo settings の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

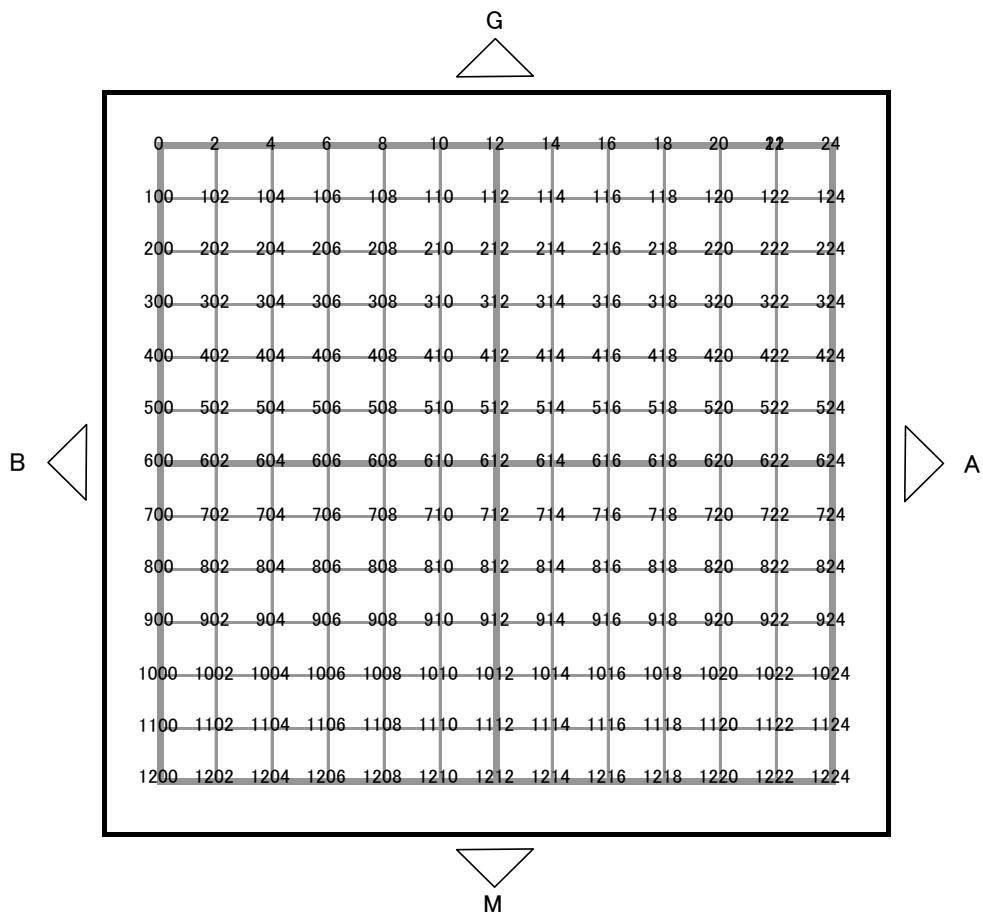
### 3.186. MovieWB TuneAuto

ホワイトバランス設定が Auto の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB TuneAuto  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Range  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標との関係は下記の図の通り。

A-B 方向 : 0.5 ステップ刻み、G-M 方向 : 0.25 ステップ刻みとなる。



下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.187. MovieWBAutoType

ホワイトバランス設定が Auto の場合の種別を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBAutoType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBAutoType 1: 電球色を残す 2: 白を優先する <u>3: 霧囲気を残す</u>

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.188. MovieWB Tune Incandescent

ホワイトバランス設定が Incandescent の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB Tune Incandescent
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB Tune Auto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.189. MovieWBFluorescentType

ホワイトバランス設定が Fluorescent の場合の蛍光灯種別を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBFluorescentType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBFluorescentType 0: ナトリウム灯混合光 1: 電球色蛍光灯 2: 溫白色蛍光灯 3: <u>白色蛍光灯</u> 4: 昼白色蛍光灯 5: 昼光色蛍光灯 6: 高色温度の水銀灯

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.190. MovieWB Tune Fluorescent

ホワイトバランス設定が Fluorescent の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieWB Tune Fluorescent
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Range
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB Tune Auto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.191. MovieWB TuneSunny

ホワイトバランス設定が Sunny の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB TuneSunny
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.192. MovieWB TuneShade

ホワイトバランス設定が Shade の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB TuneShade
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.193. MovieWB TuneCloudy

ホワイトバランス設定が Cloudy の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB TuneCloudy
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.194. MovieWB TuneColorTempEx

ホワイトバランス設定が Color Temperature の場合の色温度を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB TuneColorTempEx
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	2500 to 10000 step=10 (Default: 5000)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.195. MovieWB Tune Color Adjust

ホワイトバランス設定が Color Temperature の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB Tune Color Adjust

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 48 step=1 (Default: 24)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB Tune Auto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.196. MovieWB Tune Natural

ホワイトバランス設定が Natural の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB Tune Natural

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB Tune Auto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.197. MovieWB TunePreset1

ホワイトバランス設定が Preset1 の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB TunePreset1  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Range  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- Capability\_MovieWbTunePresetProtect1 が「する」に設定されている。
- Capability\_MovieWBMode が Preset1 以外に設定されている場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.198. MovieWB TunePreset2

ホワイトバランス設定が Preset2 の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB TunePreset2

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- Capability\_MovieWbTunePresetProtect2 が「する」に設定されている。
- Capability\_MovieWBMode が Preset2 以外に設定されている場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.199. MovieWB TunePreset3

ホワイトバランス設定が Preset3 の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB TunePreset3
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- Capability\_MovieWbTunePresetProtect3 が「する」に設定されている。
- Capability\_MovieWBMode が Preset3 以外に設定されている場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.200. MovieWB TunePreset4

ホワイトバランス設定が Preset4 の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB TunePreset4

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- Capability\_MovieWbTunePresetProtect4 が「する」に設定されている。
- Capability\_MovieWBMode が Preset4 以外に設定されている場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.201. MovieWB TunePreset5

ホワイトバランス設定が Preset5 の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWB TunePreset5
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- Capability\_MovieWbTunePresetProtect5 が「する」に設定されている。
- Capability\_MovieWBMode が Preset5 以外に設定されている場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.202. MovieWB TunePreset6

ホワイトバランス設定が Preset6 の場合の補正量を設定する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWB TunePreset6

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** 0 to 1224 step=1 (Default: 612)

ホワイトバランス補正值とカメラの設定座標の関係は MovieWB TuneAuto の場合と同じ。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中かつ Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」の場合
- Capability\_MovieWbTunePresetProtect6 が「する」に設定されている。
- Capability\_MovieWBMode が Preset6 以外に設定されている場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.203. MovieWBProtect1

Preset1 のプロテクト状態を表す。 (動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBProtect1
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBProtect1 <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.204. MovieWBPresetProtect2

Preset2 のプロテクト状態を表す。 (動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBPresetProtect2
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBPresetProtect2 <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.205. MovieWBPresetProtect3

Preset3 のプロテクト状態を表す。 (動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBPresetProtect3
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBPresetProtect3 <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.206. MovieWBPresetProtect4

Preset4 のプロテクト状態を表す。 (動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBPresetProtect4
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBPresetProtect4 <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.207. MovieWBProtect5

Preset5 のプロテクト状態を表す。 (動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBProtect5
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBProtect5 <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.208. MovieWBPresetProtect6

Preset6 のプロテクト状態を表す。 (動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieWBPresetProtect6
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieWBPresetProtect6 <u>0: しない</u> 1: する

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.209. MovieWBPresetNumber

Capability\_MovieWBGainRed、Capability\_MovieWBGainBlue、で使用されるプリセットチャンネルを変更する。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWBPresetNumber

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Enum

kNkMAIDArrayType\_PackedString

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray,  
kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** Preset 1, Preset 2, Preset 3, Preset 4, Preset 5, Preset 6

下記の条件の何れかに合致する場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.210. MovieWBPresetName

ホワイトバランスプリセットデータの名称をカメラにセットする。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWBPresetName

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_String

kNkMAIDCapType\_Array

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set,  
kNkMAIDCapOperation\_GetArray

**Data** NkMAIDArray

kNkMAIDCapOperation\_GetArray 実行時、Module は NkMAIDArray.pData に  
NkMAIDString の配列で、Preset1～6 の順にホワイトバランスプリセットデータの名称を設定す  
る。

各ホワイトバランスプリセットデータの名称に 36 バイトを超える文字列がセットされた場合、  
37 バイト目以降は無視される。

有効な文字は下記の表に示す 90 文字の ASCII コードのみ([ASCII コード](#)を参照)である。

下記の場合いずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- 動画記録中の場合
- 撮影モードが P, S, A, M 以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	セットされた文字列に無効な文字が含まれていた場合。
NotSupported	・ Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。 ・ Capability_MovieWBPresetProtect1～6 が「1：する」に設定されている プリセットデータに対して Set を行った場合
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.211. MovieWBGainRed

MovieWBPresetNumber で選択されているプリセットホワイトバランスゲイン(赤)の読み出しを行う。  
(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWBGainRed

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** Min: 0 Max: 7.99804 (16380/2048)  
Step: 0.00195 (4/2048) (Default: 1)

値の範囲について、[WBPresetData](#) の ulPresetGain フォーマットに従い下位 2bit は無効となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.212. MovieWBGainBlue

MovieWBPresetNumber で選択されているプリセットホワイトバランスゲイン(青)の読み出しを行う。  
(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieWBGainBlue

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Range

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** Min: 0 Max: 7.99804 (16380/2048)

Step: 0.00195 (4/2048) (Default: 1)

値の範囲について、[WBPresetData](#)のulPresetGainフォーマットに従い下位2bitは無効となる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.213. MovieResetWBMode

Capability\_MovieWBMode、各ホワイトバランスの補正量をリセットする。(動画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_MovieResetWBMode

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

本 Capability の実行により、下記の Capability がリセットされる。

- Capability\_MovieWBMode
- Capability\_MovieWBTuneAuto
- Capability\_MovieWBAutoType
- Capability\_MovieWBTuneIncandescent
- Capability\_MovieWBTuneFluorescent
- Capability\_MovieWBFluorescentType
- Capability\_MovieWB\_TuneSunny
- Capability\_MovieWBTuneCloudy
- Capability\_MovieWBTuneShade
- Capability\_MovieWBTuneNatural
- Capability\_MovieWBTuneColorTemp
- Capability\_MovieWBColorAdjust

下記のいずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- 動画記録中の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.214. MovieNoiseReductionHighISO

高感度時にノイズ除去を行うかどうかの設定。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieNoiseReductionHighISO
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieNoiseReductionHighISO 0: OFF <u>1: ON (標準)</u> 2: ON (強) 3: ON (弱)

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- 動画記録中の場合
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.215. MoviePictureControl

現在設定が有効となっている、ピクチャコントロール項目を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MoviePictureControl
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMoviePictureControl 1: スタンダード 2: ニュートラル 3: ビビッド 4: モノクローム 5: ポートレート 6: 風景 7: フラット 8: オート <u>100: 静止画の設定と同じ</u> 101: ドリーム 102: モーニング 103: ポップ 104: サンデー <sup>1</sup> 105: ソンバー <sup>1</sup> 106: ドラマ 107: サイレンス 108: ブリーチ 109: メランコリック 110: ピュア 111: デニム 112: トイ 113: セピア 114: ブルー 115: レッド 116: ピンク 117: チャコール 118: グラファイト 119: バイナリー 120: カーボン 201~209: カスタムピクチャコントロール領域1~9

現在設定が有効となっているピクチャコントロール項目を表す。

カスタムピクチャコントロール領域は、現在登録されていないものも全て列挙される。ピクチャコント

ロール領域にデータが登録されているかどうかは、ピクチャコントロールデータの「カスタムフラグ」で判断する。

現在の設定として使用するピクチャコントロール項目が変更された場合、本 Capability についての CapChangeValueOnly イベントが上がる。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- ・ 動画記録中の場合
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合
- ・ 撮影モードが P, S, A, M 以外
- ・ Capability\_MovieLogOutput が「1：出力中である」

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。</li><li>・ 未登録のピクチャコントロール領域を指定して Set を実行した場合。</li></ul>
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.216. ISOControlSensitivity

カメラが制御している ISO 感度を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ISOControlSensitivity
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	one of eNkMAIDISOControlSensitivity8

eNkMAIDISOControlSensitivity8	内容	eNkMAIDISOControlSensitivity8	内容
32	Lo1.0	10000	ISO10000
40	Lo0.7	11000	ISO11000
45	Lo0.5	12800	ISO12800
50	Lo0.3	14400	ISO14400
64	ISO64	16000	ISO16000
72	ISO72	18000	ISO18000
80	ISO80	20000	ISO20000
90	ISO90	22000	ISO22000
100	ISO100	25600	ISO25600
110	ISO110	28800	Hi0.2
125	ISO125	32000	Hi0.3
140	ISO140	36000	Hi0.5
160	ISO160	40000	Hi0.7
180	ISO180	45600	Hi0.8
200	ISO200	51200	Hi1.0
220	ISO220	57600	Hi1.2
250	ISO250	64000	Hi1.3
280	ISO280	72000	Hi1.5
320	ISO320	81200	Hi1.7
360	ISO360	91200	Hi1.8
400	ISO400	102400	Hi2.0
450	ISO450		
500	ISO500		
560	ISO560		
640	ISO640		
720	ISO720		
800	ISO800		
900	ISO900		
1000	ISO1000		
1100	ISO1100		
1250	ISO1250		
1400	ISO1400		
1600	ISO1600		
1800	ISO1800		
2000	ISO2000		
2200	ISO2200		
2500	ISO2500		
2800	ISO2800		
3200	ISO3200		
3600	ISO3600		
4000	ISO4000		
4500	ISO4500		
5000	ISO5000		
5600	ISO5600		
6400	ISO6400		
7200	ISO7200		
8000	ISO8000		
9000	ISO9000		

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
--------------	-------------------------------------------

UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。
-----------------	----------------------------

### 3.217. MovieMeteringMode

動画撮影メニューの「測光モード」を設定する。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieMeteringMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieMeteringMode <u>0: Matrix (マルチパターン測光)</u> 1: Center weighted (中央部重点測光) 2: Highlight (ハイライト重点測光)

下記の何れかの場合、本 Capability は、Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが「オートモード」
- Capability\_LockExposure が True: Lock

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.218. LiveViewImageSize

ライブビュー画像のサイズを設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewImageSize
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLIVEViewImageSize 1: QVGA相当 <u>2: VGA相当</u> 3: XGA対応

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.219. **SpotWBMode**

カメラのスポット WB 取得待機状態の ON/OFF を設定する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_SpotWBMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDSpotWBMode <u>0: OFF</u> 1: ON

スポット WB 取得待機状態を開始する場合、本 Capability の値を 1(ON)に Set、停止する場合は、0(OFF)に Set する。

本 Capability ではスポット WB 取得待機状態の ON/OFF を動的に取得できない。

Capability\_GetLiveViewImage で取得するライブビューデータ表示情報の「スポット WB 状態」が「3:OFF(取得成功)」となった場合、スポット WB 取得待機状態がカメラ側で自動的に解除されるため、本 Capability に「0:OFF」を Set すること。

Capability\_MovieWBMode で指定された保存先に対し、取得待機状態に突入する。但し、Capability\_MovieWBMode が「Same as photo settings」である場合は、Capability\_WBMode で指定された保存先となる。

下記のいずれかの場合、本 Capability を Set 不可となる。

- Capability\_LockCamera が「False : ロック解除する(PC カメラモード)」の場合
- Capability\_LiveViewSelector が「0 : 静止画ライブビュー」の場合
- Capability\_LiveViewStatus が 3(ON(リモートライブビュー))以外の場合
- 動画記録中の場合
- Capability\_HDRMode が「0 : しない」以外に設定されている場合
- Capability\_MovieWBMode が「Preset1~6」「same as photo settings」以外が設定されている場合。
- Capability\_MovieWBMode で設定している Preset1~6 がプロテクト状態の場合。
- Capability\_MovieWBMode が「same as photo settings」に設定されていて、かつ Capability\_WBMode が Preset1~6 以外が設定されている場合。
- Capability\_MovieWBMode が「same as photo settings」に設定されていて、かつ Capability\_WBMode で設定している Preset1~6 がプロテクト状態の場合。
- 動画ライブビュー中且つ、Capability\_MovieReleaseButton が「1: 動画撮影」に設定されている場合
- Capability\_ExposureMode が下記の場合
  - 5: Auto(オートモード)
  - 15: U1(UserMode1)
  - 16: U2(UserMode2)
  - 18: U3(UserMode3)

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotLiveView	リモートライブビュー状態に突入していない場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.220. SpotWBMeasure

スポット WB 情報を取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_SpotWBMeasure

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

Capability\_ChangeSpotWBArea で指定した座標に対してスポット WB 情報の取得を行う。

スポット WB 情報の取得結果は Capability\_GetLiveViewImage で取得するライブビューデータの表示情報にて通知される。

スポット WB 取得結果画面の解除後、スポット WB 状態は待機中となるため本 Capability を実行することで再度 WB 情報の取得動作を行うことが可能である。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 0 (OFF) の場合
- 動画記録中の場合

## Result Codes

NotLiveView	ライブビュー状態に突入していない場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.221. **SpotWBChangeArea**

スポット WB 取得待機中にスポット WB エリアの変更を行う。

**Capability** kNkMAIDCapability\_SpotWBChangeArea  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Point  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data**   
typedef struct tagNkMAIDPoint  
{  
    SLONG x; X軸の座標  
    SLONG y; Y軸の座標  
} NkMAIDPoint, FAR\* LPNkMAIDPoint;

NkMAIDPoint 構造体の X(X 軸の座標)、Y(Y 軸の座標)で指定された座標を中心に WB エリアを設定する。

X、Y の値範囲は Capability\_GetLiveViewImage で取得した、プレビューの表示情報に含まれる「全体サイズ」となる。但し、実際に設定可能な範囲は、「全体サイズ」の縦横サイズから「AF 枠サイズ」縦横サイズの半分をそれぞれ差し引いたエリアとなる。

X,Y に設定可能な範囲を超えた値が設定された場合、最大または最小の値が反映される。

下記のいずれかの場合、本 Capability を Set 不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 0 (OFF) の場合
- 動画記録中の場合

#### Result Codes

NotLiveView	ライブビュー状態に突入していない場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.222. **SpotWBResultDispEnd**

スポット WB 取得結果画面の表示を解除する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_SpotWBResultDispEnd

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

本 Capability の実行により、GetLiveViewImage で取得できるライブビューデータの表示情報「スポット WB 状態」が『3:OFF (取得成功) → 0:OFF』もしくは、『4:待機中 (取得失敗) → 1:待機中 (未取得)』となる。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_LiveViewStatus が 3(ON(リモートライブビュー))以外の場合
- 動画記録中の場合

#### Result Codes

NotLiveView	ライブビュー状態に突入していない場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.223. RawJpegTransferStatus

Capability\_SaveMedia が「2 : カード&SDRAM」設定、且つ Capability\_CompressionLevel が「RAW+JPEG(BASIC/Normal/Fine)」設定時の撮影によって SDRAM 上に生成された画像について、クライアントに通知、転送する画像タイプを設定する。

Capability	kNkMAIDCapability_RawJpegTransferStatus
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Boolean
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
Data	True : JPEGのみ <u>False : RAWとJPEG</u>

下記いずれかの場合、本 Capability の Visibility は Invalid となる。(Operations については、常に Set 可能)

- Capability\_CompressionLevel が RAW+JPEG 以外
- Capability\_SaveMedia が PC+Card 以外

本 Capability は常に Set 可能な状態であるが、Capability\_Capture, Capability\_AFCapture、Capability\_CaptureDustImage, Capability\_CaptureAsync, Capability\_AFCaptureAsync の実行開始から、SDRAM についての kNkMAIDEEvent\_CaptureComplete を受信するまでの間、本 Capability の設定変更は禁止とする。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.224. GetSBHandles

カメラに繋がれているフラッシュのハンドル総数と一覧を取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_GetSBHandles  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get  
**Data** pointer to NkMAIDGetSBHandles structure  
typedef struct tag NkMAIDGetSBHandles  
{  
    ULONG ulSBGroupID;----0 : 全てのSB、N : 任意のSBGroupID  
    (one of [eNkMAIDSBGroupID](#))  
    ULONG ulNumber;----SBHandle リストの総数  
    ULONG ulSize;----pData のデータサイズ  
    void\* pData;----- [SBHandle](#) リストへのポインタ※  
}; NkMAIDGetSBHandles, FAR\* LPNkMAIDGetSBHandles;

※SBHandle リストの構成は下記となる。

ulNumber が N の場合

Field	Size	DataType
SBHandle 1	4	UINT32
SBHandle 2	4	UINT32
...	4	UINT32
SBHandle N-1	4	UINT32
SBHandle N	4	UINT32

下記手順で取得する。

- 1.SB ハンドル総数を取得する。
- 2.SB ハンドル一覧を取得する。

#### ■1.SB ハンドル総数を取得する

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : 取得対象となる SBGroupID を指定する
- ulNumber : 0 を指定する

実行後、下記項目が設定される。

- ulNumber : 取得対象となる SBHandle の総数
- ulSize : SBHandle リスト取得に必要なデータサイズ

#### ■2. SB ハンドル一覧を取得する

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : 取得対象となる SBGroupID を指定する
- ulNumber : 取得対象となる SBHandle の総数
- ulSize : pData に設定した SBHandle リストへ取得のためのバッファサイズ
- pData : SBHandle リストへ取得のためのデータポインタ

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : pData に設定された SBHandle リストのバッファサイズ
- pData : SBHandle リスト

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.225. GetSBAttrDesc

フラッシュに関する属性のディスクリプタを取得する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_GetSBAttrDesc  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get  
**Data** pointer to NkMAIDGetSBAttrDesc structure  
typedef struct tag NkMAIDGetSBAttrDesc  
{  
    ULONG ulSBHandle;----0 : 全てのSB、N : 任意のSBHandle  
    ([eNkMAIDSBHandle](#)、または任意の[SBHandle](#))  
    ULONG ulSBAttrID; ----0 : 全てのSBAttrID, N : 任意のSBAttrID  
    (one of [eNkMAIDSBAAttribute](#))  
    ULONG ulSize;----pDataのデータサイズ  
    void\* pData;-----SBHandleAttributeDescList※へのポインタ  
}; NkMAIDGetSBAttrDesc, FAR\* LPNkMAIDGetSBAttrDesc;  
※SBHandleAttributeDescListのDataFormatは[SDHandleAttributeDescList](#)を参照。

下記手順で取得する。

1.SB 属性ディスクリプタ取得のためのサイズを取得する。

2.SB 属性ディスクリプタを取得する。

■1.SB 属性ディスクリプタ取得のためのサイズを取得する  
構造体の下記項目について設定する。

- ulSBHandle : 取得対象となる SBHandle を指定する
- ulSBAttrID : 取得対象となる SBAttrID を指定する
- ulSize : 0 を指定する。

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : SB 属性ディスクリプタ取得のためのサイズ

■2.SB 属性ディスクリプタを取得する

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBHandle : 取得対象となる SBHandle を指定する
- ulSBAttrID : 取得対象となる SBAttrID を指定する
- ulSize : pData に設定した SBHandleAttributeDescList 取得のためのデータサイズ
- pData : SBHandleAttributeDescList 取得のためのデータポインタ

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : pData に実際に設定された SBHandleAttributeDescList のデータサイズ
- pData : SBHandleAttributeDescList

### Result Codes

ValueOutOfBounds	無効な値をパラメータに設定した場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	<ul style="list-style-type: none"> <li>予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。</li> <li>有効なSB情報が取得できなかった場合。</li> </ul>

### 3.225.1. *SBHandleAttributeDescList*

Field	DataSize	DataType or Data Set	Description
NumberOfElements	4	UINT32	リストに含まれている SBHandle の個数
Element1 SBHandle	4	SBHandle	要素 1 の SBHandle
Element1 SBAttributeDescList	DTS	<a href="#">SBAttributeDescList</a> を参照	要素 1 のフラッシュの属性のディスクリプタ
Element2 SBHandle	4	SBHandle	要素 2 の SBHandle
Element2 SBAttributeDescList	DTS	<a href="#">SBAttributeDescList</a> を参照	要素 2 のフラッシュの属性のディスクリプタ
...			
ElementN SBHandle	4	SBHandle	要素 N の SBHandle
ElementN SBAttributeDescList	DTS	<a href="#">SBAttributeDescList</a> を参照	要素 N のフラッシュの属性のディスクリプタ

### 3.225.2. *SBAttributeDescList*

Field	Size(Byte)	DataType or Data Set	Description
NumberOfElements	4	UINT32	リストに含まれている Attribute の個数
Element1 AttributeDesc	DTS	<a href="#">SBAttributeDesc</a> を参照	要素 1 の SBAttributeDesc
Element2 AttributeDesc	DTS	<a href="#">SBAttributeDesc</a> を参照	要素 2 の SBAttributeDesc
...			
ElementN AttributeDesc	DTS	<a href="#">SBAttributeDesc</a> を参照	要素 N の SBAttributeDesc

### 3.225.3. *SBAttributeDesc*

Field	Size(Byte)	DataType	Description
AttributeID	2	UINT16	SBAttrID または、SBGroupAttrID を示す。
DataType	2	UINT16	属性のデータタイプ。 属性により異なる。 <a href="#">DataTypeCode</a> を参照
GetSet	1	UINT8	読み取り専用 / 読み書き両用を示す。 0x00: 読み取り専用(Get) 0x01: 読み書き両用(Get / Set)
DefaultValue	DTS	DTS	カメラの持つデフォルト値。 属性により異なる。
CurrentValue	DTS	DTS	カメラの持つ現在値。 属性により異なる。
FormFlag	1	UINT8	記述データセットを示す。 0x00: なし 0x01: 範囲 0x02: 列挙
FORM	DTS	DTS	フィールドの内容は FormFlag フィールドに依存。 FormFlag フィールドが 0 の場合、存在しない。

### 3.226. SBAttrValue

対象のフラッシュの対象の属性の現在値を取得、設定する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_SBAttrValue

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** pointer to NkMAIDSBAAttributeValue structure

typedef struct tag NkMAIDSBAAttributeValue

{

ULONG ulSBHandle;----0 : 全てのSB、N : 任意のSBHandle

([eNkMAIDSBHandle](#)、または任意の[SBHandle](#))

※Getのみ使用

ULONG ulSBAttrID; ----0 : 全てのSBAttrID, N : 任意のSBAttrID

(one of [eNkMAIDSBAAttribute](#))

※Getのみ使用

ULONG ulSize;----pDataのデータサイズ

void\* pData;-----SBHandleAttributeList※へのポインタ

} NkMAIDSBAAttributeValue, FAR\* LPNkMAIDSBAAttributeValue;

※SBHandleAttributeListのDataFormatは[SBHandleAttributeList](#)を参照。

[Get]

下記手順で取得する。

1.SB 属性の現在値を取得するためのサイズを取得する。

2.SB 属性の現在値を取得する。

Set を実行後に Get を実行する場合は、必ず手順 1 から実行する必要がある。

■1.SB 属性の現在値を取得するためのサイズを取得する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBHandle : 取得対象となる SBHandle を指定する
- ulSBAttrID : 取得対象となる SBAttrID を指定する
- ulSize : 0 を指定する。

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : SB 属性の現在値を取得するためのサイズ

■2.SB 属性の現在値を取得する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBHandle : 取得対象となる SBHandle を指定する
- ulSBAttrID : 取得対象となる SBAttr を指定する
- ulSize : pData に設定した SBHandleAttributeDescList のサイズ
- pData : SBHandleAttributeDescList 取得のためのデータポインタ

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : pData に実際に設定された SBAttributeList のデータサイズ
- pData : SBAttributeList

## [Set]

指定された SB 属性値を設定する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBHandle : Set では使用しない
- ulSBAttrID : Set では使用しない
- ulSize : pData に設定した SBAttributeList のデータサイズ
- pData : SBAttributeList へのポインタ

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

## Result Codes

InvalidSBAttributeValue	指定されたSB属性値をサポートしていない場合。
ValueOutOfBounds	無効な値をパラメータに設定した場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	<ul style="list-style-type: none"> <li>予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。</li> <li>有効なSB情報が取得できなかった場合。</li> </ul>

### 3.226.1. SBHandleAttributeList

Field	DataSize	DataType or Data Set	Description
NumberOfElements	4	UINT32	リストに含まれている SBHandle の個数
Element1 SBHandle	4	SBHandle	要素 1 の SBHandle
Element1 SBAttributeList	DTS	<a href="#">SBAttributeList</a> を参照	要素 1 の SBAttributeList
Element2 SBHandle	4	SBHandle	要素 2 の SBHandle
Element2 SBAttributeList	DTS	<a href="#">SBAttributeList</a> を参照	要素 2 の SBAttributeList
...			
ElementN SBHandle	4	SBHandle	要素 N の SBHandle
ElementN SBAttributeList	DTS	<a href="#">SBAttributeList</a> を参照	要素 N の SBAttributeList

### 3.226.2. SBAttributeList

Field	Size(Byte)	DataType or Data Set	Description
NumberOfElements	4	UINT32	リストに含まれている Attribute の個数
Element1 AttributeDesc	DTS	<a href="#">SBAttribute</a> を参照	要素 1 の SBAttribute
Element2 AttributeDesc	DTS	<a href="#">SBAttribute</a> を参照	要素 2 の SBAttribute
...			
ElementN AttributeDesc	DTS	<a href="#">SBAttribute</a> を参照	要素 N の SBAttribute

### 3.226.3. SBAttribute

Field	Size(Byte)	DataType	Description
AttributeID	2	UINT16	SBAttrID または、SBGroupAttrID を示す。
DataType	2	UINT16	属性のデータタイプ。

			属性により異なる。 <a href="#">DataTypeCode</a> を参照
GetSet	1	UINT8	読み取り専用 / 読み書き両用を示す。 0x00: 読み取り専用(Get) 0x01: 読み書き両用(Get / Set)
DefaultValue	DTS	DTS	カメラの持つデフォルト値。 属性により異なる。
CurrentValue	DTS	DTS	カメラの持つ現在値。 属性により異なる。
FormFlag	1	UINT8	記述データセットを示す。 0x00: なし 0x01: 範囲 0x02: 列挙
FORM	DTS	DTS	フィールドの内容は FormFlag フィールドに依存。 FormFlag フィールドが 0 の場合、存在しない。

### 3.227. GetSBGroupAttrDesc

フラッシュグループに関する属性のディスクリプタを取得する。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_GetSBGroupAttrDesc
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Generic
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get
<b>Data</b>	<p>pointer to NkMAID GetSBGroupAttrDesc structure</p> <pre>typedef struct tag NkMAIDGetSBGroupAttrDesc {     ULONG  ulSBGroupID;----0 : 全 てのSBグループ、N : 任意のSBGroupID                                 (one of <a href="#">eNkMAIDSBGroupID</a>)     ULONG  ulSBGroupAttrID; -- 0 : 全てのSBGroupAttrID                                 N : 任意のSBGroupAttrID                                 (one of <a href="#">eNkMAIDSBGroupAttribute</a>)     ULONG  ulSize;----pDataのデータサイズ     void*  pData;-----SBGroupAttributeDescList※へのポインタ }</pre> <p>NkMAIDGetSBGroupAttrDesc, FAR* LPNkMAIDGetSBGroupAttrDesc;</p> <p>※SBGroupAttributeDescListのDataFormatは<a href="#">SBGroupAttributeDescList</a>を参照。</p>

下記手順で取得する。

1.SB グループ属性ディスクリプタ取得のためのサイズを取得する。

2.SB グループ属性ディスクリプタを取得する。

## ■ 1.SB グループ属性ディスクリプタ取得のためのサイズを取得する

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : 取得対象となる SBGroupID を指定する
  - ulSBGroupAttrID : 取得対象となる SBGroupAttrID を指定する
  - ulSize : 0 を指定する。

実行後、下記項目が設定される。

- `ulSize` : SB グループ属性ディスクリプタ取得のためのサイズ

## ■2.SB グループ属性ディスクリプタを取得する

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : 取得対象となる SBGroupID を指定する
  - ulSBGroupAttrID : 取得対象となる SBGroupAttrID を指定する
  - ulSize : pData に設定した SBGroupAttributeDescList のサイズ
  - pData : SBGroupAttributeDescList 取得のためのデータポインタ

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : pData に実際に設定された SBGroupAttributeDescList のサイズ

- pData : SBGroupAttributeDescList

※装着中のフラッシュが対応していない eNkMAIDSGroupAttribute を指定した場合、値は不定となるものがある。

## Result Codes

ValueOutOfBounds	無効な値をパラメータに設定した場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.227.1. SBGroupAttributeDescList

Field	DataSize	DataType or Data Set	Description
NumberOfElements	4	UINT32	リストに含まれている SBGroupID の個数
Element1 SBGroupID	4	SBGroupID	要素 1 の SBGroupID
Element1 SBAttributeDescList	DTS	<a href="#">SBAttributeDescList</a> を参照	要素 1 のフラッシュの属性のディスクリプタ
Element2 SBGroupID	4	SBGroupID	要素 2 の SBGroupID
Element2 SBAttributeDescList	DTS	<a href="#">SBAttributeDescList</a> を参照	要素 2 のフラッシュの属性のディスクリプタ
...			
ElementN SBGroupID	4	SBGroupID	要素 N の SBGroupID
ElementN SBAttributeDescList	DTS	<a href="#">SBAttributeDescList</a> を参照	要素 N のフラッシュの属性のディスクリプタ

### 3.228. SBGroupAttrValue

対象のフラッシュグループの対象の属性の現在値を取得、設定する。

Capability kNkMAIDCapability\_SBGroupAttrValue

## Object types      Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

**Data** pointer to NkMAIDSBGroupAttrValue structure

```
typedef struct tag NkMAIDSBGroupAttrValue
```

{

ULONG ulSBGroupID;-----0 : 全SBグループ、 N : 任意のSBGroupID

(one of eNkMAIDSBGROUPID)※Getのみ使用

ULONG ulSBGroupAttrID; -----0:全SBGroupAttrID, N:任意のSBGroupAttrID

(one of [eNkMAIDSBGroupAttribute](#))※Getのみ使用

ULONG ulSize;----pDataのデータサイズ

void\* pData;-----SBGroupAttributeList※へのポインタ

} NkMAIDSGroupAttrValue, FAR\* LPNkMAIDSGroupAttrValue;

※SBGroupAttributeListのDataFormatは[SBGroupAttributeList](#)を参照。

[Get]

下記手順で取得する。

1.SB グループ属性の現在値を取得するためのサイズを取得する。

2.SB グループ属性の現在値を取得する。

Set を実行後に Get を実行する場合は、必ず手順 1 から実行する必要がある。

■1.SB グループ属性の現在値を取得するためのサイズを取得する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : 取得対象となる SBGroupID を指定する
  - ulSBGroupAttrID : 取得対象となる SBGroupAttrID を指定する
  - ulSize : 0 を指定する。

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : SB グループ属性の現在値を取得するためのサイズ

## ■2.SB グループ属性の現在値を取得する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : 取得対象となる SBGroupID を指定する
  - ulSBGroupAttrID : 取得対象となる SBGroupAttrID を指定する
  - ulSize : pData に設定した SBGroupIDAttributeDescList のサイズ
  - pData : SBGroupIDAttributeDescList 取得のためのデータポインタ

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : pData に実際に設定された SBGroupAttributeList のデータサイズ
  - pData : SBGroupAttributeList

※装着中のフラッシュが対応していない eNkMAIDSGroupAttribute を指定した場合、値は不定となるものがある。

## [Set]

指定された SB グループ属性値を設定する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulSBGroupID : Set では使用しない。
- ulSBGroupAttrID : Set では使用しない。
- ulSize : pData に設定した SBGroupAttributeList のデータサイズ
- pData : SBGroupAttributeList へのポインタ

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

## Result Codes

InvalidSBAttributeValue	指定されたSBグループ属性値をサポートしていない場合。
ValueOutOfBounds	無効な値をパラメータに設定した場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.228.1. SBGroupAttributeList

Field	DataSize	DataType or Data Set	Description
NumberOfElements	4	UINT32	リストに含まれている SBGroupID の個数
Element1 SBGroupID	4	SBGroupID	要素 1 の SBGroupID
Element1 SBAttributeList	DTS	<a href="#">SBAttributeList</a> を参照	要素 1 の SBAttributeList
Element2 SBGroupID	4	SBGroupID	要素 2 の SBGroupID
Element2 SBAttributeList	DTS	<a href="#">SBAttributeList</a> を参照	要素 2 の SBAttributeList
...			
ElementN SBGroupID	4	SBGroupID	要素 N の SBGroupID
ElementN SBAttributeList	DTS	<a href="#">SBAttributeList</a> を参照	要素 N の SBAttributeList

### 3.229. TestFlash

対象のフラッシュのテスト発光

**Capability** kNkMAIDCapability\_TestFlash  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start  
**Data** pointer to NkMAIDTestFlash structure  
typedef struct tagNkMAIDTestFlash  
{  
    ULONG ulType;----- 発光種別  
    kNkMAIDTestFlash\_Testを指定。  
    ULONG ulParam;----- 任意のSBHandle、ただし0を指定すると全てのSBが対象になる。  
}  
} NkMAIDTestFlash, FAR\* LPNkMAIDTestFlash;

下記の場合、本 Capability は Operations は実行不可となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.230. ElectronicFrontCurtainShutter

[Z 7] 「撮影・記録・表示・電子先幕シャッター」を表す。

[Z 7\_FU1] 「撮影・記録・表示・シャッター方式」を表す。(カスタム d5)

[Z 7\_FU2、Z 7\_FU3]は 本 Capability を非サポート

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ElectronicFrontCurtainShutter
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDElectronicFrontCurtainShutter
	<b>[Z 7]</b>
	0:電子先幕シャッター無効
	1:電子先幕シャッター有効
	<b>[Z 7_FU1]</b>
	0:メカニカルシャッター
	1:電子先幕シャッター
	<b>2:オート</b>

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が「1: する」 (Z 7\_FU1 の場合のみ)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.231. CaptureAsync

撮影を実行し、画像データを指定された場所に保存する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_CaptureAsync

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

本 Capability を実行すると、撮影動作の完了を待たずに制御を返す。そのため、例えば撮影中でも AE ロックの状態を確認することが出来る。本 Capability の動作結果は Capability\_DeviceReady で確認する。

Capability\_ShootingMode が C または CH の場合、連続撮影可能な枚数は Capability\_RemainContinuousShooting、ブラケティング撮影中の残りコマ数、の中で一番少ない枚数となる。

但し、Capability\_HDRMode がしない以外の場合、Capability\_ShootingMode が連続撮影設定であっても撮影可能となるのは 1 枚のみであり、HDR 化される画像は 1 枚目のみとなる。

画像データの準備が出来ると、SourceObject に対し、kNkMAIDEvent\_AddChild が上がる。

ライブビュー実行中に本 Capability を実行した場合、カメラによってライブビューが停止された後、ライブビュー中に設定した AF 位置で、撮影動作に入る。撮影前に新たに AF 動作は行わない。

撮影画像の保存先は、Capability\_SaveMedia で指定する。

バルブ撮影は、撮影モードが Manual モードの場合のみ有効とする。本 Capability を発行するとバルブ撮影が開始され、Capability\_TerminateCapture を発行すると撮影が終了する。

下記のいずれかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_ShutterSpeed が Time
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_MovieLogOutput が「1：出力中である」

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
HardwareError	カメラ本体でエラーが発生している場合。
MediaFull	カードに記録できる空き容量がない場合。
NoMedia	<ul style="list-style-type: none"><li>• カードの初期化中の場合。</li><li>• Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カードが存在しない場合。</li><li>• バッテリーレベルが動作不可状態の場合。</li></ul>
InvalidMedia	Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カメラでカードアクセスエラーが発生している場合。

UnformattedMedia	Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カードがフォーマットされていない場合。
MediaReadOnly	記録予定のカードがプロテクトされている場合。
ApertureFEE	レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない場合。
BatteryDontWork	バッテリの残り容量が少ない場合。
ShutterBulb	バルブ警告中の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.232. AFCaptureAsync

AF 駆動開始後に撮影を行い、画像データを指定された場所に保存する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_AFCaptureAsync

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

本 Capability を実行すると、AF 駆動後に撮影動作に入るが、撮影動作の完了を待たずに制御を返す。そのため、例えば撮影中でも AE ロックの状態を確認することが出来る。本 Capability の動作結果は Capability\_DeviceReady で確認する。

AF 駆動後に、撮影動作に入る。但し、Capability\_FocusMode が MF の場合、またはレンズ未装着の場合は即座に撮影動作に入る。

AF 駆動後に合焦に失敗した場合、そのまま撮影動作に入るか、OutOfFocus エラーで終了するか は 、 Capability\_FocusMode 、 Capability\_AFsPriority 、 Capability\_AFcPriority, Capability\_LiveViewSelector の設定により異なる。

Capability\_LiveViewSelector が「1: 動画モード」の場合は、レリーズ優先固定となるため AF 駆動後の状態によらず、必ず撮影動作に移行する。

低速連写、高速連写の場合、連続撮影可能な枚数は Capability\_RemainContinuousShooting、 ブラケティング撮影中の残りコマ数、の中で一番少ない枚数となる。但し、Capability\_HDRMode がしない以外の場合、Capability\_ShootingMode が連続撮影設定であっても撮影可能となるのは 1 枚のみであり、HDR 化される画像は 1 枚目のみとなる。

画像データの準備が出来ると、SourceObjcet に対し、kNkMAIDEEvent\_AddChild が上がる。

撮影画像の保存先は、Capability\_SaveMedia で指定する。

下記のいずれかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_ShutterSpeed が Time
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」

#### Result Codes

OutOfFocus	Capability_LiveViewSelectorが「0: 静止画モード」かつAF動作モードがフォーカス優先で、AF動作が非合焦の場合。
NotSupported	• Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
HardwareError	カメラ本体でエラーが発生している場合。
MediaFull	カードに記録できる空き容量がない場合。
NoMedia	• カードの初期化中の場合。 • Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードが存在しない場合。

	・バッテリーレベルが動作不可状態の場合。
InvalidMedia	Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カメラでカードアクセスエラーが発生している場合。
UnformattedMedia	Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カードがフォーマットされていない場合。
MediaReadOnly	記録予定のカードがプロテクトされている場合。
ApertureFEE	レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない場合。
BatteryDontWork	バッテリの残り容量が少ない場合。
ShutterBulb	バルブ警告中の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.233. DeviceReady

Capability\_CaptureAsync、Capability\_AFCaptureAsync の動作状況を確認する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_DeviceReady

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

本 Capability は、Capability\_CaptureAsync、Capability\_AFCaptureAsync の動作状況をチェックするために使用する。

例えば、Client が撮影中に AE ロックの状態を確認したい場合は、Capability\_CaptureAsync を実行し撮影を開始し、Capability\_LockExposure にて AE ロックの状態を取得し、Capability\_CaptureAsync の動作結果は本 Capability を実行して取得することができる。

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
OutOfFocus	Capability_CaptureAsync、Capability_AFCaptureAsync でAF動作が非焦点の場合。
DeviceBusy	・カメラがBusy状態の場合。 ・Capability_CaptureAsync、Capability_AFCaptureAsyncによるカメラ動作中。
MFDriveEnd	MF動作が終端に達した場合。
BulbReleaseBusy	バルブ撮影中の場合。
CaptureFailure	プリセット計測リリーズが失敗した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.234. ElectronicVR

電子手ブレ補正設定を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ElectronicVR
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDElectronicVR
	<u>0: しない</u>
	1: する

本Capabilityは、動画撮影にのみ使用される。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- ・ 動画記録中の場合
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」「16: 1920×1080 2 5p 4 倍スロー」「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」「18: 1920×1080 120p」「19: 1920×1080 100p」の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.235. MovieActive\_D\_Lighting

動画のアクティブ-D-ライティング設定を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieActive_D_Lighting
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set, kNkMAIDCapOperation_GetDefault
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieActive_D_Lighting

0 : しない
1 : 弱め
2 : 標準
3 : 強め
4 : より強め
5 : 静止画と同じ

本 Capability が「5:静止画と同じ」に設定された場合、Capability\_Active\_D\_Lighting の設定で動作する。Capability\_Active\_D\_Lighting の設定が「6：自動」の場合、本 Capability は「2：標準」で動作する。

下記いずれかの場合、本 Capability は ReadOnly とする。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.236. FlickerReductionSetting

静止画撮影メニューの「フリッカー低減撮影」を表す。(静止画撮影メニュー)

**Capability** kNkMAIDCapability\_FlickerReductionSetting

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set,  
kNkMAIDCapOperation\_GetDefault

**Data** one of eNkMAIDFlickerReductionSetting

0 : しない
1 : する

下記いずれかの場合、本 Capability は ReadOnly とする。

- Capability\_ExposureDelayEx が「3 : しない」以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_HDRMode が「0: しない」以外
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が「1: する」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.237. SBIntegrationFlashReady

INFO 表示の「フラッシュインフォ」画面内に表示される統合レディ状態の情報を表す。

**Capability** kNkMAIDCapability\_SBIntegrationFlashReady

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Enum

kNkMAIDArrayType\_Unsigned

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_GetArray

**Data** one of eNkMAIDSBIIntegrationFlashReady

0: 未充電

1: レディ

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.238. ExternalRecordingControl

セットアップメニューの「HDMI – 外部記録制御」を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ExternalRecordingControl
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDExternalRecordingControl 0: しない 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ 動画記録中
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.239. LiveViewPhotoShootingMode

静止画撮影メニューの「サイレント撮影」を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewPhotoShootingMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLIVEViewPhotoShootingMode 0: しない 1: する

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。

DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.240. DetectionPeaking

ライブビューで使用する「ピーキングの検出」を表す。(カスタム d10)

Capability	kNkMAIDCapability_DetectionPeaking
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDDetectionPeaking <u>0 : しない</u> 1 : 低感度 2 : 標準 3 : 高感度

下記の場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.241. **HighlightBrightness**

カスタムメニューの「動画 - ハイライト表示 - ハイライト表示のしきい値」の設定を表す。(カスタム g6)

**Capability** kNkMAIDCapability\_HighlightBrightness

**Object types** Source

<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray,
	kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDHighlightBrightness
	0: 180
	1: 191
	2: 202
	3: 213
	4: 224
	5: 235
	<u>6: 248</u>
	7: 255

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P S A M 以外
- Capability\_DetectionPeaking が「0 : しない」以外

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.242. MovieAttenuator

動画撮影メニューの「アッテネーター」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieAttenuator
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieAttenuator 0: <u>無効</u> 1: 有効

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ 動画記録中かつ、Capability\_MovieRecMicrophone が「4: しない」の場合
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ Capability\_MovieScreenSize が「15: 1920×1080 30p 4 倍スロー」、「16: 1920×1080 25p 4 倍スロー」、「17: 1920×1080 24p 5 倍スロー」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.243. **SaveCameraSetting**

カメラの設定値を保存する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_SaveCameraSetting

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

本 Capability による操作は、電源スイッチオフ時に行っているカメラ設定値の保存と同じ機能となる。

本 Capability 実行時、設定値等はカメラの不揮発領域へ保存されるが、保存中にカメラの電源が断たれるなど動作完了できなかった場合、その後のカメラの動作は保証しない。

本 Capability 実行後は、SourceObject を Close する必要があり、他の Capability の実行はできない。また、カメラ電源 OFF 以外のカメラ操作も行ってはいけない。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Visibility が Invalid で Operations は Start 不可となる。

- 動画記録中
- Capability\_LockCamera が「False : ロック解除する(PC カメラモード)」の場合

#### Result Codes

NotSupported	<ul style="list-style-type: none"><li>• Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。</li><li>• カメラの設定を保存できない状態である場合</li></ul>
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。(撮影中の場合を含む)
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.244. MovieFileType

動画撮影メニューの「動画記録ファイル形式」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieFileType
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieFileType <u>0: MOV</u> 1: MP4

下記のいずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.245. InternalFlashComp

静止画撮影メニューの「フラッシュ調光補正」を 1/6EV 単位で表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_InternalFlashComp
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Range
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	-3.0EV～+1.0EV (Default:0EV)

Module は、Capability\_EVInterval の設定値を参照し、その値と同一の刻み幅に設定する。

下記のいずれかの場合、本 Capability は Set 不可となる。

- 動画ライブビュー中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_HDRMode が「1: する(1回)」「2: する(連続)」
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が 1 (する)
- Capability\_ShootingMode が「11: 高速連続撮影(拡張)」
- SB 設定警告発生中の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
	Capability_EVIntervalの設定によって、設定不可能な値を指定した場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.246. GetRecordingInfo

動画記録情報を取得する。

```

Capability           kNkMAIDCapability_GetRecordingInfo
Object types        Video
ulType              kNkMAIDCapType_Generic
ulOperations        kNkMAIDCapOperation_Get
Data                pointer to NkMAIDGetRecordingInfo structure
                        typedef struct tagNkMAIDGetRecordingInfo
                        {
                            ULONG  ulIndexOfMov;           ---対象動画ファイルのIndex
                            ULONG  ulTotalMovCount;        ---動画記録の分割ファイル数
                            NK_UINT_64 ullTotalMovSize;    ---動画記録の全サイズ
                        } NkMAIDGetRecordingInfo, FAR* LPNkMAIDGetRecordingInfo;

```

対象 VideoObject の動画記録情報を取得する。

本 Capability を実行すると、ファイルサイズが 4GB を超える動画記録を行った際に、対象 VideoObject のファイル Index、動画記録で分割したファイル数、動画記録の全サイズを取得することができる。

例：

1 ファイル目 ... 4GB

2 ファイル目 ... 2GB

計 6GB の動画記録を行った場合に本 Capability を実行した結果

- 1 ファイル目の VideoObject
   
ulIndexOfMov = 0
   
ulTotalMovCount = 2
   
ullTotalMovSize = 6442450944 (6GB)
- 2 ファイル目の VideoObject
   
ulIndexOfMov = 1
   
ulTotalMovCount = 2
   
ullTotalMovSize = 6442450944 (6GB)

分割されない場合は、ulIndexOfMov = 0, ulTotalMovCount = 1 が返る。また、ullTotalMovSize には、対象 VideoObject の動画ファイルサイズが返る。

分割された各動画ファイルのサイズを取得する場合は、GetVideoImageEx を使用する。

### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーが発生した場合。

### 3.247. DiffractionCompensation

静止画撮影メニューの「回折補正」を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_DiffractionCompensation
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDDiffractionCompensation 0: しない <u>1: する</u>

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.248. VibrationReduction

静止画撮影メニューの「手ブレ補正」を表す。(静止画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_VibrationReduction
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDVibrationReduction 0: しない <u>1: ノーマル</u>

## 2: スポーツ

装着するレンズの種類により、本 Capability でサポートする値が異なる。

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 装着レンズに VR スイッチがある場合
- Capability\_LensType が 0 (CPU レンズ非装着) かつ Capability\_FmmManual が 0 (設定せず) の場合
- VR 機能がある ML レンズを装着している場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.249. MovieAutoDistortion

動画撮影メニューの「自動ゆがみ補正」を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieAutoDistortion
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDMovieAutoDistortion 0: しない <u>1: する</u>

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- Capability\_LensType が「0x00000080 : 常時ゆがみ補正 ON レンズ」を示す場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.250. MovieAfAreaMode

動画撮影メニューの「AF エリアモード」を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieAfAreaMode
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_PackedString
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set

#### Data

Menu	文字列	Capability_MovieFocusMode
シングルポイント AF	“Single”	MF, AF-S, AF-C, AF-F
オートエリア AF	“Auto”	AF-S, AF-C, AF-F
ワイドエリア AF(S)	“Wide(S)”	AF-S, AF-C, AF-F
ワイドエリア AF(L)	“Wide(L)”	AF-S, AF-C, AF-F

Capability\_MovieFocusMode の値によって設定/使用できない AF エリアモードとなる場合は、この Capability は Single モードとなる。設定 / 使用可能な Capability\_MovieFocusMode に変更した場合は、直前に設定した AF エリアモードになる。

本 Capability の値はメニューの設定値ではなく、制御値をあらわす。

※列挙値について: 列挙値に含まれる値はメニューへの設定は可能だが、カメラの状態によっては設定した値を制御値として使用することができない。その場合、直後に CapChange が通知され、Get すると制御値が取得される。(本 Capability の値とメニューの値が一致しないことがある。)

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ユーザ操作で Capability\_MovieFocusMode を MF に設定したとき
  1. Module を使用して Capability\_MovieFocusMode を変更。
  2. カメラの動画撮影メニューから「フォーカスマード」を変更。
  3. 動画ライブビュー中、カメラの i メニューから  
「フォーカスマード」を変更。

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.251. MovieVibrationReduction

動画撮影メニューの「手ブレ補正」の設定を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieVibrationReduction
------------	-------------------------------------------

<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieVibrationReduction 0: しない 1: ノーマル 2: スポーツ <u>100: 静止画の設定と同じ</u>

装着するレンズの種類により、本 Capability でサポートする値が異なる。

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 装着レンズに VR スイッチがある場合
- Capability\_LensType が 0 (CPU レンズ未装着) かつ Capability\_FmmManual が 0 (設定せず) の場合
- VR 機能がある ML レンズを装着している場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.252. MovieFocusMode

動画撮影時の「フォーカスモード」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieFocusMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieFocusMode 0: AF-S 1: AF-C <u>2: AF-F</u> 4: MF

本 Capability の値はメニューの設定値ではなく、制御値をあらわす。

※列挙値について: 列挙値に含まれる値はメニューへの設定は可能だが、カメラの状態によっては設定した値を制御値として使用することができない。その場合、直後に CapChange が通知され、Get すると制御値が取得される。(本 Capability の値とメニューの値が一致しないことがある。)

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.253. MovieVignetteControl

動画撮影メニューの「ヴィネットコントロール」を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieVignetteControl
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDMovieVignetteControl 0: しない 1: 弱め <u>2: 標準</u> 3: 強め 100: 静止画の設定と同じ

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.254. MovieDiffractionCompensation

動画撮影メニューの「回折補正」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieDiffractionCompensation
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieDiffractionCompensation 0: しない <u>1: する</u>

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.255. RecordTimeCodes

動画撮影メニューの「タイムコード - タイムコード記録」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_RecordTimeCodes
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDRecordTimeCodes <u>0: しない</u> 1: する 2: する(HDMI外部出力あり)

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 時刻未設定警告発生時

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.256. CountUpMethod

動画撮影メニューの「タイムコード - カウントアップ方式」を表す。(動画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_CountUpMethod
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDCountUpMethod <u>0: レックラン</u> 1: フリーラン

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_RecordTimeCodes が「0: しない」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 時刻未設定警告発生時

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.257. TimeCodeOrigin

動画撮影メニューの「タイムコード・タイムコードの起点」を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_TimeCodeOrigin
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Generic
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetDefault, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	<p>pointer to NkMAIDTimeCodeOrigin structure</p> <pre>typedef struct tagNkMAIDTimeCodeOrigin {     UCHAR ucTimeCodeInfo; ----- 0: リセット / 1: 手動入力 / 2: 現時刻     UCHAR ucTimeCode[3];    ----- [0] 時(00-23) (Default 値:0)                            [1] 分(00-59) (Default 値:0)                            [2] 秒(00-59) (Default 値:0)     ULONG ulFrame;        ----- フレーム (*) (Default 値:0)                            24fps の場合(0-23)                            25/50/100fps の場合(0-24)                            30/60/120fps の場合(0-29) } NkMAIDTimeCodeOrigin, FAR* LPNkMAIDTimeCodeOrigin;</pre>

(\*) Capability\_MovieScreenSizeのフレームレートによって設定可能な値の範囲が変わる。

ucTimeCode[3] および ulFrame は、ucTimeCodeInfoが「1: 手動入力」のときのみ使用される。

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_RecordTimeCodes が「0: しない」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 時刻未設定警告発生時

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.258. DropFrame

動画撮影メニューの「タイムコード – ドロップフレーム」を表す。(動画撮影メニュー)

Capability	kNkMAIDCapability_DropFrame
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDDropFrame 0: しない <u>1: する</u>

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_RecordTimeCodes が「0: しない」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中
- 時刻未設定警告発生時

## Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.259. MovieLogOutput

カメラの N-log 制御状態を表す。

Capability	kNkMAIDCapability_MovieLogOutput
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned

<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieLogOutput
	<u>0: 出力中ではない</u>

1: 出力中である

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.260. MovieLogSetting

セットアップメニューの「HDMI – N-log 設定」を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_MovieLogSetting
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDMovieLogSetting
	<u>0: しない</u>
	1: する(カード記録不可)

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_HDMIOutputDataDepth が「0: 8 ビット」
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.261. **HDMIOutputDataDepth**

セットアップメニューの「HDMI – 出力ビット数」を表す。(SETUP)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_HDMIOutputDataDepth
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDHDMIOutputDataDepth <u>0: 8ビット</u> 1: 10ビット

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.262. LowLightAF

カスタムメニューの「オートフォーカス - ローライト AF」を表す。 (カスタム a11)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LowLightAF
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLowLightAF <u>0: しない</u> 1: する

下記いずれかの場合、この Capability は、Read Only となる。

- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.263. ApplyLiveViewSetting

カスタムメニューの「撮影・記録・表示 - LV に撮影設定を反映」の設定を表す。 (カスタム d8)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_ApplyLiveViewSetting
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDApplyLiveViewSetting 0: しない <u>1: する</u>

下記いずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.264. LiveViewImageStatus

Capability\_GetLiveViewImage で取得するライブビュー画像の状態を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewImageStatus
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLIVEViewImageStatus <u>0: ライブビュー画像取得不可</u> 1: ライブビュー画像取得可能

#### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.265. LiveViewZoomArea

ライブビュー画像の拡大範囲を表す。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewZoomArea
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLIVEViewZoomArea

eNkMAIDLIVEViewZoomArea	表示デバイス		内容
	画像モニター	電子ビューフ айнダー	
0	○	○	全体表示
512	○	—	拡大範囲 : 512 x 342 拡大倍率 : 高倍率(200%)
640	—	○	拡大範囲 : 640 x 426 拡大倍率 : 高倍率(200%)
1024	○	—	拡大範囲 : 1024 x 682 拡大倍率 : 等倍(100%)
1280	—	○	拡大範囲 : 1280 x 854 拡大倍率 : 等倍(100%)
2048	○	—	拡大範囲 : 2048 x 1364 拡大倍率 : 低倍率(50%)
2560	—	○	拡大範囲 : 2560 x 1706 拡大倍率 : 低倍率(50%)

※拡大倍率は表示デバイスのサイズに対する倍率である。

カメラの表示デバイスにより、拡大可能な列挙値が変化する。表示デバイスに対応していない拡大範囲を設定した場合は、倍率が同等の拡大範囲に拡大される。

拡大中に画像モニター⇒電子ビューフайнダーを切り替えた場合、現在値は切り替え前の拡大範囲を維持する。

拡大範囲の縦横のそれぞれのサイズ(※) > ライブビュー画像の全体サイズの縦横それぞれのサイズとなるような拡大範囲は設定できないのがカメラの仕様だが、本カメラではこのような状態になり設定できない値は存在しない。

下記のいずれかの場合、「512: 512 x 342」「640: 640 x 426」は列挙されない。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)

下記のいずれかの場合、この Capability は Read Only となる。

- Capability\_LiveViewStatus が 0(OFF)
- 動画記録中

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。 静止画撮影中に値の変更を行った場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.266. TrackingAFArea

リモートライブビュー実行時にオートエリア AF 時の追尾動作を開始するか、選択顔を変更する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_TrackingAFArea  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Set  
**Data** pointer to NkMAIDTrackingAFArea structure  
 typedef struct tagNkMAIDTrackingAFArea  
 {  
 ULONG ulTrackingStatus;       -----1: 追尾動作開始 / 0: 追尾動作停止  
 NkMAIDPoint stAfPoint;       -----AFエリアの座標  
   (※ulTrackingStatus=1の時のみ使用される)  
 } NkMAIDTrackingAFArea, FAR\* LPNkMAIDTrackingAFArea;

追尾動作を開始する際、ulTrackingStatus に 1 を指定し、NkMAIDPoint 構造体の X(X 軸の座標)、Y(Y 軸の座標)で指定された座標を中心に AF エリアを設定する。(Capability\_ContrastAFArea と同様。)

X、Y の値範囲は Capability\_GetLiveViewImage で取得した、ライブビューヘッダ情報に含まれる「全体サイズ」となる。但し、実際に設定可能な範囲は、「全体サイズ」の縦横サイズから「AF 枠サイズ」縦横サイズの半分をそれぞれ差し引いたエリアとなる。

X,Y に設定可能な範囲を超えた値が設定された場合、最大または最小の値が反映される。

追尾動作を停止する際、ulTrackingStatus に 0 を指定する。NkMAIDPoint 構造体は使用しない。

ライブビューヘッダ情報の変化については以下の通り。

条件		本コマンド実行後に変化するライブビューヘッダ情報の値		
検出顔の有無	追尾状態	追尾状態	AF 枠中心座標	選択顔インデックス
指定した座標に検出している顔がある	待機中 選択中 追尾中	待機中	-	指定した座標に存在する顔のインデックス
指定した座標に検出している顔がない	待機中 選択中 追尾中	追尾中	指定した座標	-

以下の何れかの場合、本 Capability の Operations は Read Only となる。

- Capability\_LiveViewStatus が 3(ON(リモートライブビュー))以外の場合
- 静止画ライブビュー中かつ Capability\_FocusAreaMode が”Auto”以外

- ・ 動画ライブビュー中かつ Capability\_MovieAfAreaMode が”Auto”以外
- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON) の場合

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。 カメラ要因により追尾状態の変化に失敗した場合
NotLiveView	リモートライブビュー状態に突入していない場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.267. MovieAfSpeed

カスタムメニューの「動画・AF 速度」の設定を表す。(カスタム g4)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieAfSpeed
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Range
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	-5(低速)～5(高速)(Default:0)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- ・ Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- ・ 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.268. MovieAfSpeedWhenToApply

カスタムメニューの「動画 -AF 速度 - 作動条件」の設定を表す。(カスタム g4)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieAfSpeedWhenToApply
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDMovieAfSpeedWhenToApply 0 : 常時有効 1 : 記録中のみ有効

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

#### 3.269. MovieAfTrackingSensitivity

カスタムメニューの「動画 - AF 追従感度」の設定を表す。(カスタム g5)

Capability	kNkMAIDCapability_MovieAfTrackingSensitivity
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Range
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	1(敏感)～7(鈍感) (Default:4)

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.270. PreCapture

White Balance のデータを決めるための Preset 撮影を行う。

**Capability** kNkMAIDCapability\_PreCapture

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

**Data** なし

プリセット計測レリーズで設定できるのは、静止画用のホワイトバランスデータのみである。

下記の何れかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_ShutterSpeed が Time
- Capability\_LiveViewSelector が「1: 動画ライブビュー」
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_HDRMode が「0 : しない」以外に設定されている場合
- Capability\_MovieLogOutput が「1: 出力中である」
- 

#### Result Codes

CaptureFailure	プリセット計測レリーズ指定先がプロテクトされている場合。
NotSupported	• Capability に対してサポートされていない Operation を実行した場合。 • Capability_LockCamera が「False: ロック解除する(PC カメラ モード)」で Operation を実行した場合。
DeviceBusy	カメラが Busy 状態の場合。
HardwareError	カメラ本体でエラーが発生している場合。
MediaFull	カードに記録できる空き容量がない場合。
NoMedia	• カードの初期化中の場合。 • Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードが存在しない場合。 • バッテリーレベルが動作不可状態の場合。
InvalidMedia	Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カメラでカードアクセスエラーが発生している場合。
UnformattedMedia	Capability_SaveMedia が「カード」、または「カードと SDRAM」で、カードがフォーマットされていない場合。
MediaReadOnly	記録予定のカードがプロテクトされている場合。
ApertureFEE	レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない場合。
BatteryDontWork	バッテリの残り容量が少ない場合。
ShutterBulb	バルブ警告中の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.271. GetManualSettingLensData

対象のセットアップメニューの「レンズ情報手動設定」の情報を取得する。(SETUP)

**Capability** kNkMAIDCapability\_GetManualSettingLensData  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get  
**Data** pointer to NkMAIDGetManualSettingLensData structure  
typedef struct tagGetManualSettingLensData  
{  
    ULONG ulLensID;----0xFFFFFFFF : 全レンズ設定情報、N : 任意のLensID  
    ULONG ulSize;----pDataのデータサイズ  
    void\* pData;----- ManualSettingLens DataSetへのポインタ※  
} NkMAIDGetManualSettingLensData, FAR\*  
LPNkMAIDGetManualSettingLensData;

※ManualSettingLens DataSetのDataFormatは[ManualSettingLens DataSet](#)を参照。

下記手順で取得する。

1. 現在値を取得するためのサイズを取得する。

2. 現在値を取得する。

必ず手順1から実行する必要がある。

■1. レンズ情報の現在値を取得するためのサイズを取得する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulLensID : 取得対象となる LensID を指定する
- ulSize : 0 を指定する。

実行後、下記項目が設定される。

- ulSize : LensID の現在値を取得するためのサイズ

■2. レンズ情報の現在値を取得する。

構造体の下記項目について設定する。

- ulLensID : 取得対象となる LensID を指定する
- ulSize : pData に設定したデータサイズ
- pData : 取得のためのデータポインタ

実行後、下記項目が設定される。

- pData : ManualSettingLens DataSet

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	無効な値をパラメータに設定した場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.271.1. ManualSettingLens DataSet

Field	Size	Description
設定中のレンズ No	4	<a href="#">ManualSetLensNo</a> 参照
手動設定レンズ情報数(N)	4	個別取得:1/一括取得:20
手動設定レンズ情報[0]	焦点距離	1 レンズ No.1 の情報 ※ ※個別取得の場合は Parameter1 で指定されたレンズ No の情報が取得出来る
	開放絞り値	1
	Reserved	2 焦点距離: <a href="#">FmmManual</a> 参照 開放絞り値: <a href="#">F0Manual</a> 参照
手動設定レンズ情報[1]	焦点距離	1 レンズ No.2 の情報
	開放絞り値	1
	Reserved	2
手動設定レンズ情報[N - 1]	焦点距離	1 レンズ No.N の情報
	開放絞り値	1
	Reserved	2

### 3.272. AFModeAtLiveView

静止画撮影メニューの「フォーカスモード」を表す。(静止画撮影メニュー)

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_AFModeAtLiveView
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDAFModeAtLiveView <u>0: AF-S</u> 1: AF-C 4: MF

本 Capability の値はメニューの設定値ではなく、制御値をあらわす。

※列挙値について: 列挙値に含まれる値はメニューへの設定は可能だが、カメラの状態によっては設定した値を制御値として使用することができない。その場合、直後に CapChange が通知され、Get すると制御値が取得される。(本 Capability の値とメニューの値が一致しないことがある。)

以下の何れかの場合、このCapabilityはRead Onlyとなる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.273. ElectronicFrontCurtainShutterEx

「撮影・記録・表示・シャッター方式」を表す。(カスタム d5)

※[Z 7、Z 7\_FU1]は本 Capability を非サポート

Capability	kNkMAIDCapability_ElectronicFrontCurtainShutterEx
Object types	Source
ulType	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
ulOperations	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set
Data	one of eNkMAIDElectronicFrontCurtainShutter 0:メカニカルシャッター 1:電子先幕シャッター <u>2:オート</u>

装着するレンズによって列挙が変化する。

メカニカルシャッターをサポートしていないレンズを装着した場合 0:メカニカルシャッターは列挙されない。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- 動画記録中
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 撮影モードが P, S, A, M 以外
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が「1: する」

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

### 3.274. LiveViewImageCompression

Capability\_GetLiveViewImage で取得するライブビュー画像の画質をあらわす。

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_LiveViewImageCompression
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDArrayType_Unsigned kNkMAIDCapType_Enum
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray kNkMAIDCapOperation_Set
<b>Data</b>	one of eNkMAIDLIVEViewImageCompression <u>0 : BASIC(サイズ優先)</u> 1 : BASIC(画質優先) 2 : NORMAL(サイズ優先) 3 : NORMAL(画質優先) 4 : FINE(サイズ優先) 5 : FINE(画質優先)

Module は、カメラと接続したとき、本 Capability の設定が可能な場合は「5: FINE(画質優先)」を設定する。

下記いずれかの場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- 動画記録中

#### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

## 4. SB 関連定義

### 4.1. SBHandle

カメラに繋がれている個々のフラッシュ（内蔵フラッシュ、外付けフラッシュ、増灯フラッシュ）を表す為に使用される。SBHandle は符号なし 32Bit で表現され、それぞれのフラッシュにはユニークな値が設定される。

#### 4.1.1. eNkMAIDSBHandle

eNkMAIDSBHandle	ID	説明
kNkMAIDSBHandle_ALL	0	全てのフラッシュ

※各SBHandleの詳細はZ 7のコマンド仕様「SBHandle」を参照。

### 4.2. eNkMAIDSBGroupID

eNkMAIDSBGroupID	ID	説明
kNkMAIDSBGroupID_ALL	0	全てのグループ
kNkMAIDSBGroupID_Master	0x00000001	マスター フラッシュ
kNkMAIDSBGroupID_A	0x00000002	A グループ
kNkMAIDSBGroupID_B	0x00000004	B グループ
kNkMAIDSBGroupID_C	0x00000008	C グループ
kNkMAIDSBGroupID_D	0x00000010	D グループ
kNkMAIDSBGroupID_E	0x00000020	E グループ
kNkMAIDSBGroupID_F	0x00000040	F グループ

※各SBGroupIDの詳細はZ 7のコマンド仕様「SBGroupID」を参照。

### 4.3. eNkMAIDSBAttribute

eNkMAIDSBAttribute	ID	説明
kNkMAIDSBAttribute_ALL	0	全ての SBAttrID を表す。
kNkMAIDSBAttribute_Name	0x1001	リモート フラッシュの機種名/ニックネームを示す任意の文字列を表す。
kNkMAIDSBAttribute_GroupID	0x1002	フラッシュの SBGroupID を表す。
kNkMAIDSBAttribute_Status	0x1003	リモート フラッシュのレディ状態を表す。
kNkMAIDSBAttribute_TestFlashDisable	0x1005	フラッシュのテスト発光禁止状態を表す。

※各SBAttrIDの詳細はZ 7のコマンド仕様「SBAttribute」を参照。

### 4.4. eNkMAIDSBGroupAttribute

eNkMAIDSBGroupAttribute	ID	説明
kNkMAIDSBGroupAttribute_ALL	0	全ての SBGroupAttrID を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_FlashMode	0x4001	フラッシュ グループの調光モードを表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_FlashCompensation	0x4002	フラッシュ グループの調光補正量を 1/6 EV 単位で表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_FlashRatio	0x4003	フラッシュ グループの比率を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_FlashLevel	0x4004	フラッシュ グループの発光量を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_FlashRange	0x4005	フラッシュ グループの調光距離を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_Repeat	0x4006	フラッシュ グループの繰り返し設定の ON/OFF を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_RepeatCount	0x4007	フラッシュ グループの発光回数を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_RepeatInterval	0x4008	フラッシュ グループの発光間隔を表す。
kNkMAIDSBGroupAttribute_Invalid	0x4009	フラッシュ グループの有効状態を表す。

※各SBGroupAttrIDの詳細はZ 7のコマンド仕様「SBGroupAttribute」を参照。

## 5. Standard Capabilities

### 5.1. AsyncRate

**Capability** kNkMAIDCapability\_AsyncRate  
**Object types** Module  
**ulType** kNkMAIDArrayType\_Unsigned  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

### 5.2. ProgressProc

**Capability** kNkMAIDCapability\_ProgressProc  
**Object types** Source, Image, Thumbnail  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Callback  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

### 5.3. EventProc

**Capability** kNkMAIDCapability\_EventProc  
**Object types** Module, Source, Item, Image, Thumbnail  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Callback  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

### 5.4. DataProc

**Capability** kNkMAIDCapability\_DataProc  
**Object types** Image, Thumbnail  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Callback  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

### 5.5. UIRequestProc

**Capability** kNkMAIDCapability\_UIRequestProc  
**Object types** Module  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Callback  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

### 5.6. IsAlive

**Capability** kNkMAIDCapability\_IsAlive  
**Object types** Module, Source, Item, Image, Thumbnail  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Boolean  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

## 5.7. Children

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Children
<b>Object types</b>	Module, Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray

## 5.8. State

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_State
	サポートせず

## 5.9. Name

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Name
<b>Object types</b>	Module, Source, Item, Image, Thumbnail
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_String
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get

Capability\_SaveMedia が「1:SDRAM」で記録された SDRAM 画像の、Item、Image、Thumbnail の本 Capability 値は、は"DSC\_0000.拡張子"となる。

Capability\_SaveMedia が「2: カード&SDRAM」で記録された SDRAM 画像の、Item、Image、Thumbnail の本 Capability 値は、同時にカードへ記録された画像のフォルダ名とファイル名を使用した名称となり、"フォルダ名(バックスラッシュ)ファイル名.拡張子"となる。  
ただし、同時にカードへ記録した画像が存在しない場合（カードが抜かれている等の理由で）、"DSC\_0000.拡張子"を使用する。

## 5.10. Description

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Description
	サポートせず

## 5.11. Interface

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_Interface
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_String
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get

## 5.12. DataTypes

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_DataTypes
<b>Object types</b>	Source, Item
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get

### **5.13. DateTime**

**Capability** kNkMAIDCapability\_DateTime  
**Object types** Item  
**ulType** kNkMAIDCapType\_DateTime  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

### **5.14. StoredBytes**

**Capability** kNkMAIDCapability\_StoredBytes  
**Object types** Item, Image, Thumbnail  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

### **5.15. Eject**

**Capability** kNkMAIDCapability\_Eject  
サポートせず

### **5.16. Feed**

**Capability** kNkMAIDCapability\_Feed  
サポートせず

## 5.17. Capture

撮影を実行し、画像データを指定された場所に保存する。

**Capability** kNkMAIDCapability\_Capture

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

Capability\_ShootingMode が C または CH の場合、連続撮影可能な枚数は Capability\_RemainContinuousShooting、ブラケティング撮影中の残りコマ数、の中で一番少ない枚数となる。

但し、Capability\_HDRMode がしない以外の場合、Capability\_ShootingMode が連続撮影設定であっても撮影可能となるのは 1 枚のみであり、HDR 化される画像は 1 枚目のみとなる。

画像データの準備が出来ると、SourceObjcet に対し、kNkMAIDEvent\_AddChild が上がる。

ライブビュー実行中に本 Capability を実行した場合、カメラによってライブビューが停止された後、ライブビュー中に設定した AF 位置で、撮影動作に入る。撮影前に新たに AF 動作は行わない。

撮影画像の保存先は、Capability\_SaveMedia で指定する。指定した保存先に記録可能な空き容量が無い場合、kMAIDResult\_MediaFull が返る。

バルブ撮影は、撮影モードが Manual モードの場合のみ有効とする。本 Capability を発行するとバルブ撮影が開始され、Capability\_TerminateCapture を発行すると撮影が終了する。

下記のいずれかの場合、この Capability は Visibility が Invalid で Operations は実行不可となる。

- Capability\_ShutterSpeed が Time
- Capability\_RetractableLensWarningStatus が True
- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_MovieLogOutput が「1：出力中である」

## Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
HardwareError	カメラ本体でエラーが発生している場合。
MediaFull	カードに記録できる空き容量がない場合。
NoMedia	<ul style="list-style-type: none"><li>カードの初期化中の場合。</li><li>Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カードが存在しない場合。</li><li>バッテリーレベルが動作不可状態の場合。</li></ul>
InvalidMedia	Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カメラでカードアクセスエラーが発生している場合。
UnformattedMedia	Capability_SaveMediaが「カード」、または「カードとSDRAM」で、カードがフォーマットされていない場合。
MediaReadOnly	記録予定のカードがプロテクトされている場合。

ApertureFEE	レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない場合。
BatteryDontWork	バッテリの残り容量が少ない場合。
ShutterBulb	バルブ警告中の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

## 5.18. Mode

**Capability** kNkMAIDCapability\_Mode

サポートせず

## 5.19. Acquire

**Capability** kNkMAIDCapability\_Acquire

**Object types** Image, Thumbnail

**ulType** kNkMAIDCapType\_Process

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Start

## 5.20. Start

**Capability** kNkMAIDCapability\_Start

サポートせず

## 5.21. Length

**Capability** kNkMAIDCapability\_Length

サポートせず

## 5.22. SampleRate

**Capability** kNkMAIDCapability\_SampleRate

サポートせず

## 5.23. Stereo

**Capability** kNkMAIDCapability\_Stereo

サポートせず

## 5.24. Samples

**Capability** kNkMAIDCapability\_Samples

サポートせず

## 5.25. Filter

**Capability** kNkMAIDCapability\_Filter

サポートせず

## 5.26. Prescan

**Capability** kNkMAIDCapability\_Prescan  
サポートせず

## 5.27. AutoFocus

**Capability** kNkMAIDCapability\_AutoFocus  
サポートせず

## 5.28. AutoFocusPt

**Capability** kNkMAIDCapability\_AutoFocusPt  
サポートせず

## 5.29. Focus

**Capability** kNkMAIDCapability\_Focus  
サポートせず

## 5.30. Coords

**Capability** kNkMAIDCapability\_Coords  
サポートせず

## 5.31. Resolution

**Capability** kNkMAIDCapability\_Resolution  
サポートせず

## 5.32. Preview

**Capability** kNkMAIDCapability\_Preview  
サポートせず

## 5.33. Negative

**Capability** kNkMAIDCapability\_Negative  
サポートせず

## 5.34. Bits

**Capability** kNkMAIDCapability\_Bits  
サポートせず

## 5.35. Planar

**Capability** kNkMAIDCapability\_Planar  
サポートせず

## 5.36. Lut

**Capability** kNkMAIDCapability\_Lut  
サポートせず

## 5.37. Transparency

**Capability** kNkMAIDCapability\_Transparency  
サポートせず

## 5.38. Threshold

**Capability** kNkMAIDCapability\_Threshold  
サポートせず

## 5.39. Pixels

**Capability** kNkMAIDCapability\_Pixels  
**Object types** Image, Thumbnail  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Size  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

## 5.40. ForceScan

**Capability** kNkMAIDCapability\_ForceScan  
サポートせず

## 5.41. ForcePrescan

**Capability** kNkMAIDCapability\_ForcePrescan  
サポートせず

## 5.42. ForceAutoFocus

**Capability** kNkMAIDCapability\_ForceAutoFocus  
サポートせず

## 5.43. NegativeDefault

**Capability** kNkMAIDCapability\_NegativeDefault  
サポートせず

## 5.44. Firmware

**Capability** kNkMAIDCapability\_Firmware  
サポートせず

## 5.45. CommunicationLevel1

**Capability** kNkMAIDCapability\_CommunicationLevel1  
サポートせず

## 5.46. CommunicationLevel2

**Capability** kNkMAIDCapability\_CommunicationLevel2  
サポートせず

## 5.47. BatteryLevel

**Capability** kNkMAIDCapability\_BatteryLevel

**Object types** Source

**ulType** kNkMAIDCapType\_Integer

**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

**Data** 1、20、40、60、80、100

カメラの電池残量をパーセンテージで表す。

実際にカメラから送信される値は1、20、40、60、80、100の6種類である。

1が返る場合は撮影禁止レベルとなり、Capability\_LiveViewProhibitでは「バッテリ不足中」が設定される。

外部DC-IN使用時は、-1が返る。

### Result Codes

NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

## 5.48. FreeBytes

サポートせず

## 5.49. FreeItems

サポートせず

## 5.50. Remove

サポートせず

## 5.51. FlashMode

<b>Capability</b>	kNkMAIDCapability_FlashMode
<b>Object types</b>	Source
<b>ulType</b>	kNkMAIDCapType_Enum
	kNkMAIDArrayType_Unsigned
<b>ulOperations</b>	kNkMAIDCapOperation_Get, kNkMAIDCapOperation_GetArray, kNkMAIDCapOperation_Set,
<b>Data</b>	one of eNkMAIDFlashMode, eNkMAIDFlashModeDX2 <u>6: 通常発光</u> 7: 後幕発光 8: 通常発光+スローシャッター 9: 赤目軽減発光 10: 赤目軽減+スローシャッター 262: 発光禁止

撮影モード または 判別シーン	通常発光	通常発光+ スローシャッター	後幕発光	赤目軽減発光	赤目軽減+ スローシャッター	発光禁止
P / A	通常発光	通常発光+ スローシャッター	後幕発光	赤目軽減発光	赤目軽減+ スローシャッター	発光禁止
S / M	通常発光	-	後幕発光	赤目軽減発光	-	発光禁止
AUTO	通常発光	-	-	赤目軽減発光	-	発光禁止
U1/U2/U3	ユーザー モードに設定した撮影モードに順ずる。					

カメラの表示状態は、撮影モードの値による。また外付けフラッシュ発光によっても異なる。

Capability\_ExternalNewTypeFlashMode がマルチフラッシュ(7)に設定で且つ撮影モードが P,S,A,M モードの場合、後幕発光の設定は不可となり通常発光が設定される。

本 Capability の設定禁止条件を満たす場合、本 Capability の値は「262: 発光禁止」固定になり、これ以外の値は列挙値に含まれない。

以下の場合、本 Capability は Read Only となる。

- Capability\_SpotWBMode が 1 (ON)
- Capability\_HDRMode がしない以外
- Capability\_LiveViewPhotoShootingMode が 1 (する)
- Capability\_ShootingMode が「11: 高速連続撮影(拡張)」
- 動画ライブビュー中
- SB 設定警告発生中の場合

### Result Codes

ValueOutOfBounds	範囲外の値を設定された場合。
NotSupported	Capabilityに対してサポートされていないOperationを実行した場合。
DeviceBusy	カメラがBusy状態の場合。
UnexpectedError	予期せぬエラーにより、コマンドの実行に失敗した場合。

## 5.52. ModuleType

**Capability** kNkMAIDCapability\_ModuleType  
**Object types** Module  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

## 5.53. AcquireStreamStart

**Capability** kNkMAIDCapability\_AcquireStreamStart  
サポートせず

## 5.54. AcquireStreamStop

**Capability** kNkMAIDCapability\_AcquireStreamStop  
サポートせず

## 5.55. AcceptDiskAcquisition

**Capability** kNkMAIDCapability\_AcceptDiskAcquisition  
**Object types** Source  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Generic  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get, kNkMAIDCapOperation\_Set

## 5.56. Version

**Capability** kNkMAIDCapability\_Version  
**Object types** Module  
**ulType** kNkMAIDCapType\_Unsigned  
**ulOperations** kNkMAIDCapOperation\_Get

## 5.57. FilmFormat

**Capability** kNkMAIDCapability\_FilmFormat  
サポートせず

## 5.58. TotalBytes

**Capability** kNkMAIDCapability\_TotalBytes  
サポートせず

## 6. Event

下記の全てのイベントは、ItemObject を Open している間は受信できない。

### 6.1. AddChild

Object 下に新しい Child が追加された時に通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_AddChild

**Object types** Module, Source, Item

**data** パラメータ 新しく追加された Child の ID

新しく追加された Child が ItemObject の場合、イベント通知コールバック関数の data パラメータには、Item ID が設定される。

本イベントは、SDRAM に保存された画像についてのみ発行される。カードに保存された画像については発行しない。

### 6.2. RemoveChild

Object 下の Child が削除された時に通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_RemoveChild

**Object types** Module, Source, Item

**data** パラメータ 削除された Child の ID

### 6.3. WarmingUp

**Event** kNkMAIDEvent\_WarmingUp

サポートせず

### 6.4. WarmedUp

**Event** kNkMAIDEvent\_WarmedUp

サポートせず

### 6.5. CapChange

Capability の情報が変更された。

**Event** kNkMAIDEvent\_CapChange

**Object types** Module, Source, Item

**data** パラメータ Capability ID

Capability の NkMAIDCapInfo 構造体の情報が変更された場合、または kNkMAIDCapType\_Array を型に持つ Capability の列挙構成が変更された場合に通知するイベント。

※Capability\_FmmManual, Capability\_F0Manual, Capability\_ManualSetLensNo について変更があった場合、本イベントは通知されず、Event\_ManualSettingLensDataChanged が発行される。

## 6.6. OrphanedChildren

**Event** kNkMAIDEvent\_OrphanedChildren  
サポートせず

## 6.7. CapChangeValueOnly

Capability の値が変更された。

**Event** kNkMAIDEvent\_CapChangeValueOnly  
**Object types** Module, Source, Item, Data  
**dataパラメータ** Capability ID

Capability の値のみが変更された場合（配列の要素数、列挙値構成、visibility・Invalid 属性等は変わっていない）に通知するイベント。

※Capability\_FmmManual, Capability\_F0Manual, Capability\_ManualSetLensNo については変更があった場合、本イベントは通知されず、Event\_ManualSettingLensDataChanged が発行される。

## 6.8. CaptureComplete

Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync またはボディリリーズによって撮影した全画像のカードへの書き込みが完了、または SDRAM 保存で撮影した全画像の転送、または削除が完了したことを表す。

**Event** kNkMAIDEvent\_CaptureComplete  
**Object types** Source  
**dataパラメータ** 0: SDRAM保存で撮影した全画像の転送、または削除が完了した  
1: 撮影した全画像のカードへの書き込みが完了した

撮影した全画像のカードへの書き込みが完了、または SDRAM 保存で撮影した全画像の転送、または削除が完了したことを表す。

1 回の Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync 実行につき、本 Event は 1 回の通知となる。

## 6.9. AddChildInCard

カード内に新しい Child が追加された時に通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_AddChildInCard  
**Object types** Item  
**dataパラメータ** 新しく追加されたChildのID

新しく追加された Child が ItemObject の場合、イベント通知コールバック関数の data パラメータには、Item ID が設定される。

本イベントは、カードに保存された動画データについてのみ発行される。カードに保存された静止画データについては発行しない。

保存される記録媒体のフォーマットによっては、一度の動画記録につき、最長 4GB に分割されて複数回本イベントが発行されることがある。

## 6.10. RecordingInterrupted

動画記録が中断された場合に中断要因種別を通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_RecordingInterrupted

**Object types** Source

**data** パラメータ pointer to NkMAIDEventParam

NkMAIDEventParam構造体の中身は、下記となる。

NkMAIDEventParam.ulEvent = kNkMAIDEvent\_RecordingInterrupted;

NkMAIDEventParam.ulElements = 2;

NkMAIDEventParam.ulParam[0] : エラー種別

1: 何かしらのエラー

0: 低速カードエラー

NkMAIDEventParam.ulParam[1] : 記録対象

0: カード録画

1: 外部記録機器による録画

2: カード録画と外部記録機器による録画

カメラ要因による動画記録中断により動画記録が終了した場合に、全動画ファイルについての kNkMAIDEvent\_AddChildInCard イベント発行後に発行されるイベント。

一度の動画記録で動画ファイルが分割される場合、動画記録中断から本イベントが発行されるまでに発行された kNkMAIDEvent\_AddChildInCard イベントの全てがこの動画記録で生成された動画データと判断できる。

### 6.11. CapChangeOperationOnly

Capability の visibility または Operation 値が変更された。

**Event** kNkMAIDEvent\_CapChangeOperationOnly

**Object types** Module, Source, Item, Data

**dataパラメータ** Capability ID

Capability の visibility・Invalid 属性または Operation のみが変更された場合（配列の要素数、列挙値構成、値等は変わっていない）に通知するイベント。

### 6.12. SBAdded

フラッシュが新たに装着されたことを通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_SBAdded

**Object types** Source

**dataパラメータ** pointer to NkMAIDEventParam

NkMAIDEventParam構造体の中身は、下記となる。

NkMAIDEventParam.ulEvent = kNkMAIDEvent\_SBAdded

NkMAIDEventParam.ulElements= 1

NkMAIDEventParam.ulParam[0] = SBHandle

### 6.13. SBRemoved

装着されていたフラッシュが外されたことを通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_SBRemoved

**Object types** Source

**dataパラメータ** pointer to NkMAIDEventParam

NkMAIDEventParam構造体の中身は、下記となる。

NkMAIDEventParam.ulEvent = kNkMAIDEvent\_SBRemoved;

NkMAIDEventParam.ulElements= 1;

NkMAIDEventParam.ulParam[0] = SBHandle;

### 6.14. SBAttrChanged

フラッシュの属性が変化したことを通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_SBAttrChanged

**Object types** Source

**dataパラメータ** pointer to NkMAIDEventParam

NkMAIDEventParam構造体の中身は、下記となる。

NkMAIDEventParam.ulEvent = kNkMAIDEvent\_SBAttrChanged;

NkMAIDEventParam.ulElements= 2;

NkMAIDEventParam.ulParam[0] = SBHandle;

NkMAIDEventParam.ulParam[1] = SBAttrID;

## 6.15. SBGroupAttrChanged

フラッシュグループの属性が変化したことを通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_SBGroupAttrChanged

**Object types** Source

**dataパラメータ** pointer to NkMAIDEventParam

NkMAIDEventParam構造体の中身は、下記となる。

```
NkMAIDEventParam.ulEvent = kNkMAIDEvent_SBGroupAttrChanged;
```

```
NkMAIDEventParam.ulElements = 2;
```

```
NkMAIDEventParam.ulParam[0] = SBGroupID;
```

```
NkMAIDEventParam.ulParam[1] = SBGroupAttrID;
```

Capability\_SBWirelessMode が「0 : 一灯」以外で Capability\_SBWirelessMultipleFlashMode が「2 : リピーティング」であった場合、以下のフラッシュグループの更新通知は Capability\_SBUsableGroup の値にかかわらず、必ずマスターフラッシュの SBGroupID で通知する。

- kNkMAIDSBGroupAttribute\_FlashLevel
- kNkMAIDSBGroupAttribute\_RepeatCount
- kNkMAIDSBGroupAttribute\_RepeatInterval

## 6.16. MovieRecordComplete

動画記録完了を通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_MovieRecordComplete

**Object types** Source

**dataパラメータ** 記録対象

0: カード録画

1: 外部記録機器による録画

2: カード録画と外部記録機器による録画

Capability\_MovRecInCardStatus(OFF)、または最大記録時間到達により動画記録が終了した場合に、全動画ファイルについての kNkMAIDEvent\_AddChildInCard イベント発行後に発行されるイベント。

一度の動画記録で動画ファイルが分割される場合、動画記憶停止から本イベントが発行されるまでに発行された kNkMAIDEvent\_AddChildInCard イベントのすべてが、この動画記録で生成された動画データと判断できる。

## 6.17. PictureControlAdjustChanged

ピクチャーコントロールの各項目の設定が変更されたことを通知するイベント。

**Event** kNkMAIDEvent\_PictureControlAdjustChanged

**Object types** Source

**dataパラメータ** pointer to NkMAIDEventParam

NkMAIDEventParam構造体の中身は、下記となる。

```
NkMAIDEventParam.ulEvent = kNkMAIDEvent_PictureControlAdjustChanged
```

```
NkMAIDEventParam.ulElements = 2
NkMAIDEventParam.ulParam[0] : PicCtrlItem
NkMAIDEventParam.ulParam[1] : ShootingMode
    0: 静止画撮影メニュー
    1: 動画撮影メニュー
```

ピクチャーコントロールの各項目の設定が変更されたこと、カスタムピクチャーコントロールの各項目の編集、登録、登録名変更、削除が行われたことを通知する為に使用する。

PicCtrlItem に指定するピクチャーコントロール項目は、ShootingMode に設定値に応じて Capability\_PictureControl で列挙される値範囲、もしくは Capability\_MoviePictureControl で列挙される値範囲(「100: 静止画の設定と同じ」を除く)とする。

## 6.18. StartMovieRecord

ホストにカメラ側が動画撮影を開始したことを通知するイベント。

<b>Event</b>	kNkMAIDEvent_StartMovieRecord
<b>Object types</b>	Source
<b>data</b> パラメータ	記録対象 0: カード録画 1: 外部記録機器による録画 2: カード録画と外部記録機器による録画

カメラの録画ボタン押下により、録画が開始されたことを通知するイベント。パラメータには記録対象が指定され、Capability\_MovRecInCardStatus による動画記録開始時には本イベントの通知は行わない。

## 6.19. ManualSettingLensDataChanged

「レンズ情報手動設定」の情報が更新されたことを通知するイベント。

<b>Event</b>	kNkMAIDEvent_ManualSettingLensDataChanged
<b>Object types</b>	Source
<b>data</b> パラメータ	更新対象のレンズNo. 0~19 : No1~No20

パラメータには更新対象のレンズNo.が指定される。

## 7. Vendor Unique Results

### 7.1. ApertureFEE

レンズの絞り環が最小絞りにセットされていない。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_ApertureFEE
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync, PreCapture
<b>Explanation</b>	レンズの絞りが最小にセットされていないと撮影することができない。
<b>Expected Action</b>	レンズの絞りを最小絞りに設定するようメッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

### 7.2. BufferNotReady

現モジュールでは使用しない。

### 7.3. NormalTTL

スピードライトの調光モードが TTL に設定されている。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_NormalTTL
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, CaptureAsync
<b>Explanation</b>	外部スピードライトをTTLモードで使用し、撮影しようとした場合にこのエラーが返る。
<b>Expected Action</b>	TTLモードでは撮影できない旨メッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

### 7.4. MediaFull

カードに記録可能な空き容量、もしくはカメラ内蔵 DRAM に記録可能な空き容量が無い。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_MediaFull
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync, PreCapture
<b>Explanation</b>	撮影された画像は指定されたメディアに蓄積され、そのメディアが一杯になり、次の撮影を行えなくなる。
<b>Expected Action</b>	残り容量が足りないため撮影できなかった旨メッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.5. InvalidMedia

撮影画像保存先のカードが壊れているため、撮影が行えない。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_InvalidMedia
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync
<b>Explanation</b>	Capability_SaveMediaでカード、カード&SDRAMを指定し、撮影を実行した場合に、カードが壊れているため、撮影が行えない事を通知する。
<b>Expected Action</b>	カードが壊れているために撮影が出来なかつた旨をメッセージに表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.6. EraseFailure

現モジュールでは使用しない。

## 7.7. CameraNotFound

バス上にカメラが見つからない。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_CameraNotFound
<b>Command</b>	カメラにアクセスするコマンド全般 (Source、Item、Dataオブジェクトに対するコマンドの多くが対象となる。)
<b>Explanation</b>	カメラとの接続が絶たれるか応答が無くなった場合にこのエラーが返る。この後、Moduleオブジェクトに対するAsyncコマンドが定期的に出ていれば、カメラが再接続された際に、モジュールはAddChildイベントによりクライアントにそのことを通知する。
<b>Expected Action</b>	カメラが接続されていない旨メッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.8. BatteryDontWork

バッテリの残り容量が不足している。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_BatteryDontWork
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync, PreCapture
<b>Explanation</b>	バッテリの残り容量が少ないため撮影を行うことが出来ない。
<b>Expected Action</b>	バッテリを交換するようメッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.9. ShutterBulb

シャッター速度がバルブに設定されている。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_ShutterBulb
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync
<b>Explanation</b>	シャッタースピードがバルブに設定されると、ホストコンピュータ側から撮影することが出来ない。
<b>Expected Action</b>	シャッター速度がバルブに設定されている旨メッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.10. OutOfFocus

フォーカスが合わないため撮影を行うことが出来ない。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_OutOfFocus
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureAsync, AFCaptureAsync
<b>Explanation</b>	Capture、AFCapture、CaptureAsync、AFCaptureAsyncに対しては、フォーカスモード(Capability_FocusMode)がAF-Sの場合、フォーカスが合わないと撮影することが出来ないためこのエラーが返る。
<b>Expected Action</b>	フォーカスが合わない旨メッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.11. Protected

現モジュールでは使用しない。

## 7.12. FileExists

現モジュールでは使用しない。

## 7.13. SharingViolation

現モジュールでは使用しない。

## 7.14. DataTransFailure

データ転送中にエラーが発生した。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_DataTransFailure
<b>Command</b>	Start, Async
<b>Capability</b>	Acquire
<b>Explanation</b>	DRAMから転送していた場合、その画像データは失われる。
<b>Expected Action</b>	データ転送を中止する。

## 7.15. SessionFailure

カメラと通信するためのセッションを開くことが出来ない。

**Result** kNkMAIDResult\_SessionFailure

**Command** Open

**Capability** -

**Explanation** 1台のカメラに対してセッションは1つ開くことが出来る。その数を越えてセッションを開こうとした場合にこのエラーが返る。

**Expected Action** エラーメッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.16. FileRemoved

現モジュールでは使用しない。

## 7.17. BusReset

バスリセットが発生したためコマンドがアボートされた。

**Result** kNkMAIDResult\_BusReset

**Command** any command

**Capability** any capability

**Explanation** バスリセットが発生すると、その時点で実行中のコマンド処理は打ち切られる。中止されたコマンドに対してこのエラーが返る。

**Expected Action** 再度そのコマンドを発行する。

## 7.18. NonCPULens

現モジュールでは使用しない。

## 7.19. ReleaseButtonPressed

現モジュールでは使用しない。

## 7.20. BatteryExhausted

現モジュールでは使用しない。

## 7.21. CaptureFailure

ホワイトバランスプリセット設定に失敗した。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_CaptureFailure
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	WBPresetData, MovieWBPresetData, PreCapture
<b>Explanation</b>	kNkMAIDCapability_PrecaptureによるWhite Balanceデータの測定に失敗した場合、このエラーが返る。 また、kNkMAIDCapability_WBPresetData、MovieWBPresetDataのいずれかの実行時に、指定インデックスのプリセットがプロテクトされている場合にこのエラーが返る。
<b>Expected Action</b>	指定インデックスのプリセットがプロテクトされていないことを確認の上、再度設定するようメッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.22. InvalidString

現モジュールでは使用しない。

## 7.23. NotInitialized

現モジュールでは使用しない。

## 7.24. CaptureDisable

現モジュールでは使用しない。

## 7.25. DeviceBusy

カメラがコマンドを受け付けなかった。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_DeviceBusy
<b>Command</b>	any command
<b>Capability</b>	any capability
<b>Explanation</b>	カメラがそのコマンドを受け付けられない状態にあるため、実行できなかった場合に、このエラーが返る。
<b>Expected Action</b>	再度コマンドを発行するか、ユーザーインターフェースの表示などを発行前の状態に戻す。

## 7.26. CaptureDustFailure

ゴミ参照画像の撮影に失敗した。

**Result** kNkMAIDResult\_CaptureDustFailure

**Command** Start

**Capability** CaptureDustImage

**Explanation** ゴミ参照画像の撮影に失敗した場合に、このエラーが返る。

**Expected Action** 何もしない。

## 7.27. ICADown

現モジュールでは使用しない。

## 7.28. NotLiveView

カメラの要因により自動的にライブビューが停止された（ライブビュー制限時間が経過した場合も含む）場合

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_NotLiveView
<b>Command</b>	Start, Set
<b>Capability</b>	GetLiveViewImage
<b>Explanation</b>	カメラの要因により自動的にライブビューが停止された（ライブビュー制限時間が経過した場合も含む）場合、このエラーが返る。
<b>Expected Action</b>	エラーメッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.29. MFDriveEnd

フォーカス位置調整実行で MF 動作が終端に達した場合

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_MFDriveEnd
<b>Command</b>	Set
<b>Capability</b>	DeviceReady
<b>Explanation</b>	kNkMAIDCapability_MFDrive実行に対してMF動作が終端に達した事を通知する。
<b>Expected Action</b>	kNkMAIDCapability_MFDrive 実行後、MF 動作が終端に達した状態で kNkMAIDCapability_DeviceReadyを実行した場合に、このResultを返す。

## 7.30. UnformattedMedia

撮影画像保存先のカードが未フォーマットのため、撮影が行えない。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_UnformattedMedia
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync
<b>Explanation</b>	Capability_SaveMediaでカード、カード&SDRAMを指定し、撮影を実行した場合に、カードが未フォーマットのため、撮影が行えない事を通知する。
<b>Expected Action</b>	カードが未フォーマットのために撮影が出来なかった旨をメッセージに表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

## 7.31. MediaReadOnly

撮影画像保存先のカードがプロテクトされているため、撮影が行えない。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_MediaReadOnly
<b>Command</b>	Start
<b>Capability</b>	Capture, AFCapture, CaptureDustImage, CaptureAsync, AFCaptureAsync
<b>Explanation</b>	Capability_SaveMediaでカード、カード&SDRAMを指定し、撮影を実行した場合に、カードがプロテクトされているため、撮影が行えない事を通知する。
<b>Expected Action</b>	カードがプロテクトされているために撮影が出来なかった旨をメッセージに表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

### 7.32. DuringUpdate

現モジュールでは使用しない。

### 7.33. BulbReleaseBusy

バルブ撮影中であることを示す。

**Result** kNkMAIDResult\_BulbReleaseBusy

**Command** Start

**Capability** Capture, CaptureAsync

**Explanation** バルブ撮影中であることを通知する。

**Expected Action** Capability\_Capture, Capability\_CaptureAsyncによりバルブ撮影が開始された場合、バルブ撮影が完了するまではkNkMAIDResult\_BulbReleaseBusyを返す。

### 7.34. SilentReleaseBusy

サイレント撮影中であることを示す。

**Result** kNkMAIDResult\_SilentReleaseBusy

**Command** Start

**Capability** DeviceReady

**Explanation** サイレント撮影中であることを通知する。

**Expected Action** Capability\_LiveViewPhotoShootingModeが「1：する」で静止画ライブビュー実行中のとき、Capability\_AFCapture、Capability\_AFCaptureAsync、Capability\_CaptureまたはCapability\_CaptureAsyncを実行した後、サイレント撮影が完了するまでにCapability\_DeviceReadyを実行すると本Resultが返る。

### 7.35. MovieFrameReleaseBusy

現モジュールでは使用しない。

### 7.36. InvalidSBAttributeValue

指定された Attribute Value をサポートしていないことを示す。

**Result** kNkMAIDResult\_InvalidSBAttributeValue

**Command** Set

**Capability** SBAttrValue, SBGroupAttrValue

**Explanation** 指定されたAttribute Valueをサポートしていないことを示す。

**Expected Action** エラーメッセージを表示し、ユーザーからのコマンド入力待ち状態になる。

### 7.37. Waiting\_2ndRelease

現モジュールでは使用しない。

### 7.38. MirrorUpCapture\_Already\_Start

現モジュールでは使用しない。

### 7.39. RecInCard

カード録画の開始が成功したことを示す。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_RecInCard
<b>Command</b>	Set
<b>Capability</b>	MovRecInCardStatus
<b>Explanation</b>	カード録画の開始が成功したことを通知する。
<b>Expected Action</b>	Capability_MovRecInCardStatusで1(ON)を指定し正常に録画が開始された場合に、カードへの録画であることをClientへ通知するためにこのResultを返す。

### 7.40. RecInExternalDevice

外部記録機器による録画の開始が成功したことを示す。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_RecInExternalDevice
<b>Command</b>	Set
<b>Capability</b>	MovRecInCardStatus
<b>Explanation</b>	外部記録機器による録画の開始が成功したことを通知する。
<b>Expected Action</b>	Capability_MovRecInCardStatusで1(ON)を指定し正常に録画が開始された場合に、外部記録機器への録画であることをClientへ通知するためにこのResultを返す。

### 7.41. RecInCardAndExternalDevice

カードおよび外部記録機器の両方による録画の開始が成功したことを示す。

<b>Result</b>	kNkMAIDResult_RecInCardAndExternalDevice
<b>Command</b>	Set
<b>Capability</b>	MovRecInCardStatus
<b>Explanation</b>	カードおよび外部記録機器の両方による録画の開始が成功したことを通知する。
<b>Expected Action</b>	Capability_MovRecInCardStatusで1(ON)を指定し正常に録画が開始された場合に、カードおよび外部記録機器の両方への録画であることをClientへ通知するためにこのResultを返す。

## 8. kNkMAIDDataObjType\_Videoについて

現モジュールにてデータオブジェクト型 kNkMAIDDataObjType\_Video が使用出来る Capability は、MAID3.1 規約ではなく本書記載の内容に準ずる。

## 9. ASCII コード

カメラのコメント関連のCapabilityは、以下のASCIIコード90文字のみを入力可能とする。

SP	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
:	;	<	=	>	?	@	[	]	-	{	}				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						

UserComment, ArtistName, CopyrghtInfoの各Capabilityに関しては、以下の5文字も入力可能とする。

¥	^	'		~
---	---	---	--	---

## 10. DataTypeCode

カメラが使用する基本的なデータタイプは以下の通りである。

DataTypeCode	Type	Description
0x0001	INT8	符号あり 8Bit 整数
0x0002	UINT8	符号なし 8Bit 整数
0x0003	INT16	符号あり 16Bit 整数
0x0004	UINT16	符号なし 16Bit 整数
0x0005	INT32	符号あり 32Bit 整数
0x0006	UINT32	符号なし 32Bit 整数
0x0007	INT64	符号あり 64Bit 整数
0x0008	UINT64	符号なし 64Bit 整数
0x0009	INT128	符号あり 128Bit 整数
0x000A	UINT128	符号なし 128Bit 整数
0x4001	AIN8	符号あり 8Bit 整数配列
0x4002	AUINT8	符号なし 8Bit 整数配列
0x4003	AIN16	符号あり 16Bit 整数配列
0x4004	AUINT16	符号なし 16Bit 整数配列
0x4005	AIN32	符号あり 32Bit 整数配列
0x4006	AUINT32	符号なし 32Bit 整数配列
0x4007	AIN64	符号あり 64Bit 整数配列
0x4008	AUINT64	符号なし 64Bit 整数配列
0x4009	AIN128	符号あり 128Bit 整数配列
0x400A	AUINT128	符号なし 128Bit 整数配列
0xFFFF	STR	可変長 UNICODE 文字列

## 11. 静止画 LV/動画 LV/動画記録/SpotWB 待機中に設定可能な Capability 一覧

下記にライブビュー中に実行可能な Capability をまとめる。

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	1	<u>ImageSize</u>	○	×	×	×
	2	<u>RawImageSize</u>	○	×	×	×
	3	<u>CompressionLevel</u>	○	×	×	×
	4	<u>WBMode</u>	○	○	○	×
	5	<u>Sensitivity</u>	○	○	○	×
	6	<u>ResetMenuBank</u>	○	○	×	×
	7	<u>CompressRAWEx</u>	○	○	×	×
	8	<u>WB Tune Auto</u>	○	○	○	×
	9	<u>WB Auto Type</u>	○	○	○	×
	10	<u>WB Tune Incandescent</u>	○	○	○	×
	11	<u>WB Fluorescent Type</u>	○	○	○	×
	12	<u>WB Tune Fluorescent</u>	○	○	○	×
	13	<u>WB Tune Sunny</u>	○	○	○	×
	14	<u>WB Tune Flash</u>	○	○	○	×
	15	<u>WB Tune Shade</u>	○	○	○	×
	16	<u>WB Tune Cloudy</u>	○	○	○	×
	17	<u>WB Tune Color Temp Ex</u>	○	○	○	×
	18	<u>WB Tune Color Adjust</u>	○	○	○	×
	19	<u>WB Tune Natural</u>	○	○	○	×
3	20	<u>WB Tune Preset 1</u>	○	○	○	×
	21	<u>WB Tune Preset 2</u>	○	○	○	×
	22	<u>WB Tune Preset 3</u>	○	○	○	×
	23	<u>WB Tune Preset 4</u>	○	○	○	×
	24	<u>WB Tune Preset 5</u>	○	○	○	×
	25	<u>WB Tune Preset 6</u>	○	○	○	×
	26	<u>WB Preset Protect 1</u>	○	○	×	×
	27	<u>WB Preset Protect 2</u>	○	○	×	×
	28	<u>WB Preset Protect 3</u>	○	○	×	×
	29	<u>WB Preset Protect 4</u>	○	○	×	×
	30	<u>WB Preset Protect 5</u>	○	○	×	×
	31	<u>WB Preset Protect 6</u>	○	○	×	×
	32	<u>WB Preset Number</u>	○	○	○	×
	33	<u>WB Preset Name</u>	○	○	×	×
	34	<u>WB Preset Data</u>	○	○	×	×
	35	<u>WB Gain Red</u>	--	--	--	--

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	36	WBGainBlue	--	--	--	--
	37	CCDDataMode	○	○	×	×
	38	ImageColorSpace	○	○	×	×
	39	IsoControl	○	○	×	×
	40	NoiseReduction	○	○	×	×
	41	NoiseReductionHighISO	○	○	×	×
	42	CompressRAWBitMode	○	○	×	×
	43	PictureControl	○	○	×	×
	44	PictureControlDataEx2	○	○	×	×
	45	GetPicCtrlInfo	--	--	--	--
	46	DeleteCustomPictureControl	○	○	×	○
	47	Active_D_Lighting	○	○	×	×
	48	ISOAutoShutterTime	○	○	×	×
	49	ISOAutoShutterTimeAutoValue	○	○	×	×
	50	ISOAutoHiLimit	○	○	○	×
	51	VignetteControl	○	○	×	×
	52	MovieScreenSize	○	○	×	×
	53	MovieImageQuality	○	○	×	×
	54	MovieRecMicrophone	○	○	○	×
	55	MovieRecMicrophoneValue	○	○	○	×
	56	AutoDistortion	○	○	×	×
	57	UserMode1	--	--	--	--
	58	UserMode2	--	--	--	--
	59	UserMode3	--	--	--	--
	60	HDRMode	○	×	×	×
	61	HDRExposure	○	×	×	×
	62	HDRSmoothing	○	×	×	×
	63	HDRSaveIndividualImages	○	×	×	×
	64	FlashISOAutoHighLimit	○	○	×	×
	65	ResetCustomSetting	○	○	×	×
	66	AFcPriority	○	○	×	×
	67	AFsPriority	○	○	×	×
	68	AFLockOnAcross	○	○	×	×
	69	FaceDetection	○	○	×	×
	70	AFAreaSelector	○	○	×	×
	71	AFAreaPoint	○	○	×	×
	72	EVInterval	○	○	×	×
	73	CWMeteringDiameter	○	○	×	×

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	74	<u>ExpBaseMatrix</u>	○	○	×	×
	75	<u>ExpBaseCenter</u>	○	○	×	×
	76	<u>ExpBaseSpot</u>	○	○	×	×
	77	<u>ExpBaseHighlight</u>	○	○	×	×
	78	<u>ShootingSpeed</u>	○	○	×	×
	79	<u>ShootingLimit</u>	○	○	×	×
	80	<u>ExposureDelayEx</u>	○	○	×	×
	81	<u>NumberingMode</u>	○	○	×	×
	82	<u>ResetFileName</u>	○	○	×	×
	83	<u>FlashSyncTime</u>	○	○	×	×
	84	<u>FlashSlowLimit</u>	○	○	×	×
	85	<u>ExposureCompFlashUsed</u>	○	○	×	×
	86	<u>BracketingVary</u>	○	○	×	×
	87	<u>BracketingFactor</u>	○	○	×	×
	88	<u>BracketingOrder</u>	○	○	×	×
	89	<u>ShutterSpeedLockSetting</u>	○	○	×	×
	90	<u>ApertureLockSetting</u>	○	○	×	×
	91	<u>MovieReleaseButton</u>	○	○	×	×
	92	<u>SBWirelessMode</u>	○	×	×	×
	93	<u>SBWirelessMultipleFlashMode</u>	○	×	×	×
	94	<u>SBUsableGroup</u>	--	--	--	--
	95	<u>WirelessCLSEntryMode</u>	○	○	×	×
	96	<u>SBPINCode</u>	○	○	×	×
	97	<u>RadioMultipleFlashChannel</u>	--	--	--	--
	98	<u>OpticalMultipleFlashChannel</u>	○	×	×	×
	99	<u>FlashRangeDisplay</u>	○	×	×	×
	100	<u>AllTestFiringDisable</u>	--	--	--	--
	101	<u>SBSettingMemberLock</u>	○	×	×	×
	102	<u>ShootNoCard</u>	○	○	×	×
	103	<u>UserComment</u>	○	○	×	×
	104	<u>EnableComment</u>	○	○	×	×
	105	<u>ClockDateTime</u>	○	○	×	×
	106	<u>ManualSetLensNo</u>	○	○	×	×
	107	<u>FmmManual</u>	○	○	×	×
	108	<u>F0Manual</u>	○	○	×	×
	109	<u>EnableCopyright</u>	○	○	×	×
	110	<u>ArtistName</u>	○	○	×	×
	111	<u>CopyrightInfo</u>	○	○	×	×

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	112	<u>ShutterSpeed</u>	○	×	×	×
	113	<u>FlexibleProgram</u>	○	○	×	×
	114	<u>Aperture</u>	○	○	○	×
	115	<u>MeteringMode</u>	○	○	×	×
	116	<u>ExposureMode</u>	○	○	×	○
	117	<u>ExposureComp</u>	○	○	○	×
	118	<u>ShootingMode</u>	○	○	×	○
	119	<u>ContinuousShootingNum</u>	○	○	○	×
	120	<u>FocusAreaMode</u>	○	○	×	×
	121	<u>EnableBracketing</u>	○	×	×	×
	122	<u>AEBracketingStep</u>	○	○	×	×
	123	<u>WBBracketingStep</u>	○	○	×	×
	124	<u>BracketingType</u>	○	○	×	×
	125	<u>ADLBracketingType</u>	○	○	×	×
	126	<u>ADLBracketingStep</u>	○	○	×	×
	127	<u>LiveViewStatus</u>	○	○	○	○
	128	<u>LiveViewProhibit</u>	--	--	--	--
	129	<u>CameraInclination</u>	--	--	--	--
	130	<u>RemainContinuousShooting</u>	--	--	--	--
	131	<u>RemainCountInMedia</u>	--	--	--	--
	132	<u>LockExposure</u>	--	--	--	--
	133	<u>LockFocus</u>	--	--	--	--
	134	<u>LockFV</u>	--	--	--	--
	135	<u>ExposureStatus</u>	--	--	--	--
	136	<u>InfoDisplayErrStatus</u>	--	--	--	--
	137	<u>FocalLength</u>	--	--	--	--
	138	<u>FocusMode</u>	--	--	--	--
	139	<u>BracketingCount</u>	--	--	--	--
	140	<u>ExternalFlashStatus</u>	--	--	--	--
	141	<u>ExternalFlashComp</u>	--	--	--	--
	142	<u>ExternalFlashSort</u>	--	--	--	--
	143	<u>ExternalNewTypeFlashMode</u>	--	--	--	--
	144	<u>LensInfo</u>	--	--	--	--
	145	<u>AFCapture</u>	○	×	×	×
	146	<u>ContrastAF</u>	○	○	○	○
	147	<u>MFDriveStep</u>	○	○	○	○
	148	<u>MFDrive</u>	○	○	○	○
	149	<u>ContrastAFArea</u>	○	○	○	×

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	150	<u>CaptureDustImage</u>	○	○	×	×
	151	<u>DeleteDramImage</u>	○	○	×	○
	152	<u>RawJpegImageStatus</u>	--	--	--	--
	153	<u>CurrentItemID</u>	○	○	○	○
	154	<u>GetLiveViewImage</u>	○	○	○	○
	155	<u>GetVideoImageEx</u>	○	○	×	○
	156	<u>LockCamera</u>	○	○	×	×
	157	<u>CameraType</u>	--	--	--	--
	158	<u>LensType</u>	--	--	--	--
	159	<u>MovRecInCardStatus</u>	×	○	○	×
	160	<u>MovRecInCardProhibit</u>	--	--	--	--
	161	<u>AngleLevel</u>	--	--	--	--
	162	<u>AngleLevelPitch</u>	--	--	--	--
	163	<u>AngleLevelYaw</u>	--	--	--	--
	164	<u>SaveMedia</u>	○	○	×	×
	165	<u>TerminateCapture</u>	○	○	×	○
	166	<u>BlinkingStatus</u>	--	--	--	--
	167	<u>LiveViewSelector</u>	○	○	×	×
	168	<u>ResetWBMode</u>	○	○	×	×
	169	<u>MovieShutterSpeed</u>	×	○	○	×
	170	<u>MovieAperture</u>	×	○	○	×
	171	<u>MovieSensitivity</u>	○	○	○	×
	172	<u>MovieExposureComp</u>	×	○	○	×
	173	<u>MovieRecFrameCount</u>	--	--	--	--
	174	<u>RetractableLensWarningStatus</u>	--	--	--	--
	175	<u>MovieWindNoiseReduction</u>	○	○	○	×
	176	<u>MovieRecordingZone</u>	○	○	○	×
	177	<u>MovieISOControl</u>	○	○	○	×
	178	<u>MovieISOAutoHiLimit</u>	○	○	○	×
	179	<u>MoviePictureControlDataEx2</u>	○	○	×	×
	180	<u>GetMoviePicCtrlInfo</u>	--	--	--	--
	181	<u>DeleteMovieCustomPictureControl</u>	○	○	×	○
	182	<u>MovieResetMenuBank</u>	○	○	×	×
	183	<u>MovieCCDDataMode</u>	○	○	×	×
	184	<u>MovieWBPresetData</u>	○	○	×	×
	185	<u>MovieWBMode</u>	○	○	○	×
	186	<u>MovieWBTuneAuto</u>	○	○	○	×
	187	<u>MovieWBAutoType</u>	○	○	○	×

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	188	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Incandescent</u>	○	○	○	×
	189	<u>MovieWB</u> <u>Fluorescent</u> <u>Type</u>	○	○	○	×
	190	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Fluorescent</u>	○	○	○	×
	191	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Sunny</u>	○	○	○	×
	192	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Shade</u>	○	○	○	×
	193	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Cloudy</u>	○	○	○	×
	194	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>ColorTemp</u> <u>Ex</u>	○	○	○	×
	195	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Color</u> <u>Adjust</u>	○	○	○	×
	196	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Natural</u>	○	○	○	×
	197	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Preset</u> <u>1</u>	○	○	○	×
	198	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Preset</u> <u>2</u>	○	○	○	×
	199	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Preset</u> <u>3</u>	○	○	○	×
	200	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Preset</u> <u>4</u>	○	○	○	×
	201	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Preset</u> <u>5</u>	○	○	○	×
	202	<u>MovieWB</u> <u>Tune</u> <u>Preset</u> <u>6</u>	○	○	○	×
	203	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Protect</u> <u>1</u>	○	○	×	×
	204	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Protect</u> <u>2</u>	○	○	×	×
	205	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Protect</u> <u>3</u>	○	○	×	×
	206	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Protect</u> <u>4</u>	○	○	×	×
	207	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Protect</u> <u>5</u>	○	○	×	×
	208	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Protect</u> <u>6</u>	○	○	×	×
	209	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Number</u>	○	○	×	×
	210	<u>MovieWB</u> <u>Preset</u> <u>Name</u>	○	○	×	×
	211	<u>MovieWB</u> <u>Gain</u> <u>Red</u>	--	--	--	--
	212	<u>MovieWB</u> <u>Gain</u> <u>Blue</u>	--	--	--	--
	213	<u>Movie</u> <u>Reset</u> <u>WB</u> <u>Mode</u>	○	○	×	×
	214	<u>Movie</u> <u>NoiseReduction</u> <u>High</u> <u>ISO</u>	○	○	×	×
	215	<u>Movie</u> <u>Picture</u> <u>Control</u>	○	○	×	×
	216	<u>ISO</u> <u>Control</u> <u>Sensitivity</u>	--	--	--	--
	217	<u>Movie</u> <u>Metering</u> <u>Mode</u>	○	○	×	×
	218	<u>LiveView</u> <u>Image</u> <u>Size</u>	○	○	×	×
	219	<u>SpotWB</u> <u>Mode</u>	×	○	×	○
	220	<u>SpotWB</u> <u>Measure</u>	○	○	×	○
	221	<u>SpotWB</u> <u>Change</u> <u>Area</u>	○	○	×	○
	222	<u>SpotWB</u> <u>Result</u> <u>Disp</u> <u>End</u>	○	○	×	○
	223	<u>RawJpeg</u> <u>Trasfer</u> <u>Status</u>	○	○	○	○
	224	<u>GetSB</u> <u>Handles</u>	--	--	--	--
	225	<u>GetSB</u> <u>Attr</u> <u>Desc</u>	--	--	--	--

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	226	<u>SBAttrValue</u>	○	○	×	×
	227	<u>GetSBGroupAttrDesc</u>	--	--	--	--
	228	<u>SBGroupAttrValue</u>	○	○	×	×
	229	<u>TestFlash</u>	○	○	○	×
	230	<u>ElectronicFrontCurtainShutter</u>	○	○	×	×
	231	<u>CaptureAsync</u>	○	○	○	×
	232	<u>AFCaptureAsync</u>	○	○	○	×
	233	<u>DeviceReady</u>	○	○	○	○
	234	<u>ElectronicVR</u>	○	○	×	×
	235	<u>MovieActive D Lighting</u>	○	○	×	×
	236	<u>FlickerReductionSetting</u>	○	○	×	×
	237	<u>SBIntegrationFlashReady</u>	--	--	--	--
	238	<u>ExternalRecordingControl</u>	○	○	×	×
	239	<u>LiveViewPhotoShootingMode</u>	○	○	×	×
	240	<u>DetectionPeaking</u>	○	○	○	×
	241	<u>HighlightBrightness</u>	○	○	○	×
	242	<u>MovieAttenuator</u>	○	○	○	×
	243	<u>SaveCameraSetting</u>	○	○	×	○
	244	<u>MovieFileType</u>	○	○	×	×
	245	<u>InternalFlashComp</u>	○	×	×	×
	246	<u>GetRecordingInfo</u>	--	--	--	--
	247	<u>DiffractionCompensation</u>	○	○	×	×
	248	<u>VibrationReduction</u>	○	○	×	×
	249	<u>MovieAutoDistortion</u>	○	○	×	×
	250	<u>MovieAfAreaMode</u>	○	○	○	×
	251	<u>MovieVibrationReduction</u>	○	○	×	×
	252	<u>MovieFocusMode</u>	○	○	○	×
	253	<u>MovieVignetteControl</u>	○	○	×	×
	254	<u>MovieDiffractionCompensation</u>	○	○	×	×
	255	<u>RecordTimeCodes</u>	○	○	×	×
	256	<u>CountUpMethod</u>	○	○	×	×
	257	<u>TimeCodeOrigin</u>	○	○	×	×
	258	<u>DropFrame</u>	○	○	×	×
	259	<u>MovieLogOutput</u>	--	--	--	--
	260	<u>MovieLogSetting</u>	○	○	×	×
	261	<u>HDMIOutputDataDepth</u>	○	○	×	×
	262	<u>LowLightAF</u>	○	○	×	×
	263	<u>ApplyLiveViewSetting</u>	○	○	×	×

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
3	264	<u>LiveViewImageStatus</u>	--	--	--	--
	265	<u>LiveViewZoomArea</u>	○	○	×	○
	266	<u>TrackingAFArea</u>	○	○	○	×
	267	<u>MovieAfSpeed</u>	○	○	×	×
	268	<u>MovieAfSpeedWhenToApply</u>	○	○	×	×
	269	<u>MovieAfTrackingSensitivity</u>	○	○	×	×
	270	<u>PreCapture</u>	○	○	×	×
	271	<u>GetManualSettingLensData</u>	○	○	○	○
	272	<u>AFModeAtLiveView</u>	○	○	×	×
	273	<u>ElectronicFrontCurtainShutterEx</u>	○	○	×	×
	274	<u>LiveViewImageCompression</u>	○	○	×	×
5	1	<u>AsyncRate</u>	--	--	--	--
	2	<u>ProgressProc</u>	○	○	○	○
	3	<u>EventProc</u>	○	○	○	○
	4	<u>DataProc</u>	○	○	○	○
	5	<u>UIRequestProc</u>	○	○	○	○
	6	<u>IsAlive</u>	--	--	--	--
	7	<u>Children</u>	○	○	○	○
	8	<u>State</u>	--	--	--	--
	9	<u>Name</u>	--	--	--	--
	10	<u>Description</u>	--	--	--	--
	11	<u>Interface</u>	--	--	--	--
	12	<u>DataTypes</u>	--	--	--	--
	13	<u>DateTime</u>	--	--	--	--
	14	<u>StoredBytes</u>	--	--	--	--
	15	<u>Eject</u>	--	--	--	--
	16	<u>Feed</u>	--	--	--	--
	17	<u>Capture</u>	○	○	○	×
	18	<u>Mode</u>	--	--	--	--
	19	<u>Acquire</u>	○	○	○	○
	20	<u>Start</u>	--	--	--	--
	21	<u>Length</u>	--	--	--	--
	22	<u>SampleRate</u>	--	--	--	--
	23	<u>Stereo</u>	--	--	--	--
	24	<u>Samples</u>	--	--	--	--
	25	<u>Filter</u>	--	--	--	--
	26	<u>Prescan</u>	--	--	--	--
	27	<u>AutoFocus</u>	--	--	--	--

Capability			静止画 LV	動画 LV	動画 記録中	SpotWB 中
	28	AutoFocusPt	--	--	--	--
5	29	Focus	--	--	--	--
	30	Coords	--	--	--	--
	31	Resolution	--	--	--	--
	32	Preview	--	--	--	--
	33	Negative	--	--	--	--
	34	Bits	--	--	--	--
	35	Planar	--	--	--	--
	36	Lut	--	--	--	--
	37	Transparency	--	--	--	--
	38	Threshold	--	--	--	--
	39	Pixels	--	--	--	--
	40	ForceScan	--	--	--	--
	41	ForcePrescan	--	--	--	--
	42	ForceAutoFocus	--	--	--	--
	43	NegativeDefault	--	--	--	--
	44	Firmware	--	--	--	--
	45	CommunicationLevel1	--	--	--	--
	46	CommunicationLevel2	--	--	--	--
	47	BatteryLevel	--	--	--	--
	48	FreeBytes	--	--	--	--
	49	FreeItems	--	--	--	--
	50	Remove	--	--	--	--
	51	<u>FlashMode</u>	○	✗	✗	✗
	52	ModuleType	--	--	--	--
	53	AcquireStreamStart	--	--	--	--
	54	AcquireStreamStop	--	--	--	--
	55	AcceptDiskAcquisition	--	--	--	--
	56	Version	--	--	--	--
	57	FilmFormat	--	--	--	--
	58	TotalBytes	--	--	--	--

## 12. 変更履歴

### 12.1. 2021/10/29 Ver.1.3 Rev1.1

- 下記の新規の Capability を追加。
  - 3.274. LiveViewImageCompression
  - 11. 静止画 LV/動画 LV/動画記録/SpotWB 待機中に設定可能な Capability 一覧  
…上記の Capability を一覧に追加、AutoFocus の誤記を修正
- 下記 Capability に関して修正。
  - 3.154 GetLiveViewImage...説明を変更
  - 3.154.1 ライブビューデータのフォーマット... 説明を変更。
  - 3.240 DetectionPeaking...誤記を修正
- 下記章に関して修正。
  - 9. ASCII コード...誤記を修正

### 12.2. 2020/2/26 Ver.1.3 Rev1.0

- 下記について、Z 7\_FU3(Z 7 フームアップ 3)についての仕様を追記。
  - 2. サポートするカメラ
  - 3.69. FaceDetection
  - 3.112. ShutterSpeed
  - 3.154.1 ライブビューデータのフォーマット
  - 3.157. CameraType
  - 3.230. ElectronicFrontCurtainShutter
- 下記について、仕様を変更。

3.105. ClockDateTime	…設定禁止条件を追加
3.112. ShutterSpeed	…設定禁止条件を修正
3.114. Aperture	…設定禁止条件を修正
3.116. ExposureMode	…説明を修正
3.147. MFDriveStep	…表記を変更
3.148. MFDrive	…表記を変更
3.149. ContrastAFArea	…表記を変更
3.159. MovRecInCardStatus	…表記を変更
3.216. ISOControlSensitivity	…デフォルト値を明示
3.266. TrackingAFArea	…表記を変更

### 12.3. 2019/11/1 Ver.1.2 Rev1.0

- 下記について、Z 7\_FU2(Z 7 フームアップ 2)についての仕様を追記。
  - 2. サポートするカメラ
  - 3.69. FaceDetection
  - 3.112. ShutterSpeed
  - 3.154.1 ライブビューデータのフォーマット
  - 3.157. CameraType

- 3.230. ElectronicFrontCurtainShutter
- 3.273. ElectronicFrontCurtainShutterEx …新規追加
- 11. 静止画 LV/動画 LV/動画記録/SpotWB 待機中に設定可能な Capability 一覧
- 下記について、記載の誤りを訂正。
  - 3.165. TerminateCapture …設定禁止の誤りを訂正
  - 3.265. LiveViewZoomArea …列挙しない説明文のスクリーンサイズを訂正
  - 6.8. CaptureComplete …data パラメータ値の誤りを訂正

#### 12.4. 2019/4/25 Ver.1.1 Rev1.0

- 下記について、Z 7\_FU1(Z 7 フームアップ 1)についての仕様を追記。
  - 2. サポートするカメラ
  - 3.5. Sensitivity
  - 3.69. FaceDetection
  - 3.112. ShutterSpeed
  - 3.154.1 ライブビューデータのフォーマット
  - 3.157. CameraType
  - 3.230. ElectronicFrontCurtainShutter
- 下記の Capability について修正。
  - 3.56. AutoDistortion …設定禁止条件を変更。
  - 3.219. SpotWBMode …設定禁止条件を追加。
  - 3.132. LockExposure …説明文を修正。Result Codes について追記。
  - 3.155. GetVideoImageEx …動画転送リセットについての説明を追記。  
パラメータ ullOffset を使用するように変更  
NkMAIDGetVideoImageEx 構造体名称の誤記を修正。
  - 3.265. LiveViewZoomArea …値の取り得る範囲の説明を変更。

#### 12.5. 2018/11/16 Rev1.1

- 下記 Capability の誤記を修正。
  - 3.106. ManualSetLensNo …イベント発行に関する記述漏れを修正。
  - 5.27. AutoFocus …Capability 定義名の記述漏れを修正。

#### 12.6. 2018/9/28 Rev1.0 新規作成